

事業年度	令和7年度
工事種別	改修工事（建築工事）
工事番号	小大工-5

課長	係長	検算	設計

工事名 可児市立東明小学校トイレ大規模改造工事（I期）

◎注意事項

この内訳書の工事項目及び数量は、積算する上での参考資料です。

積算の際は、設計図面にて工事項目及び数量を拾い出し積算して下さい。

可児市 教育委員会事務局 教育総務課

当初 設計書

# 岐阜県 可児市全図



記号

- 市役所
- 町役所
- 村役所
- 支庁庁舎
- 警察署
- 消防署
- 郵便局
- 銀行
- 学校
- 病院
- 公園
- 神社
- 寺
- 墓
- 塚
- 橋
- トンネル
- 道路
- 河川
- 湖沼
- 森林
- 山地
- 海岸
- 境界
- 境界線
- 境界点
- 境界線
- 境界点
- 境界線
- 境界点

凡例

記号	名称	説明
○	市役所	市役所の所在地を示す記号
○	町役所	町役所の所在地を示す記号
○	村役所	村役所の所在地を示す記号
○	支庁庁舎	支庁庁舎の所在地を示す記号
○	警察署	警察署の所在地を示す記号
○	消防署	消防署の所在地を示す記号
○	郵便局	郵便局の所在地を示す記号
○	銀行	銀行の所在地を示す記号
○	学校	学校の所在地を示す記号
○	病院	病院の所在地を示す記号
○	公園	公園の所在地を示す記号
○	神社	神社の所在地を示す記号
○	寺	寺の所在地を示す記号
○	墓	墓の所在地を示す記号
○	塚	塚の所在地を示す記号
○	橋	橋の所在地を示す記号
○	トンネル	トンネルの所在地を示す記号
○	道路	道路の所在地を示す記号
○	河川	河川の所在地を示す記号
○	湖沼	湖沼の所在地を示す記号
○	森林	森林の所在地を示す記号
○	山地	山地の所在地を示す記号
○	海岸	海岸の所在地を示す記号
○	境界	境界の所在地を示す記号
○	境界線	境界線の所在地を示す記号
○	境界点	境界点の所在地を示す記号
○	境界線	境界線の所在地を示す記号
○	境界点	境界点の所在地を示す記号

● 東明小学校

1 : 50,000

0 1000 2000 3000m

工事番号	小大工-5	工事箇所	可児市 久々利 地内	施設名	東明小学校
工事名	可児市立東明小学校トイレ大規模改造工事（I期）				
理 由			工 事 概 要		
<p>本工事は東明小学校において、令和5年度に策定した「可児市小中学校トイレ改修計画」に基づき、経年により老朽化して環境が悪化したトイレの環境改善と共に、洋式化やバリアフリー化を図り、多様性へ十分配慮したトイレを整備するものである。</p>			<p>建築工事 一式  ・躯体改修工事  ・防水改修工事  ・建具改修工事  ・内装改修工事  ・塗装改修工事</p> <p>電気設備工事 一式  ・電灯設備工事  ・コンセント設備工事</p> <p>機械設備工事 一式  ・換気設備工事  ・衛生器具設備工事  ・給水設備工事  ・消火設備工事  ・排水通気設備工事</p>		
金 額		円	内消費税相当額		円
特 記 仕 様 書					
<p>1. 一般事項</p> <p>(1) 受注者は、工事請負契約書、可児市建設工事共通仕様書及び特記仕様書に基づき施工するものとする。なお、特記仕様書は共通仕様書に優先する。</p> <p>(2) 受注者は、本工事が「可児市工事事品質証明実施要領」の対象となる場合、要領に基づき品質の証明を実施しなければならない。</p> <p>(3) 提出・提示書類は別添「可児市建設工事における取扱い書類一覧表」に基づき実施するものとする。また、工事打合簿（指示、協議、承諾は除く）、材料確認簿、夜間・休日作業届けの書類を提出する場合は、別添様式に基づき、電子メールにて提出するものとし、書面には署名または押印する必要はないものとする。これらに定めのない事項については、監督員と協議する。</p> <p>2. 建設副産物有効利用及び適正処理について</p> <p>(1) 受注者は、建設副産物を排出するにあたっては、建設リサイクル法を遵守するとともに、「岐阜県建設副産物有効利用及び適正処理実施要綱」により、適切に実施すること。</p> <p>(2) 建設発生土については、工事間流用とし、流用先は監督員が指示する。都合により工事間流用ができなくなった場合は、別途協議する。また受注者の都合により処分場を変更する時は監督員に報告するものとする。なお、「岐阜県埋立て等の規制に関する条例」及び「岐阜県建設発生土管理基準」に基づき適正な利用の推進を図ること。</p> <p>3. 使用材料</p> <p>(1) 生コンクリートについて  本工事に使用するコンクリートの水セメント比は、鉄筋コンクリート(24N/mm<sup>2</sup>以上)については55%以下、無筋コンクリート及び鉄筋コンクリート(21N/mm<sup>2</sup>以下)については60%以下、均しコンクリートについては60%程度とし、品質を証明する書類を提出して、事前に監督員の許可を得ること。</p> <p>4. 工事施工について</p> <p>(1) 受注者は、工事着手に先立ち、現場付近の地元住民等に対する周知、説明、説得等を行い、トラブルの生じないよう努めること。</p> <p>(2) 工事による既設構造物の破損については、未然に防止するよう予め十分調査をし、また、支障を及ぼさないよう相当の防護工を施工しなければならない。なお、誤って損傷を与えた場合は、請負人の責任において復旧しなければならない。調査に際しては、記録保存の必要を認めた場合は写真撮影、測量等を行わなければならない。</p> <p>5. 工事保険について  本工事において、発注者、受注者及び全下請人を被保険者として、工事着手から工事目的物の引渡しまでの期間について、賠償責任保険(保険対象:第三者に与えた損害)及び工事保険(保険対象:工事目的物、工事材料及び仮設物等)に加入するものとする。</p> <p>6. ワンデーレスポンスの取組について</p> <p>(1) この工事は、ワンデーレスポンス実施対象工事です。  「ワンデーレスポンス」とは受注者からの質問、協議、報告、承諾願、立会願等への回答は、基本的に「その日のうち」に回答するよう対応することです。ただし、即日回答が困難な場合は、いつまでに回答が必要なのかを受注者と協議のうえ、回答期限を設けるなど、何らかの回答を「その日のうち」にすることとする。</p> <p>(2) 実施にあたっては、可児市工事監督におけるワンデーレスポンス実施要領に基づき実施する。</p> <p>(3) 受注者は工事施工中において、問題が発生した場合や計画工程と実施行程を比較照査し、差異が生じた場合は速やかに監督員へ報告すること。</p> <p>(4) 受注者は、施工計画書に基づいて適正な計画工程を作成し、工事の先々を予見しながら、施工するものとする。</p>					

7. 電子納品について  
「岐阜県電子納品要領」等に基づき、電子納品を行うこと。なお、電子納品の内容については、監督員と事前に協議し、決定すること。
8. 暴力団等による不当介入における通報義務について  
(1) 受注者は、契約の履行に当たって、暴力団又は暴力団員等から、事実関係及び社会通念等に照らして合理的な理由が認められない不当若しくは違法な要求又は契約の適正な履行を妨げる妨害を受けたときは、警察へ通報するとともに、可児市が行う契約からの暴力団排除に関する措置要綱(平成22年可児市訓令甲第47号)に定める様式第9号により可児市に報告しなければならない。なお、通報・報告がない場合は、可児市建設工事請負契約に係る指名停止措置要領に基づき、指名停止等の措置を行うことがある。  
(2) 受注者は、暴力団又は暴力団員等による不当介入を受けたことにより、履行期間内に工事等を完了することができないときは、発注者に履行期間の延長変更を請求することができる。
9. 現場代理人の兼務について  
現場代理人は、工事請負契約約款第10条第2項の規定により、契約工期内の現場常駐が義務付けられているが、契約締結後、現場事務所の設置、資機材の搬入又は仮設工事等が開始されるまでの期間や、工事の全部の施工を一時中止している期間については、監督員との連絡体制を確保した上で、常駐義務を緩和するものとする。  
また、以下の条件を全て満たす場合に、他工事の現場代理人又は専任でない主任技術者を兼務することができる。
  1. 他工事は、可児市発注の建設工事で、工事現場が市内であること。
  2. 他工事においても、本工事と同様に現場代理人の兼務を認めていること。
  3. 兼務を行う工事の総数が、本工事を含めて3件までであること。
  4. 兼務を行う工事の請負代金額の合計が4,000万円未満であること。
  5. 発注者又は監督員が求めた場合には、工事現場に速やかに向かう等の対応ができること。なお、工事現場における運営、取締り及び権限の行使に支障がある場合、及び、発注者との連絡体制が確保されていないと監督員の認めた場合は、兼務を取り消すものとする。  
現場代理人が兼務となった場合は、本工事の監督員及び他工事の監督員の双方に、現場代理人兼務届を提出しなければならない。
10. 可児市公共基準点の保全について  
公共施工区域内に可児市公共基準点が設置してある場合は、基準点鋸を滅失・き損または、その効用に支障をきたすことのないよう十分に留意すること。施工上止むを得ず支障となる場合は、事前に監督員に報告すること。
11. 法定外の労災保険の付保  
本工事において、受注者は法定外の労災保険に付さなければならない。
12. 建築物・工作物等の解体・改修工事に伴うアスベスト調査について  
工事規模、請負金額にかかわらず事前にアスベストの使用の有無の事前調査を行うこと。  
また、一定規模以上の工事は、事前調査結果を岐阜県に報告すること。
13. 統一の一斉休工の取組について  
(1) 本工事は「建設現場の週休2日」の普及および浸透に向けて、週休2日制モデル工事の適否に関わらず、土曜日の休工に努める「まんなかホリデー(中部地区統一の一斉休工)」に取組むものとする。  
なお、本取組は強制的な一斉休工や工程の調整を求めるものではない。  
(2) 休工とは、現場事務所での事務作業を含め1日を通して現場や現場事務所が閉所されている状態をいう。  
(巡回パトロールや保守点検等現場管理上必要な作業を行う場合を除く)
14. その他  
(1) 学校の児童や先生、来校者への安全対策に配慮すること。また、学校運営に支障が無いようにするため、学校や教育委員会と事前に仮設計画や工程等に関する協議を行うこと。  
(2) 工事共通仕様  
・国土交通省大臣官房庁営繕部監修 公共建築改修工事標準仕様書(建築・電気設備・機械設備工事編) 最新版  
・国土交通省大臣官房庁営繕部監修 公共建築工事標準仕様書(建築・電気設備・機械設備工事編) 最新版  
(3) 工事用水・電気については施設内のものを使用することができる。ただし、有償とする。

その他図面特記仕様書による。

特記仕様書  
(条件明示)

工事名 可児市立東明小学校トイレ大規模改修工事（Ⅰ期）

下記項目、事項のうちレ印該当欄は、工事施工にあたって制約等をうけることになるので明示する。  
 なお、明示事項に変更が生じた場合及び明示されていない制約等が発生したときは、市と協議し適切な処置を講ずるものとする。

施工条件

明示項目	明示事項	制約条件等
工 程	<input type="checkbox"/> 1. 関連する別途発注工事あり	<input type="checkbox"/> A. 工種 ( ) <input type="checkbox"/> B. 期間 ( ~ )
	<input type="checkbox"/> 2. 他機関協議による工程条件あり	<input type="checkbox"/> A. 工種 ( ) <input type="checkbox"/> B. 期間 ( ~ )
	<input type="checkbox"/> 3. 他機関との協議状況	<input type="checkbox"/> A. 協議済機関及び内容 ( ) <input type="checkbox"/> B. 未協議機関及び内容 ( )
	<input type="checkbox"/> 4. 占用許可状況 ( )	<input type="checkbox"/> A. 許可済 <input type="checkbox"/> B. 申請中
	<input type="checkbox"/> 5. 建築確認	<input type="checkbox"/> A. 許可済 <input type="checkbox"/> B. 申請中
	<input type="checkbox"/> 6. 河川区域、保全区域内作業あり	<input type="checkbox"/> A. 許可済 <input type="checkbox"/> B. 申請中
	<input type="checkbox"/> 7. 文化財協議（文化財課）	<input type="checkbox"/> A. 協議済内容 ( ) <input type="checkbox"/> B. 未協議内容 ( )
	<input type="checkbox"/> 8. 施工時期	<input type="checkbox"/> A. 施工時期 ( )
	<input checked="" type="checkbox"/> 9. その他	<input checked="" type="checkbox"/> A. その他 ( 小学校運営に支障がないよう配慮すること。 )
用 地	<input type="checkbox"/> 1. 用地補償物件撤去まで着工制限あり	<input type="checkbox"/> A. 区間(No. ~ No. ) <input type="checkbox"/> B. 着工見込時期( ) <input type="checkbox"/> C. 内容 ( )
	<input type="checkbox"/> 2. 工事用地の未買収	<input type="checkbox"/> A. 場所 ( ) <input type="checkbox"/> B. 処理の見込み時期( ) <input type="checkbox"/> C. 未買収地への立ち入り可否( )
	<input type="checkbox"/> 3. 仮設ヤードの有無	<input type="checkbox"/> A. 官有地 <input type="checkbox"/> B. 民有地 <input type="checkbox"/> C. その他 ( ) <input type="checkbox"/> D. 別途協議
	<input type="checkbox"/> 4. その他	<input type="checkbox"/> A. その他 ( )
公 害 対 策	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 施工方法の制限あり	<input checked="" type="checkbox"/> A. 騒音 ( 小学校運営に支障がないよう配慮すること。 ) <input checked="" type="checkbox"/> B. 振動 ( 小学校運営に支障がないよう配慮すること。 ) <input type="checkbox"/> C. 水質 ( ) <input type="checkbox"/> D. その他 ( )
	<input type="checkbox"/> 2. 事業損失防止に関する調査あり	<input type="checkbox"/> A. 調査の項目 ( )
	<input type="checkbox"/> 3. 環境影響調査あり	<input type="checkbox"/> A. 生物・植物調査あり
	<input type="checkbox"/> 4. 土壌汚染対策法に関する届出	<input type="checkbox"/> A. 届出済 (3,000㎡以上の土地の形質の変更、工事着手30日前まで)
	<input checked="" type="checkbox"/> 5. 石綿含有に関する事前調査	<input checked="" type="checkbox"/> A. 発注者による含有調査( 含有有り ) <input type="checkbox"/> B. 受注者による含有調査 <input type="checkbox"/> C. 調査結果の報告(一定規模以上)
	<input checked="" type="checkbox"/> 6. その他	<input checked="" type="checkbox"/> A. フロン回収あり <input type="checkbox"/> B. その他 ( )
安 全 対 策	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 交通規制あり	<input type="checkbox"/> A. 全面通行止め <input type="checkbox"/> B. 片側通行止め <input checked="" type="checkbox"/> C. 時間制限あり ( 登下校時間帯 )
	<input type="checkbox"/> 2. 通学路あり	<input type="checkbox"/> A. 迂回路あり <input type="checkbox"/> B. 仮設歩道必要
	<input type="checkbox"/> 3. 交通整理員	<input type="checkbox"/> A. 区間(No. ~ ) 配置人員 人/日 <input type="checkbox"/> B. 区間(No. ~ ) 配置人員 人/日 <input type="checkbox"/> C. 区間(No. ~ ) 配置人員 人/日 <input type="checkbox"/> D. 交替要員あり
	<input type="checkbox"/> 4. 鉄道等の近接作業制限あり	<input type="checkbox"/> A. 工法制限あり ( ) <input type="checkbox"/> B. 作業時間制限あり ( )
	<input type="checkbox"/> 5. バス路線（運行者との協議）	<input type="checkbox"/> A. 協議済内容 ( ) <input type="checkbox"/> B. 未協議内容 ( )
	<input checked="" type="checkbox"/> 6. その他	<input checked="" type="checkbox"/> A. その他 ( 学校敷地内及び学校周囲通行時徐行 )
工 事 用 道 路	<input type="checkbox"/> 1. 一般道路（搬入路）の使用制限	<input type="checkbox"/> A. 搬入経路指定あり <input type="checkbox"/> B. 時間帯制限あり
	<input type="checkbox"/> 2. 仮設道路の設置条件あり	<input type="checkbox"/> A. 一般交通供用あり <input type="checkbox"/> B. 安全施設必要 ( ) <input type="checkbox"/> C. 路面工 ( ) <input type="checkbox"/> D. 工事完了後存続又は撤去 ( ) <input type="checkbox"/> E. 構造 ( ) <input type="checkbox"/> F. 用地 (借地) <input type="checkbox"/> G. 用地 (公用地) <input type="checkbox"/> H. 用地 (その他)
	<input type="checkbox"/> 3. その他	<input type="checkbox"/> A. その他 ( )
指 定 仮 設 備	<input type="checkbox"/> 1. 仮設物の指定又は一部指定あり	<input type="checkbox"/> A. 工種 ( )
	<input type="checkbox"/> 2. 仮設構造物の転用、兼用あり	<input type="checkbox"/> A. 工種 ( ) <input type="checkbox"/> B. 内容 ( )
	<input type="checkbox"/> 3. その他	<input type="checkbox"/> A. その他 ( )

明示項目	明示事項	制約条件等
建設発生廃棄物係	<input type="checkbox"/> 1. 発生土砂等の有効利用、適正処理あり [場所が未確定]	<input type="checkbox"/> A. 運搬距離 ( km ) <input type="checkbox"/> B. 投棄料計上あり <input type="checkbox"/> C. 整地 ( 押土、敷均、締固等 ) 必要 <input type="checkbox"/> D. 整地 ( 押土 ) 必要
	<input checked="" type="checkbox"/> 2. 発生土砂等の有効利用、適正処理あり [自工事へ流用]	<input checked="" type="checkbox"/> A. 盛土、埋戻、敷均し <input type="checkbox"/> B. スtockヤード利用あり ( ) <input type="checkbox"/> C. 仮置場必要 ( ) <input type="checkbox"/> D. 運搬距離 ( km ) <input type="checkbox"/> E. 仮置場の用地借上費計上あり
	<input type="checkbox"/> 3. 発生土砂等の有効利用、適正処理あり [他工事へ流用、または処分地指定]	<input type="checkbox"/> A. 場所 ( ) <input type="checkbox"/> B. 盛土、埋戻 <input type="checkbox"/> C. 整地 ( 押土、敷き均し、転圧 ) あり <input type="checkbox"/> D. スtockヤード利用あり ( ) <input type="checkbox"/> E. 仮置場必要 ( ) <input type="checkbox"/> F. 運搬距離 ( km ) <input type="checkbox"/> G. 仮置場の用地借上費計上あり <input type="checkbox"/> H. 処分料計上あり
	<input type="checkbox"/> 4. 発生土砂等の有効利用、適正処理あり [他工事からの流用]	<input type="checkbox"/> A. 他工事名 ( ) <input type="checkbox"/> B. 請負者運搬あり ( 運搬距離 km ) <input type="checkbox"/> C. 盛土、埋め戻し <input type="checkbox"/> D. スtockヤード利用あり ( ) <input type="checkbox"/> E. 仮置場必要 ( ) <input type="checkbox"/> F. 仮置場の用地借上費計上あり
	<input type="checkbox"/> 5. 産業廃棄物の処理条件あり [特別管理産業廃棄物]	<input type="checkbox"/> A. 種類 ( ) <input type="checkbox"/> B. 場所 ( ) <input type="checkbox"/> C. 中間処理施設までの運搬距離 ( km ) <input type="checkbox"/> D. 処理費計上あり
	<input type="checkbox"/> 6. 浄化槽、汲み取り便槽の取壊し処分あり	<input type="checkbox"/> A. 槽内洗浄必要 <input type="checkbox"/> B. 可児市環境課と打合せの必要あり
	<input checked="" type="checkbox"/> 7. 「岐阜県建設副産物有効利用及び適正処理実施要綱」に基づく提出・提示書類あり	<input checked="" type="checkbox"/> A. 産業廃棄物管理票 ( マニフェスト ) <input type="checkbox"/> B. 建設発生土管理状況書類及び処理地の関係図書 <input checked="" type="checkbox"/> C. コブリス <input checked="" type="checkbox"/> D. 廃棄物処理委託契約、許可書
工事支障物件	<input type="checkbox"/> 1. 占用支障物件あり ( 電気 )	<input type="checkbox"/> A. 移設時期 ( R 年 月 頃 ) <input type="checkbox"/> B. 移設時期 ( 別途協議 )
	<input type="checkbox"/> 2. 占用支障物件あり ( 電話 )	<input type="checkbox"/> A. 移設時期 ( R 年 月 頃 ) <input type="checkbox"/> B. 移設時期 ( 別途協議 )
	<input type="checkbox"/> 3. 占用支障物件あり ( 水道 )	<input type="checkbox"/> A. 移設時期 ( R 年 月 頃 ) <input type="checkbox"/> B. 移設時期 ( 別途協議 )
	<input type="checkbox"/> 4. 占用支障物件あり ( 下水道 )	<input type="checkbox"/> A. 移設時期 ( R 年 月 頃 ) <input type="checkbox"/> B. 移設時期 ( 別途協議 )
	<input type="checkbox"/> 5. 占用支障物件あり ( ガス )	<input type="checkbox"/> A. 移設時期 ( R 年 月 頃 ) <input type="checkbox"/> B. 移設時期 ( 別途協議 )
	<input type="checkbox"/> 6. 占用支障物件あり ( マンホール蓋、仕切り弁蓋等 )	<input type="checkbox"/> A. 管理者による高さ調整 ( ) <input type="checkbox"/> B. 請負者による高さ調整 ( )
	<input type="checkbox"/> 7. 占用支障物件あり ( その他 )	<input type="checkbox"/> A. 移設時期 ( ) <input type="checkbox"/> B. 移設時期 ( 別途協議 )
	<input type="checkbox"/> 8. その他	<input type="checkbox"/> A. その他 ( )
排水工関係	<input type="checkbox"/> 1. 濁水、湧水処理条件あり	<input type="checkbox"/> A. 方法 ( )
	<input type="checkbox"/> 2. その他	<input type="checkbox"/> A. その他 ( )
再生材使用	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 再生材使用指定あり	<input checked="" type="checkbox"/> A. RC <input checked="" type="checkbox"/> B. アスファルト再生合材 ( 30% 再生 ) <input type="checkbox"/> C. アスファルト再生合材 ( 100% 再生 ) <input type="checkbox"/> D. 再生材を使用できない場合別途協議 <input type="checkbox"/> E.
	<input type="checkbox"/> 2. その他	<input type="checkbox"/> A. その他 ( )
その他	<input type="checkbox"/> 1. 現場発生材あり	<input type="checkbox"/> A. 品名 ( ) <input type="checkbox"/> B. 納入場所 ( )
	<input type="checkbox"/> 2. 支給材あり	<input type="checkbox"/> A. 品名 ( ) <input type="checkbox"/> B. 引渡し場所 ( )
	<input type="checkbox"/> 3. 現場環境改善	<input type="checkbox"/> A. 仮設費 ( ) <input type="checkbox"/> B. 安全費 ( ) <input type="checkbox"/> C. 営繕費 ( ) <input type="checkbox"/> D. 地域連携 ( )
	<input type="checkbox"/> 4. 「可児市工品質証明実施要領」該当あり	<input type="checkbox"/> A. 品質証明員の配置あり
	<input type="checkbox"/> 5. 部分使用	<input type="checkbox"/> A. 範囲 ( ) <input type="checkbox"/> B. 時期 ( )
	<input type="checkbox"/> 6. その他	<input type="checkbox"/> A. その他 ( )

記号	工事名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
	可児市立東明小学校トイレ大規模改造工事(Ⅰ期)						
A	建築工事		1.0	式			
E	電気設備工事		1.0	式			
M	機械設備工事		1.0	式			
I	直接工事費	計	1.0	式			
II	共通仮設費	(共通仮設工事費積上分を含む)	1.0	式			
	純工事費	計					
III	現場管理費		1.0	式			
	工事原価	計					
IV	一般管理費等負担額		1.0	式			
	工事価格	計					
V	消費税相当額		1.0	式			
	総合計						

	名称	内容	数量	単位	単価	金額	備考
A	建築工事						
(1)	南舎-西側	一般トイレ(改修D)	1.0	式			
(2)	南舎-東側	一般トイレ(改修E)	1.0	式			
(3)	南舎-通級	一般トイレ(改修F)	1.0	式			
(4)	プール付属棟	一般トイレ(改修H・I)	1.0	式			
	計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
(1)	南舎-西側	一般トイレ(改修D)					
1	直接仮設工事		1.0	式			
2	解体撤去工事		1.0	式			
3	躯体工事		1.0	式			
4	防水工事		1.0	式			
5	タイル工事		1.0	式			
6	木工事		1.0	式			
7	金属工事		1.0	式			
8	左官工事		1.0	式			
9	建具工事		1.0	式			
10	ガラス工事		1.0	式			
11	塗装工事		1.0	式			
12	内装工事		1.0	式			
13	ユニット・その他工事		1.0	式			
	計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
1	直接仮設工事						
	墨出し	内部 複合改修	88.3	m2			
	養生	内部 複合改修	88.3	m2			
	清掃・片付け	内部 複合改修	88.3	m2			
	内部足場	脚立足場 並列	88.3	m2			
	内部足場	脚立足場 直列	13.3	m			
	作業用通路養生	シート+ベニヤ程度	115.0	m2			
	壁面養生	シート張り程度	52.7	m2			
	サッシ養生	ベニヤ張り程度	15.6	m2			
	小計						
	改め計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
2	解体撤去工事						
	カッター入れ	コンクリート面	41.4	m			
	コンクリート土間解体	ハンドブレーカ	0.7	m3			
	コンクリート躯体解体	ハンドブレーカ	2.6	m3			
	床 モルタル撤去		13.0	m2			
	床 塩ビシート撤去		13.6	m2			
	床 塩ビシート撤去	石綿含有	10.5	m2			
	杓摺撤去		6.0	箇所			
	壁 タイル撤去	下地モルタル共	26.0	m2			
	壁 石膏ボード撤去	軽量下地	6.9	m2			
	壁 合板撤去	胴縁下地共	10.9	m2			
	壁 メラミン化粧板撤去		2.3	m2			
	壁 化粧ケイカル板撤去		6.9	m2			
	間仕切下地 撤去	CBt100	26.0	m2			
	間仕切下地 撤去	LGS	10.9	m2			
	天井 石膏ボード撤去	廻り縁共	24.6	m2			
	天井 石綿ケイカル板撤去	石綿含有 廻り縁共	51.1	m2			

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	天井 合板撤去	廻り縁共	1.8	m2			
	天井下地 撤去	LGS	75.7	m2			
	トイレブース 撤去		68.3	m2			
	木製建具 撤去	FD 480x1800 枠共	1.0	箇所			
	ガラス撤去		8.0	m2			
	発生材内小運搬	コンクリート・モルタル類 人力	7.2	m3			
	発生材場内小運搬	内装仕上材 人力	4.1	m3			
	発生材積込・運搬		1.0	式			別紙明細-1
	小計						
	改め計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
3	躯体工事						
	(地業)						
	砕石地業	再生材 土間下 人力	0.2	m3			
	床下防湿材敷き	ポリエチレンフィルム t0.15	2.0	m2			
	(鉄筋)						
	異形鉄筋	SD295A D13	23.8	kg			
	スクラップ控除		0.60	kg			
	鉄筋加工組立		22.9	kg			
	鉄筋運搬費		22.9	kg			
	接着系アンカー	D13 L600	132.0	本			
	金属拡張アンカー	D13 L600	18.0	本			
	(コンクリート)						
	普通コンクリート	スラブ <sup>※</sup> 24-15-20	0.3	m3			
	普通コンクリート	土間 24-15-20	0.3	m3			
	普通コンクリート	レベル調整 24-15-20	2.3	m3			

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	打設手間	ポンプ スラブ	0.3	m3			
	打設手間	ポンプ 土間	0.3	m3			
	打設手間	ポンプ レベル調整	2.3	m3			
	ポンプ圧送費・基本料		0.5	回			
	(型枠)						
	普通合板型枠		3.2	m2			
	型枠運搬費		3.2	m2			
	小計						
	改め計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
4	防水工事						
	シーリング	SR-1 10x10	29.4	m			
	小計						
	改め計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
5	タイル工事						
	汚垂石	薄型タイル t6x800x600	8.0	枚			
	小計						
	改め計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
6	木工事						
	胴縁組	杉 16x40@455 材工共	15.7	m2			
	壁見切	杉 25x30 材工共	16.2	m			
	三方枠	コム積層材 25x110 材工共	15.0	m			
	小計						
	改め計						

	名 称	内 容	数 量	单 位	单 価	金 額	備 考
7	金属工事						
	(軽量鉄骨下地)						
	軽量鉄骨壁下地	65形 @450	74.8	m2			
	軽量鉄骨壁下地	100形 @450	25.2	m2			
	壁下地開口補強	65形 三方 1200x2000程度	2.0	箇所			
	壁下地開口補強	65形 四方 600x1200程度	6.0	箇所			
	軽量鉄骨天井下地	19形 @300	80.0	m2			
	軽量鉄骨下り壁下地	19形	6.7	m			
	(雑金物)						
	杓摺	SUS HL t1.5xW40xH20	3.6	m			
	巾木	SUS HL t0.8xH60	4.2	m			
	小計						
	改め計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
8	左官工事						
	床 コンクリート面直均し仕上げ	金ごて	46.6	m2			
	床 モルタル塗り	金ごて t30	2.0	m2			
	小計						
	改め計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
9	建具工事						
	(鋼製建具)						
	SD-1	片開き点検口	2.0	箇所			
	(トイレブース)						
	TB-7	トイレブース	2.0	箇所			
	TB-8	トイレブース	2.0	箇所			
	TB-9	トイレブース	2.0	箇所			
	TB-12	トイレブース	2.0	箇所			
	TB-K1	トイレブース(既設取外し・再取付)	1.0	箇所			
	TB-K2	トイレブース(既設取外し・再取付)	1.0	箇所			
	TB-K3	トイレブース(既設取外し・再取付)	1.0	箇所			
	(木製建具)						
	FD-K1	片開き戸(既設取外し・再取付)	1.0	箇所			
	小計						
	改め計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
10	ガラス工事						
	アルミ複合パネル	t3.0	2.2	m <sup>2</sup>			
	ガラス留シーリング		23.7	m			
	小計						
	改め計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
11	塗装工事						
	SOP塗り	木部 細幅物 素地ごしらえ共	16.2	m			
	WP塗り	木部 素地ごしらえ共	15.0	m <sup>2</sup>			
	NAD塗り	ケイカル板面 素地ごしらえ共	80.0	m <sup>2</sup>			
	EP-G塗り	石膏ボード面 素地ごしらえ共	31.5	m <sup>2</sup>			
	SOP塗替え	木部 細幅物 下地調整RB種	29.0	m			
	小計						
	改め計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
12	内装工事						
	(床)						
	複層ビニル床シート	t2.0 抗菌・重歩行 ワックス不用品	56.1	m2			
	(壁)						
	壁 石膏ボード	t12.5 突付	158.0	m2			
	石膏ボード継目処理		31.5	m2			
	壁 化粧けい酸カルシウム板	t6.0 ジョイナー共	93.2	m2			
	壁 メラミン化粧板	t3.0 ジョイナー共	33.5	m2			
	壁 メラミン化粧板	t3.0 直張り ジョイナー共	68.2	m2			
	ソフト巾木	H60	77.0	m			
	ソフト巾木	H75	10.6	m			
	(天井)						
	天井 けい酸カルシウム板	t6.0 突付	80.0	m2			
	下り壁見切	塩ビ製	6.7	m			
	天井取合見切	塩ビ製	14.4	m			

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	廻り縁	塩ビ製 突付	123.0	m			
	天井点検口	アルミ製 450角 内外額縁枠	6.0	箇所			
	小計						
	改め計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
13	ユニット・その他工事						
	(サイン)						
	室名サイン	平付型 アクリル製200x200	9.0	箇所			
	室名表示	カットイングシート 50角/文字	3.0	箇所			
	(雑)						
	面台	ポストフォームカウンター 20x150	2.6	m			
	面台	ポストフォームカウンター 20x300	10.1	m			
	小計						
	改め計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
(2)	南舎-東側	一般トイレ(改修E)					
1	直接仮設工事		1.0	式			
2	解体撤去工事		1.0	式			
3	躯体工事		1.0	式			
4	防水工事		1.0	式			
5	タイル工事		1.0	式			
6	木工事		1.0	式			
7	金属工事		1.0	式			
8	左官工事		1.0	式			
9	建具工事		1.0	式			
10	ガラス工事		1.0	式			
11	塗装工事		1.0	式			
12	内装工事		1.0	式			
13	ユニット・その他工事		1.0	式			
	計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
1	直接仮設工事						
	墨出し	内部 複合改修	88.3	m2			
	養生	内部 複合改修	88.3	m2			
	清掃・片付け	内部 複合改修	88.3	m2			
	内部足場	脚立足場 並列	88.3	m2			
	内部足場	脚立足場 直列	13.3	m			
	作業用通路養生	シート+ベニヤ程度	94.5	m2			
	壁面養生	シート張り程度	52.7	m2			
	サッシ養生	ベニヤ張り程度	15.6	m2			
	小計						
	改め計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
2	解体撤去工事						
	カッター入れ	コンクリート面	41.4	m			
	コンクリート土間解体	ハンドブレーカ	0.7	m3			
	コンクリート躯体解体	ハンドブレーカ	2.4	m3			
	床 モルタル撤去		13.0	m2			
	床 塩ビシート撤去		13.6	m2			
	床 塩ビシート撤去	石綿含有	10.5	m2			
	杓摺撤去		6.0	箇所			
	壁 タイル撤去	下地モルタル共	26.0	m2			
	壁 石膏ボード撤去	軽量下地	6.9	m2			
	壁 合板撤去	胴縁下地共	9.8	m2			
	壁 メラミン化粧板撤去		2.3	m2			
	壁 化粧ケイカル板撤去		6.9	m2			
	間仕切下地 撤去	CBt100	26.0	m2			
	間仕切下地 撤去	LGS	10.9	m2			
	天井 石膏ボード撤去	廻り縁共	24.6	m2			
	天井 石綿ケイカル板撤去	廻り縁共 石綿含有	51.1	m2			

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	天井 合板撤去	廻り縁共	1.8	m2			
	天井下地 撤去	LGS	75.7	m2			
	トイレブース 撤去		68.3	m2			
	金属製建具 撤去	SD 800x2700 枠共	2.0	箇所			
	木製建具 撤去	FD 480x1800 枠共	1.0	箇所			
	ガラス撤去		12.6	m2			
	発生材内小運搬	コンクリート・モルタル類 人力	7.0	m3			
	発生材場内小運搬	内装仕上材 人力	4.3	m3			
	発生材積込・運搬		1.0	式			別紙明細-2
	小計						
	改め計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
3	躯体工事						
	(地業)						
	砕石地業	再生材 土間下 人力	0.2	m3			
	床下防湿材敷き	ポリエチレンフィルム t0.15	2.0	m2			
	(鉄筋)						
	異形鉄筋	SD295A D13	23.8	kg			
	スクラップ控除		0.60	kg			
	鉄筋加工組立		22.9	kg			
	鉄筋運搬費		22.9	kg			
	接着系アンカー	D13 L600	132.0	本			
	金属拡張アンカー	D13 L600	18.0	本			
	(コンクリート)						
	普通コンクリート	スラブ <sup>※</sup> 24-15-20	0.3	m3			
	普通コンクリート	土間 24-15-20	0.3	m3			
	普通コンクリート	レベル調整 24-15-20	2.3	m3			

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	打設手間	ポンプ スラブ	0.3	m3			
	打設手間	ポンプ 土間	2.3	m3			
	打設手間	ポンプ レベル調整	0.3	m3			
	ポンプ圧送費・基本料		0.5	回			
	(型枠)						
	普通合板型枠		3.2	m2			
	型枠運搬費		3.2	m2			
	小計						
	改め計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
4	防水工事						
	シーリング	SR-1 10x10	31.3	m			
	小計						
	改め計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
5	タイル工事						
	汚垂石	薄型タイル t6x800x600	8.0	枚			
	小計						
	改め計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
6	木工事						
	胴縁組	杉 16x40@455 材工共	15.7	m2			
	壁見切	杉 25x30 材工共	16.2	m			
	三方枠	コム積層材 25x110 材工共	14.8	m			
	小計						
	改め計						

	名 称	内 容	数 量	单 位	单 価	金 額	備 考
7	金属工事						
	(軽量鉄骨下地)						
	軽量鉄骨壁下地	65形 @450	76.3	m2			
	軽量鉄骨壁下地	100形 @450	25.2	m2			
	壁下地開口補強	65形 三方 1200x2000程度	2.0	箇所			
	壁下地開口補強	65形 三方 900x2000程度	2.0	箇所			
	壁下地開口補強	65形 四方 600x1200程度	6.0	箇所			
	軽量鉄骨天井下地	19形 @300	80.0	m2			
	軽量鉄骨下り壁下地	19形	6.7	m			
	(雑金物)						
	杓摺	SUS HL t1.5xW40xH20	2.4	m			
	巾木	SUS HL t0.8xH60	4.2	m			
	小計						
	改め計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
8	左官工事						
	床 コンクリート面直均し仕上げ	金ごて	46.6	m2			
	床 モルタル塗り	金ごて t30	2.0	m2			
	小計						
	改め計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
9	建具工事						
	(鋼製軽量建具)						
	LSD-4	片開き戸	2.0	箇所			
	(鋼製建具)						
	SD-1	片開き点検口	2.0	箇所			
	(トイレブース)						
	TB-7	トイレブース	1.0	箇所			
	TB-8	トイレブース	1.0	箇所			
	TB-9	トイレブース	1.0	箇所			
	TB-10	トイレブース	1.0	箇所			
	TB-11	トイレブース	1.0	箇所			
	TB-12	トイレブース	2.0	箇所			
	TB-K1	トイレブース(既設取外し・再取付)	1.0	箇所			
	TB-K2	トイレブース(既設取外し・再取付)	1.0	箇所			
	TB-K3	トイレブース(既設取外し・再取付)	1.0	箇所			

	名称	内容	数量	単位	単価	金額	備考
	(木製建具)						
	FD-K1	片開き戸(既設取外し・再取付)	1.0	箇所			
	小計						
	改め計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
10	ガラス工事						
	型板強化ガラス	TF4	0.3	m2			
	アルミ複合パネル	t3.0	2.2	m2			
	ガラス留シーリング		32.1	m			
	小計						
	改め計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
11	塗装工事						
	SOP塗り	木部 細幅物 素地ごしらえ共	16.2	m			
	WP塗り	木部 細幅物 素地ごしらえ共	14.8	m			
	NAD塗り	ケイカル板面 素地ごしらえ共	80.0	m <sup>2</sup>			
	EP-G塗り	石膏ボード面 素地ごしらえ共	34.5	m <sup>2</sup>			
	SOP塗替え	鉄部 細幅物 下地調整RB種	1.4	m			
	SOP塗替え	木部 細幅物 下地調整RB種	29.0	m			
	小計						
	改め計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
12	内装工事						
	(床)						
	複層ビニル床シート	t2.0 抗菌・重歩行 ワックス不用品	56.2	m2			
	(壁)						
	壁 石膏ボード	t12.5 突付	152.0	m2			
	石膏ボード継目処理		34.5	m2			
	壁 化粧けい酸カルシウム板	t6.0 ジョイナー共	83.3	m2			
	壁 化粧けい酸カルシウム板	t6.0 直張り ジョイナー共	68.2	m2			
	壁 メラミン化粧板	t3.0 ジョイナー共	34.3	m2			
	ソフト巾木	H60	76.1	m			
	ソフト巾木	H75	10.6	m			
	(天井)						
	天井 けい酸カルシウム板	t6.0 突付	80.0	m2			
	下り壁見切	塩ビ製	6.7	m			
	天井取合見切	塩ビ製	14.4	m			

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	廻り縁	塩ビ製 突付	123.0	m			
	天井点検口	アルミ製 450角 内外額縁枠	6.0	箇所			
	天井点検口	アルミ製 600角 内外額縁枠	1.0	箇所			
	小計						
	改め計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
13	ユニット・その他工事						
	(サイン)						
	室名サイン	平付型 アクリル製200x200	8.0	箇所			
	室名表示	カッティングシート 50角/文字	6.0	箇所			
	(雑)						
	面台	ポストフォームカウンター 20x150	3.4	m			
	面台	ポストフォームカウンター 20x300	10.1	m			
	小計						
	改め計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
(3)	南舎-通級	一般トイレ(改修F)					
1	直接仮設工事		1.0	式			
2	解体撤去工事		1.0	式			
3	躯体工事		1.0	式			
4	防水工事		1.0	式			
5	タイル工事		1.0	式			
6	金属工事		1.0	式			
7	左官工事		1.0	式			
8	建具工事		1.0	式			
9	ガラス工事		1.0	式			
10	塗装工事		1.0	式			
11	内装工事		1.0	式			
12	ユニット・その他工事		1.0	式			
	計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
1	直接仮設工事						
	墨出し	内部 複合改修	29.0	m2			
	養生	内部 複合改修	29.0	m2			
	清掃・片付け	内部 複合改修	29.0	m2			
	内部足場	脚立足場 並列	29.0	m2			
	内部足場	脚立足場 直列	4.5	m			
	作業用通路養生	シート+ベニヤ程度	113.0	m2			
	壁面養生	シート張り程度	18.1	m2			
	サッシ養生	ベニヤ張り程度	5.2	m2			
	小計						
	改め計						



	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	小計						
	改め計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
3	躯体工事						
	(地業)						
	砕石地業	再生材 土間下 人力	1.5	m3			
	床下防湿材敷き	ポリエチレンフィルム t0.15	14.5	m2			
	床下断熱材敷き	ポリスチレンフォーム保温板 t25	14.5	m2			
	(鉄筋)						
	異形鉄筋	SD295A D13	161.0	kg			
	スクラップ控除		4.30	kg			
	鉄筋加工組立		155.0	kg			
	鉄筋運搬費		155.0	kg			
	金属拡張アンカー	D13 L600	44.0	本			
	(コンクリート)						
	普通コンクリート	土間 24-15-20	2.2	m3			
	普通コンクリート	レベル調整 24-15-20	0.6	m3			
	打設手間	ポンプ 土間	2.2	m3			

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	打設手間	ポンプ レベル調整	0.6	m3			
	ポンプ圧送費・基本料		0.5	回			
	小計						
	改め計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
4	防水工事						
	シーリング	SR-1 10x10	9.1	m			
	小計						
	改め計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
5	タイル工事						
	汚垂石	薄型タイル t6x900x600	1.0	枚			
	小計						
	改め計						

	名 称	内 容	数 量	单 位	单 価	金 額	備 考
6	金属工事						
	(軽量鉄骨下地)						
	軽量鉄骨壁下地	65形 @450	24.3	m2			
	軽量鉄骨壁下地	100形 @450	3.1	m2			
	壁下地開口補強	65形 三方 900x2000程度	2.0	箇所			
	軽量鉄骨天井下地	19形 @300	17.3	m2			
	軽量鉄骨下り壁下地	19形	3.3	m			
	(雑金物)						
	沓摺	SUS HL t1.5xW40xH20	2.0	m			
	小計						
	改め計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
7	左官工事						
	床 コンクリート面直均し仕上げ	金ごて	12.1	m2			
	小計						
	改め計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
8	建具工事						
	(鋼製軽量建具)						
	LSD-2	2枚連動片引きハンガー戸(壁内収納)	2.0	箇所			
	小計						
	改め計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
9	ガラス工事						
	型板強化ガラス	TF4	0.3	m2			
	アルミ複合パネル	t3.0	1.4	m2			
	ガラス留シーリング		24.9	m			
	小計						
	改め計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
10	塗装工事						
	NAD塗り	ケイカル板面 素地ごしらえ共	17.3	m2			
	小計						
	改め計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
11	内装工事						
	(床)						
	複層ビニル床シート	t2.0 抗菌・重歩行 ワックス不用品	21.0	m2			
	(壁)						
	壁 石膏ボード 重張り	下地石膏ボードt12.5共	8.5	m2			
	壁 石膏ボード	t12.5 突付	28.7	m2			
	壁 化粧けい酸カルシウム板	t6.0 ジョイナー共	37.3	m2			
	壁 化粧けい酸カルシウム板	t6.0 直張り ジョイナー共	26.5	m2			
	ソフト巾木	H60	23.9	m			
	(天井)						
	天井 けい酸カルシウム板	t6.0 突付	17.3	m2			
	下り壁見切	塩ビ製	3.3	m			
	廻り縁	塩ビ製 突付	37.4	m			
	天井点検口	アルミ製 450角 内外額縁枠	2.0	箇所			

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	小計						
	改め計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
12	ユニット・その他工事						
	(サイン)						
	室名サイン	平付型 アクリル製200x200	3.0	箇所			
	(雑)						
	面台	ポストフォームカウンター 20x150	2.7	m			
	小計						
	改め計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
(4)	プール付属棟	一般トイレ(改修H・I)					
1	直接仮設工事		1.0	式			
2	解体撤去工事		1.0	式			
3	躯体工事		1.0	式			
4	タイル工事		1.0	式			
5	左官工事		1.0	式			
6	建具工事		1.0	式			
7	ユニット・その他工事		1.0	式			
	計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
1	直接仮設工事						
	墨出し	内部 個別改修	54.4	m2			
	養生	内部 個別改修	54.4	m2			
	清掃・片付け	内部 個別改修	54.4	m2			
	小計						
	改め計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
2	解体撤去工事						
	カッター入れ	コンクリート面	11.5	m			
	コンクリート土間解体	ハンドブレーカ	0.3	m3			
	トイレブース 撤去		25.8	m2			
	発生材場内小運搬	コンクリート・モルタル類 人力	0.3	m3			
	発生材場内小運搬	内装仕上材 人力	1.0	m3			
	発生材積込・運搬		1.0	式			別紙明細-4
	小計						
	改め計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
3	躯体工事						
	(地業)						
	砕石地業	再生材 土間下 人力	0.2	m3			
	床下防湿材敷き	ポリエチレンフィルム t0.15	1.5	m2			
	(鉄筋)						
	金属拡張アンカー	D13 L600	55.0	本			
	(コンクリート)						
	普通コンクリート	土間 24-15-20	0.3	m3			
	打設手間	ポンプ 土間	0.3	m3			
	ポンプ圧送費・基本料		0.5	回			
	小計						
	改め計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
4	タイル工事						
	外装床モザイクタイル	I類 50角 部分補修張り	1.1	m2			
	小計						
	改め計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
5	左官工事						
	床 モルタル塗り	木ごと タイル下地	1.1	m2			
	小計						
	改め計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
6	建具工事						
	(トイレブース)						
	TB-15	トイレブース	1.0	箇所			
	TB-16	トイレブース	2.0	箇所			
	TB-17	トイレブース	1.0	箇所			
	小計						
	改め計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
7	ユニット・その他工事						
	(サイン)						
	室名表示	カッティングシート 50角/文字	1.0	箇所			
	小計						
	改め計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	発生材処分						
1	発生材処分	一般トイレ	1.0	式			建築
2	発生材処分	電気設備	1.0	式			電気
3	発生材処分	機械設備	1.0	式			機械
	小計						
	改め計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
(1)	発生材処分	一般トイレ					
	コンクリートがら		13.4	m3			
	モルタルがら・他		4.8	m3			
	ガラス・陶磁器くず		1.3	m3			
	廃石膏ボード		0.6	m3			
	廃プラスチック類		0.1	m3			
	木くず		0.6	m3			
	混合廃材		7.2	m3			
	石綿含有建材		0.8	m3			
	金属くず		0.9	t			
	小計						
	改め計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
別紙-1	発生材積込・運搬	(4) 一般トイレD					
	コンクリートがら		4.6	m3			
	モルタルがら・他		2.2	m3			
	ガラス・陶磁器くず		0.4	m3			
	廃石膏ボード		0.3	m3			
	廃プラスチック類		0.1	m3			
	木くず		0.3	m3			
	混合廃材		2.7	m3			
	石綿含有建材		0.3	m3			
	金属くず		0.4	t			
	小計						
	改め計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
別紙-2	発生材積込・運搬	(5) 一般トイレE					
	コンクリートがら		4.5	m3			
	モルタルがら・他		2.1	m3			
	ガラス・陶磁器くず		0.4	m3			
	廃石膏ボード		0.3	m3			
	廃プラスチック類		0.1	m3			
	木くず		0.3	m3			
	混合廃材		2.7	m3			
	石綿含有建材		0.3	m3			
	金属くず		0.4	t			
	小計						
	改め計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
別紙-3	発生材積込・運搬	(6) 一般トイレF					
	コンクリートがら		4.3	m3			
	モルタルがら・他		0.5	m3			
	ガラス・陶磁器くず		0.1	m3			
	廃石膏ボード			m3			
	廃プラスチック類			m3			
	木くず		0.1	m3			
	混合廃材		0.7	m3			
	石綿含有建材		0.1	m3			
	金属くず		0.1	t			
	小計						
	改め計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
別紙-4	発生材積込・運搬	(9) 一般トイレHI					
	コンクリートがら			m3			
	モルタルがら・他			m3			
	ガラス・陶磁器くず		0.3	m3			
	廃石膏ボード			m3			
	廃プラスチック類			m3			
	木くず			m3			
	混合廃材		1.0	m3			
	石綿含有建材			m3			
	金属くず			t			
	小計						
	改め計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
(2)	発生材処分	電気設備					
	コンクリートがら			m3			
	モルタルがら・他			m3			
	ガラス・陶磁器くず		0.02	m3			
	廃石膏ボード			m3			
	廃プラスチック類		0.01	m3			
	木くず			m3			
	混合廃材		0.25	m3			
	石綿含有建材			m3			
	金属くず		0.10	t			
	小計						
	改め計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
(3)	発生材処分	機械設備					
	コンクリートがら			m3			
	モルタルがら・他			m3			
	ガラス・陶磁器くず		8.47	m3			
	廃石膏ボード			m3			
	廃プラスチック類		2.27	m3			
	木くず			m3			
	混合廃材		3.47	m3			
	石綿含有建材			m3			
	金属くず		0.34	t			
	アスベスト		4.00	m3			
	残土(場内敷き均し)		3.35	m3			
	小計						
	改め計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
E	電気設備工事						
(1)	南舎-西側	一般トイレ(改修D)	1.0	式			
(2)	南舎-東側	一般トイレ(改修E)	1.0	式			
(3)	南舎-通級	一般トイレ(改修F)	1.0	式			
(4)	プール 北側	一般トイレ(改修H)	1.0	式			
(5)	プール 南側	一般トイレ(改修I)	1.0	式			
	計						



	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
1	電灯設備工事						
	ケーブル	EM-EEF2.0mm-3C(天井内)	7.0	m			
	ケーブル	EM-EEF1.6mm-3C(天井内)	42.0	m			
	ケーブル	EM-EEF1.6mm-3C(PF管内)	1.0	m			
	ケーブル	EM-EEF1.6mm-2C(天井内)	47.0	m			
	ケーブル	EM-EEF1.6mm-2C(PF管内)	5.0	m			
	電線管	PF22mm(インペイ)	2.0	m			
	電線管	PF16mm(インペイ)	3.0	m			
	照明器具	A1 LED埋込ベースライト 40形 W150	4.0	台			
	照明器具	B1 LED直付ベースライト 40形 W150	4.0	台			
	照明器具	C LEDダウンライト 100形	6.0	台			
	照明器具	D LEDダウンライト 150形	4.0	台			
	人感センサ	親機 8A	6.0	個			
	人感センサ	子機	4.0	個			
	人感センサ	子機(換気扇連動)	4.0	個			
	切替スイッチ	1回路用	2.0	個			
	切替スイッチ	2回路用	4.0	個			

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	埋込コンセント	2P15A×1 (新金属P)	4.0	個			
	埋込スイッチボックス	1個用	4.0	個			
	器具再取付工事		1.0	式			
	小計						
	改め計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
2	コンセント設備工事						
	ケーブル	EM-EEF2.0mm-3C(天井内)	94.0	m			
	ケーブル	EM-EEF2.0mm-3C(管内)	4.0	m			
	ケーブル	EM-EEF2.0mm-3C(PF管内)	34.0	m			
	ケーブル	EM-EEF1.6mm-3C(天井内)	8.0	m			
	ケーブル	EM-EEF1.6mm-3C(PF管内)	1.0	m			
	電線管	PF22mm(インペイ)	29.0	m			
	電線管	PF16mm(インペイ)	1.0	m			
	1種金属線ぴ	メタルモールC型	2.0	m			
	埋込コンセント	2P15A×1+ET×1 (新金属P)	8.0	個			
	埋込コンセント	2P15A(E付)×1+ET×1 (新金属P)	10.0	個			
	埋込スイッチボックス	1個用	18.0	個			
	アウトレットボックス	中型四角44mm	8.0	個			
	コーナーボックス	メタルモール用 C型	2.0	個			
	小計						
	改め計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
3	撤去工事						
	器具取り外し工事		1.0	式			
	配管配線撤去工事		1.0	式			
	器具等撤去工事		1.0	式			
	発生材積込・運搬		1.0	式			
	小計						
	改め計						



	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
1	電灯設備工事						
	ケーブル	EM-EEF2.0mm-3C(天井内)	26.0	m			
	ケーブル	EM-EEF2.0mm-3C(管内)	2.0	m			
	ケーブル	EM-EEF1.6mm-3C(天井内)	51.0	m			
	ケーブル	EM-EEF1.6mm-3C(PF管内)	1.0	m			
	ケーブル	EM-EEF1.6mm-2C(天井内)	34.0	m			
	ケーブル	EM-EEF1.6mm-2C(PF管内)	5.0	m			
	電線管	PF22mm(インペイ)	2.0	m			
	電線管	PF16mm(インペイ)	3.0	m			
	1種金属線ぴ	メタルモールC型	2.0	m			
	新設分電盤	2L-2	1.0	面			
	新設分電盤	3L-2	1.0	面			
	分電盤改修費	2L-1K,3L-1K	1.0	式			
	照明器具	A1 LED埋込ベースライト 40形 W150	4.0	台			
	照明器具	B1 LED直付ベースライト 40形 W150	4.0	台			
	照明器具	C LEDダウンライト 100形	6.0	台			
	照明器具	D LEDダウンライト 150形	4.0	台			

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	人感センサ	親機 8A	6.0	個			
	人感センサ	子機	4.0	個			
	人感センサ	子機(換気扇連動)	4.0	個			
	切替スイッチ	1回路用	2.0	個			
	切替スイッチ	2回路用	4.0	個			
	埋込コンセント	2P15A×1 (新金属P)	4.0	個			
	埋込スイッチボックス	1個用	4.0	個			
	コーナーボックス	メタルモール用 C型	2.0	個			
	器具再取付工事		1.0	式			
	小計						
	改め計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
2	コンセント設備工事						
	ケーブル	EM-EEF2.0mm-3C(天井内)	47.0	m			
	ケーブル	EM-EEF2.0mm-3C(管内)	4.0	m			
	ケーブル	EM-EEF2.0mm-3C(PF管内)	32.0	m			
	ケーブル	EM-EEF1.6mm-3C(PF管内)	5.0	m			
	ケーブル	EM-EEF1.6mm-2C(PF管内)	4.0	m			
	電線管	PF22mm(インペイ)	28.0	m			
	電線管	PF16mm(インペイ)	9.0	m			
	埋込コンセント	2P15A×1+ET×1 (新金属P)	10.0	個			
	埋込コンセント	2P15A(E付)×1+ET×1 (新金属P)	8.0	個			
	埋込スイッチボックス	1個用	18.0	個			
	アウトレットボックス	中型四角44mm	8.0	個			
	小計						
	改め計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
3	撤去工事						
	器具取り外し工事		1.0	式			
	配管配線撤去工事		1.0	式			
	器具等撤去工事		1.0	式			
	発生材積込・運搬		1.0	式			
	小計						
	改め計						



	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
1	電灯設備工事						
	ケーブル	EM-EEF2.0mm-3C(天井内)	34.0	m			
	ケーブル	EM-EEF2.0mm-3C(管内)	1.0	m			
	ケーブル	EM-EEF1.6mm-3C(天井内)	19.0	m			
	ケーブル	EM-EEF1.6mm-2C(天井内)	10.0	m			
	ケーブル	EM-EEF1.6mm-2C(PF管内)	1.0	m			
	電線管	PF16mm(インペイ)	1.0	m			
	1種金属線ぴ	メタルモールC型	1.0	m			
	新設分電盤	1L-2	1.0	面			
	分電盤改修費	1L-1K	1.0	式			
	照明器具	A2 LED埋込ベースライト20形 W150	2.0	台			
	照明器具	B1 LED直付ベースライト 40形 W150	1.0	台			
	照明器具	C LEDダウンライト 100形	2.0	台			
	照明器具	D LEDダウンライト 150形	3.0	台			
	人感センサ	親機 8A	3.0	個			
	人感センサ	子機	1.0	個			
	人感センサ	子機(換気扇連動)	2.0	個			

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	切替スイッチ	1回路用	1.0	個			
	切替スイッチ	2回路用	2.0	個			
	埋込コンセント	2P15A×1 (新金属P)	2.0	個			
	埋込スイッチボックス	1個用	2.0	個			
	コーナーボックス	メタルモール用 C型	1.0	個			
	ケーブル接続費		1.0	式			
	小計						
	改め計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
2	コンセント設備工事						
	ケーブル	EM-EEF2.0mm-3C(天井内)	35.0	m			
	ケーブル	EM-EEF2.0mm-3C(管内)	1.0	m			
	ケーブル	EM-EEF2.0mm-3C(PF管内)	2.0	m			
	ケーブル	EM-EEF1.6mm-2C(天井内)	2.0	m			
	ケーブル	EM-EEF1.6mm-2C(PF管内)	7.0	m			
	電線管	PF22mm(インペイ)	2.0	m			
	電線管	PF16mm(インペイ)	7.0	m			
	埋込コンセント	2P15A×1+ET×1 (新金属P)	2.0	個			
	埋込コンセント	2P15A(E付)×1+ET×1 (新金属P)	2.0	個			
	埋込スイッチボックス	1個用	4.0	個			
	アウトレットボックス	中型四角44mm	1.0	個			
	小計						
	改め計						

	名 称	内 容	数 量	单 位	单 価	金 額	備 考
3	撤去工事						
	配管配線撤去工事		1.0	式			
	器具等撤去工事		1.0	式			
	発生材積込・運搬		1.0	式			
	小計						
	改め計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
(4)	プール 北側	一般トイレ(改修H)					
1	コンセント設備工事		1.0	式			
	計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
1	コンセント設備工事						
	電線	EM-IE2.0mm×1(管内)	47.0	m			
	電線管	E19mm(露出)	9.0	m			
	1種金属線ぴ	メタルモールA型	6.0	m			
	埋込コンセント	2P15A(E付)×1+ET×1 (新金属P)	3.0	個			
	コーナーボックス	メタルモール用 A型	2.0	個			
	スイッチボックス	メタルモール用 A型 1個用	3.0	個			
	プルボックス	SS150×150×150	3.0	個			
	プルボックス	SS150×150×150SUS-WP	2.0	個			
	コア抜き		1.0	式			
	塗装工事		1.0	式			
	小計						
	改め計						



	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
1	コンセント設備工事						
	電線	EM-IE2.0mm×1(管内)	30.0	m			
	1種金属線ぴ	メタルモールA型	10.0	m			
	埋込コンセント	2P15A(E付)×1+ET×1 (新金属P)	4.0	個			
	スイッチボックス	メタルモール用 A型 1個用	4.0	個			
	小計						
	改め計						



	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
(1)	南舎-西側	一般トイレ(改修D)					
1	換気設備		1.0	式			
2	衛生器具設備		1.0	式			
3	給水設備		1.0	式			
4	排水通気設備		1.0	式			
5	消火設備		1.0	式			
6	発生材 積込・運搬		1.0	式			
	小計						
	改め計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
1	換気設備						
	FR-2 壁換気扇	250φ×600m <sup>3</sup> /h FD付ステンレス製ウェザークカバー	4.0	台			
	撤去工事		1.0	式			
	小計						
	改め計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
2	衛生器具設備						
	腰掛便器	C-1	10.0	組			
	小便器	U-1	8.0	組			
	洗面器	L-1	8.0	組			
	多目的流し	SK-1	2.0	組			
	L型手すり	TR-1	6.0	組			
	小便器用手すり	TR-3	3.0	組			
	化粧鏡	M-1	8.0	枚			
	暖房便座	DB-1	5.0	組			
	モップ掛け	AS-1	2.0	個			
	器具取外し再取付費		1.0	式			
	撤去工事		1.0	式			
	小計						
	改め計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
3	給水設備						
	給水・硬質塩化ビニルライニング鋼管	便所配管 VB 100A	4.0	m			
	給水・硬質塩化ビニルライニング鋼管	便所配管 VB 80A	4.0	m			
	給水・硬質塩化ビニルライニング鋼管	便所配管 VB 65A	4.0	m			
	給水・硬質塩化ビニルライニング鋼管	便所配管 VB 50A	5.0	m			
	給水・硬質塩化ビニルライニング鋼管	便所配管 VB 40A	5.0	m			
	給水・硬質塩化ビニルライニング鋼管	便所配管 VB 32A	3.0	m			
	給水・硬質塩化ビニルライニング鋼管	便所配管 VB 25A	8.0	m			
	給水・硬質塩化ビニルライニング鋼管	便所配管 VB 20A	57.0	m			
	給水・耐衝撃性硬質ポリ塩化ビニル管	便所配管 HIVP 50A	1.0	m			
	給水・耐衝撃性硬質ポリ塩化ビニル管	便所配管 HIVP 20A	2.0	m			
	弁類	GV 65	1.0	個			
	弁類	GV 50	1.0	個			
	弁類	GV 40	2.0	個			
	弁類	GV 20	1.0	個			
	弁名札	樹脂製	5.0	個			
	保温工事		1.0	式			

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	研り工事		1.0	式			
	スリーブ工事		1.0	式			
	配管接続費		1.0	式			
	あと施工アンカー		1.0	式			
	土工事		1.0	式			
	撤去工事		1.0	式			
	小計						
	改め計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
4	排水通気設備						
	排水・硬質ポリ塩化ビニル管	便所配管 VP 100A	5.0	m			
	排水・硬質ポリ塩化ビニル管	便所配管 VP 65A	1.0	m			
	排水・硬質ポリ塩化ビニル耐火二層管	便所配管 FDPD(VP) 100A	38.0	m			
	排水・硬質ポリ塩化ビニル耐火二層管	便所配管 FDPD(VP) 75A	34.0	m			
	排水・硬質ポリ塩化ビニル耐火二層管	便所配管 FDPD(VP) 65A	8.0	m			
	排水・硬質ポリ塩化ビニル耐火二層管	便所配管 FDPD(VP) 50A	19.0	m			
	排水・硬質ポリ塩化ビニル耐火二層管	便所配管 FDPD(VP) 40A	22.0	m			
	通気・硬質ポリ塩化ビニル管	便所配管 VP 50A	3.0	m			
	通気・硬質ポリ塩化ビニル耐火二層管	便所配管 FDPD(VP) 100A	2.0	m			
	通気・硬質ポリ塩化ビニル耐火二層管	便所配管 FDPD(VP) 75A	17.0	m			
	通気・硬質ポリ塩化ビニル耐火二層管	便所配管 FDPD(VP) 65A	4.0	m			
	通気・硬質ポリ塩化ビニル耐火二層管	便所配管 FDPD(VP) 50A	15.0	m			
	雨水・硬質ポリ塩化ビニル管	便所配管 VP 100A	1.0	m			
	雨水・硬質ポリ塩化ビニル耐火二層管	便所配管 FDPD(VP) 100A	12.0	m			
	床上掃除口	CIR 65	18.0	個			
	満水継手	100A	4.0	個			

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	研り工事		1.0	式			
	スリーブ工事		1.0	式			
	配管接続費		1.0	式			
	あと施工アンカー		1.0	式			
	土工事		1.0	式			
	撤去工事		1.0	式			
	小計						
	改め計						

	名 称	内 容	数 量	单 位	单 価	金 額	備 考
5	消火設備						
	消火・配管用炭素鋼鋼管(白)	屋内一般 SGP(白) 65A	3.0	m			
	消火・配管用炭素鋼鋼管(白)	屋内一般 SGP(白) 50A	6.0	m			
	消火・配管用炭素鋼鋼管(白)	屋内一般 SGP(白) 40A	2.0	m			
	HB-1A 屋内消火栓	易操作性1号 埋込式	3.0	組			
	研り工事		1.0	式			
	配管接続費		1.0	式			
	撤去工事		1.0	式			
	仮設消火器		1.0	式			
	小計						
	改め計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
6	発生材 積込・運搬						
	積込・運搬	混合廃棄物	1.63	m3			
	積込・運搬	金属くず	0.16	ton			
	積込・運搬	廃プラスチック	0.97	m3			
	積込・運搬	ガラスくず	0.32	m3			
	積込・運搬	陶磁器くず	3.54	m3			
	アスベスト除去費	保温材 積込・運搬共	1.0	式			
	小計						
	改め計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
(2)	南舎-東側	一般トイレ(改修E)					
1	換気設備		1.0	式			
2	衛生器具設備		1.0	式			
3	給水設備		1.0	式			
4	排水通気設備		1.0	式			
5	消火設備		1.0	式			
6	発生材 積込・運搬		1.0	式			
	小計						
	改め計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
1	換気設備						
	FR-1 壁換気扇	250φ×600m <sup>3</sup> /h ステンレス製ウェザーカバー	4.0	台			
	撤去工事		1.0	式			
	小計						
	改め計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
2	衛生器具設備						
	腰掛便器	C-1	5.0	組			
	腰掛便器	C-2	4.0	組			
	小便器	U-1	8.0	組			
	洗面器	L-1	9.0	組			
	多目的流し	SK-1	2.0	組			
	L型手すり	TR-1	6.0	組			
	小便器用手すり	TR-3	3.0	組			
	化粧鏡	M-1	9.0	枚			
	暖房便座	DB-1	5.0	組			
	モップ掛け	AS-1	2.0	個			
	器具取外し再取付費		1.0	式			
	撤去工事		1.0	式			
	小計						
	改め計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
3	給水設備						
	給水・硬質塩化ビニルライニング鋼管	便所配管 VB 100A	5.0	m			
	給水・硬質塩化ビニルライニング鋼管	便所配管 VB 80A	16.0	m			
	給水・硬質塩化ビニルライニング鋼管	便所配管 VB 65A	4.0	m			
	給水・硬質塩化ビニルライニング鋼管	便所配管 VB 50A	5.0	m			
	給水・硬質塩化ビニルライニング鋼管	便所配管 VB 40A	11.0	m			
	給水・硬質塩化ビニルライニング鋼管	便所配管 VB 32A	4.0	m			
	給水・硬質塩化ビニルライニング鋼管	便所配管 VB 25A	4.0	m			
	給水・硬質塩化ビニルライニング鋼管	便所配管 VB 20A	55.0	m			
	給水・耐衝撃性硬質ポリ塩化ビニル管	便所配管 HIVP 50A	1.0	m			
	給水・耐衝撃性硬質ポリ塩化ビニル管	便所配管 HIVP 20A	1.0	m			
	弁類	GV 65	3.0	個			
	弁類	GV 50	1.0	個			
	弁類	GV 40	1.0	個			
	弁名札	樹脂製	5.0	個			
	保温工事		1.0	式			
	研り工事		1.0	式			

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	スリーブ工事		1.0	式			
	配管接続費		1.0	式			
	あと施工アンカー		1.0	式			
	土工事		1.0	式			
	撤去工事		1.0	式			
	小計						
	改め計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
4	排水通気設備						
	排水・硬質ポリ塩化ビニル管	便所配管 VP 100A	5.0	m			
	排水・硬質ポリ塩化ビニル管	便所配管 VP 65A	1.0	m			
	排水・硬質ポリ塩化ビニル耐火二層管	便所配管 FDPD(VP) 100A	38.0	m			
	排水・硬質ポリ塩化ビニル耐火二層管	便所配管 FDPD(VP) 75A	34.0	m			
	排水・硬質ポリ塩化ビニル耐火二層管	便所配管 FDPD(VP) 65A	8.0	m			
	排水・硬質ポリ塩化ビニル耐火二層管	便所配管 FDPD(VP) 50A	19.0	m			
	排水・硬質ポリ塩化ビニル耐火二層管	便所配管 FDPD(VP) 40A	22.0	m			
	通気・硬質ポリ塩化ビニル管	便所配管 VP 50A	3.0	m			
	通気・硬質ポリ塩化ビニル耐火二層管	便所配管 FDPD(VP) 100A	1.0	m			
	通気・硬質ポリ塩化ビニル耐火二層管	便所配管 FDPD(VP) 75A	17.0	m			
	通気・硬質ポリ塩化ビニル耐火二層管	便所配管 FDPD(VP) 65A	4.0	m			
	通気・硬質ポリ塩化ビニル耐火二層管	便所配管 FDPD(VP) 50A	16.0	m			
	雨水・硬質ポリ塩化ビニル管	便所配管 VP 100A	1.0	m			
	雨水・硬質ポリ塩化ビニル耐火二層管	便所配管 FDPD(VP) 100A	13.0	m			
	床上掃除口	CIR 65	18.0	個			
	満水継手	100A	4.0	個			

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	研り工事		1.0	式			
	スリーブ工事		1.0	式			
	配管接続費		1.0	式			
	あと施工アンカー		1.0	式			
	土工事		1.0	式			
	撤去工事		1.0	式			
	小計						
	改め計						

	名 称	内 容	数 量	单 位	单 価	金 額	備 考
5	消火設備						
	消火・配管用炭素鋼鋼管(白)	屋内一般 SGP(白) 65A	3.0	m			
	消火・配管用炭素鋼鋼管(白)	屋内一般 SGP(白) 50A	10.0	m			
	消火・配管用炭素鋼鋼管(白)	屋内一般 SGP(白) 40A	2.0	m			
	HB-1A 屋内消火栓	易操作性1号 埋込式	3.0	組			
	研り工事		1.0	式			
	配管接続費		1.0	式			
	撤去工事		1.0	式			
	仮設消火器		1.0	式			
	小計						
	改め計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
6	発生材 積込・運搬						
	積込・運搬	混合廃棄物	1.69	m3			
	積込・運搬	金属くず	0.19	ton			
	積込・運搬	廃プラスチック	0.96	m3			
	積込・運搬	ガラスくず	0.41	m3			
	積込・運搬	陶磁器くず	3.48	m3			
	アスベスト除去費	保温材 積込・運搬共	1.0	式			
	小計						
	改め計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
(3)	南舎-通級	一般トイレ(改修F)					
1	換気設備		1.0	式			
2	衛生器具設備		1.0	式			
3	給水設備		1.0	式			
4	排水通気設備		1.0	式			
5	発生材 積込・運搬		1.0	式			
	小計						
	改め計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
1	換気設備						
	FR-1 壁換気扇	250φ×600m <sup>3</sup> /h ステンレス製ウェザーカバー	2.0	台			
	撤去工事		1.0	式			
	小計						
	改め計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
2	衛生器具設備						
	腰掛便器	C-1	2.0	組			
	小便器	U-1	1.0	組			
	洗面カウンター	ML-1	2.0	組			
	汚物流し	SK-2	2.0	組			
	L型手すり	TR-1	2.0	組			
	小便器用手すり	TR-3	1.0	組			
	化粧鏡	M-1	2.0	枚			
	撤去工事		1.0	式			
	小計						
	改め計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
3	給水設備						
	給水・硬質塩化ビニルライニング鋼管	便所配管 VB 40A	8.0	m			
	給水・硬質塩化ビニルライニング鋼管	便所配管 VB 25A	1.0	m			
	給水・硬質塩化ビニルライニング鋼管	便所配管 VB 20A	3.0	m			
	給水・耐衝撃性硬質ポリ塩化ビニル管	便所配管 HIVP 40A	2.0	m			
	給水・耐衝撃性硬質ポリ塩化ビニル管	便所配管 HIVP 30A	2.0	m			
	給水・耐衝撃性硬質ポリ塩化ビニル管	便所配管 HIVP 25A	3.0	m			
	給水・耐衝撃性硬質ポリ塩化ビニル管	便所配管 HIVP 20A	8.0	m			
	弁類	GV 40	2.0	個			
	弁類	GV 25	1.0	個			
	弁名札	樹脂製	3.0	個			
	保温工事		1.0	式			
	スリーブ工事		1.0	式			
	配管接続費		1.0	式			
	あと施工アンカー		1.0	式			
	土工事		1.0	式			
	撤去工事		1.0	式			

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	小計						
	改め計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
4	排水通気設備						
	排水・硬質ポリ塩化ビニル管	便所配管 VP 100A	11.0	m			
	排水・硬質ポリ塩化ビニル管	便所配管 VP 75A	3.0	m			
	排水・硬質ポリ塩化ビニル管	便所配管 VP 65A	3.0	m			
	排水・硬質ポリ塩化ビニル管	便所配管 VP 50A	2.0	m			
	排水・硬質ポリ塩化ビニル管	便所配管 VP 40A	4.0	m			
	排水・硬質ポリ塩化ビニル耐火二層管	便所配管 FDPD(VP) 75A	3.0	m			
	排水・硬質ポリ塩化ビニル耐火二層管	便所配管 FDPD(VP) 65A	4.0	m			
	通気・硬質ポリ塩化ビニル管	便所配管 VP 50A	11.0	m			
	床上掃除口	CIR 65	4.0	個			
	満水継手	80A	1.0	個			
	排水用通気弁	50A	1.0	個			
	スリーブ工事		1.0	式			
	配管接続費		1.0	式			
	あと施工アンカー		1.0	式			
	土工事		1.0	式			
	撤去工事		1.0	式			

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
	小計						
	改め計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
5	発生材 積込・運搬						
	積込・運搬	混合廃棄物	0.14	m3			
	積込・運搬	廃プラスチック	0.28	m3			
	積込・運搬	ガラスくず	0.04	m3			
	積込・運搬	陶磁器くず	0.68	m3			
	小計						
	改め計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
(4)	プール 北側	一般トイレ(改修I)					
1	衛生器具設備		1.0	式			
2	給水設備		1.0	式			
3	排水通気設備		1.0	式			
4	発生材 積込・運搬		1.0	式			
	小計						
	改め計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
1	衛生器具設備						
	腰掛便器	C-1	1.0	組			
	L型手すり	TR-1	2.0	組			
	暖房便座	DB-1	2.0	組			
	撤去工事		1.0	式			
	小計						
	改め計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
2	給水設備						
	給水・硬質塩化ビニルライニング鋼管	便所配管 VB 20A	1.0	m			
	保温工事		1.0	式			
	配管接続費		1.0	式			
	小計						
	改め計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
3	排水通気設備						
	排水・硬質ポリ塩化ビニル管	便所配管 VP 100A	1.0	m			
	排水・硬質ポリ塩化ビニル管	便所配管 VP 75A	1.0	m			
	配管接続費		1.0	式			
	土工事		1.0	式			
	撤去工事		1.0	式			
	小計						
	改め計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
4	発生材 積込・運搬						
	積込・運搬	混合廃棄物	0.01	m3			
	積込・運搬	廃プラスチック	0.01	m3			
	小計						
	改め計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
(5)	プール 南側	一般トイレ(改修H)					
1	衛生器具設備		1.0	式			
2	給水設備		1.0	式			
3	排水通気設備		1.0	式			
4	発生材 積込・運搬		1.0	式			
	小計						
	改め計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
1	衛生器具設備						
	腰掛便器	C-1	4.0	組			
	L型手すり	TR-1	2.0	組			
	小計						
	改め計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
2	給水設備						
	給水・硬質塩化ビニルライニング鋼管	便所配管 VB 20A	4.0	m			
	保温工事		1.0	式			
	配管接続費		1.0	式			
	小計						
	改め計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
3	排水通気設備						
	排水・硬質ポリ塩化ビニル管	便所配管 VP 75A	4.0	m			
	配管接続費		1.0	式			
	土工事		1.0	式			
	撤去工事		1.0	式			
	小計						
	改め計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
4	発生材 積込・運搬						
	積込・運搬	廃プラスチック	0.03	m3			
	小計						
	改め計						

名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
共通仮設費	積上計上					
工事用ゲート	キャスターゲート W6000xH1800	1.0	箇所			
工事用ゲート	キャスターゲート W3000xH1800	1.0	箇所			
仮囲い	成形鋼板 H2000	53.0	m			
学校用仮設トイレ		1.0	式			別紙明細-1
荷下ろしステージ		1.0	式			別紙明細-2
揚重機械費	16t オペレーター付	10.0	日			
交通誘導員		5.0	日			
学校用仮設トイレ電気設備工事		1.0	式			別紙明細-3
学校用仮設トイレ電気設備工事	撤去工事	1.0	式			別紙明細-4
小計						
改め計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
別紙-1	学校用仮設トイレ						
	仮設トイレ上屋	単管小屋	47.5	m2			
	メッシュシート張り		96.0	m2			
	仮設トイレ	水洗式 配管共	12.0	棟			
	仮設手洗い流し	SUS L1200	2.0	台			
	小計						
	改め計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
別紙-2	荷下ろしステーション						
	棚足場	H4000 昇降階段共 4ヶ月	29.2	m2			
	棚足場	H7700 昇降階段共 4ヶ月	19.4	m2			
	小計						
	改め計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
別紙-3	学校用仮設トイレ電気設備工事						
	ケーブル	EM-EEF2.0mm-3C(天井内)	13.0	m			
	ケーブル	EM-EEF2.0mm-3C(PF管内)	12.0	m			
	ケーブル	EM-EEF1.6mm-3C(露出)	22.0	m			
	ケーブル	EM-EEF1.6mm-3C(管内)	3.0	m			
	電線管	PF22mm(インペイ)	12.0	m			
	1種金属線ぴ	メタルモールA型	3.0	m			
	照明器具	B1 LED直付ベースライト 40形 W150	6.0	台			
	人感センサ	親機 8A	2.0	個			
	切替スイッチ	1回路用	2.0	個			
	スイッチボックス	メタルモール用 A型 1個用	2.0	個			
	アウトレットボックス	中型四角44mm	2.0	個			
	ブレーカー配線接続費		1.0	式			
	小計						
	改め計						

	名 称	内 容	数 量	単 位	単 価	金 額	備 考
別紙-4	学校用仮設トイレ電気設備工事	撤去工事					
	配管配線撤去工事		1.0	式			
	器具等撤去工事		1.0	式			
	発生材積込運搬費		1.0	式			
	小計						
	改め計						

# 可見市立東明小学校トイレ大規模改造工事（I期）

## 図 面 目 録

図面番号	図面名称	図面番号	図面名称	図面番号	図面名称	図面番号	図面名称
A01	改修工事特記仕様書-1	A31	改修後 2階建具配置図	E01	電気設備工事工事特記仕様書	M01	機械設備工事特記仕様書-1
A02	改修工事特記仕様書-2	A32	改修後 3階建具配置図	E02	配置図、付近見取図	M02	機械設備工事特記仕様書-2
A03	改修工事特記仕様書-3	A33	改修後 プール 建具配置図	E03	校舎1階 平面図	M03	機械設備工事特記仕様書-3
A04	改修工事特記仕様書-4	A34	改修後 建具表-1	E04	校舎2階 平面図	M04	改修後 換気設備機器表 改修後 衛生設備器具表
A05	改修工事特記仕様書-5	A35	改修後 建具表-2	E05	校舎3階 平面図	M05	改修前・後 衛生設備系統図
A06	改修工事特記仕様書-6	A36	各部詳細図-1	E06	プール付属棟A 平面図	M06	改修前 1階衛生設備図1
A07	改修工事特記仕様書-7	A37	各部詳細図-2	E07	分電盤単線結線図	M07	改修後 1階衛生設備図1
A08	特記事項・工事区分表	A38	各部詳細図-3	E08	凡例・照明器具参考姿図	M08	改修前・後 1階衛生設備図2
A09	付近見取図・配置図兼仮設計画図	A39	各部詳細図-4	E09	改修前・後 南舎1階西トイレ 電灯・コンセント設備図	M09	改修前 2階衛生設備図
A10	内部仕上表-1			E10	改修前・後 南舎2階西トイレ 電灯・コンセント設備図	M10	改修後 2階衛生設備図
A11	内部仕上表-2			E11	改修前・後 南舎3階西トイレ 電灯・コンセント設備図	M11	改修前 3階衛生設備図
A12	改修前 1階平面図・仮設計画図			E12	改修前・後 南舎1階東トイレ 電灯・コンセント設備図	M12	改修後 3階衛生設備図
A13	改修前 2階平面図・仮設計画図			E13	改修前・後 南舎2階東トイレ 電灯・コンセント設備図	M13	改修前 R階衛生設備図
A14	改修前 3階平面図・仮設計画図			E14	改修前・後 南舎3階東トイレ 電灯・コンセント設備図	M14	改修後 R階衛生設備図
A15	改修前 プール平面図・仮設計画図			E15	改修前・後 南舎1階 通級トイレ 電灯・コンセント設備図	M15	改修前・後 南舎1階西 トイレ平面詳細図
A16	改修前 平面詳細図・展開図 南舎1階 西側-男女トイレ			E16	改修前・後 プール付属棟A トイレ 電灯・コンセント設備図	M16	改修前・後 南舎2・3階西 トイレ平面詳細図
A17	改修後 平面詳細図・展開図 南舎1階 西側-男女トイレ			E17	改修前・後 プール付属棟B トイレ 電灯・コンセント設備図	M17	改修前・後 南舎1階東 トイレ平面詳細図
A18	改修前 平面詳細図・展開図 南舎2,3階 西側-男女トイレ					M18	改修前・後 南舎2階東 トイレ平面詳細図
A19	改修後 平面詳細図・展開図 南舎2,3階 西側-男女トイレ					M19	改修前・後 南舎3階東 トイレ平面詳細図
A20	改修前 平面詳細図・展開図 南舎1階 東側-男女トイレ					M20	改修前・後 南舎1階通級指導教室 トイレ平面詳細図
A21	改修後 平面詳細図・展開図 南舎1階 東側-男女トイレ					M21	改修前・後 プール付属棟A トイレ平面詳細図
A22	改修前 平面詳細図・展開図 南舎2階 東側-男女トイレ					M22	改修前・後 プール付属棟B トイレ平面詳細図
A23	改修後 平面詳細図・展開図 南舎2階 東側-男女トイレ						
A24	改修前 平面詳細図・展開図 南舎3階 東側-男女トイレ						
A25	改修後 平面詳細図・展開図 南舎3階 東側-男女トイレ						
A26	改修前 平面詳細図・展開図 南舎1階 通級男女トイレ						
A27	改修後 平面詳細図・展開図 南舎1階 通級男女トイレ						
A28	改修前・後 平面詳細図・展開図 プール 北側-男女トイレ						
A29	改修前・後 平面詳細図・展開図 プール 南側-男女トイレ						
A30	改修後 1階建具配置図						

II 建築改修工事仕様	章 項目	特記事項	章 項目	特記事項	章 項目	特記事項																																																																																																								
<p><b>工事概要</b></p> <p>工事名称 可見市立東明小学校トイレ大規模改修工事（1期）</p> <p>主要用途 小学校</p> <p>工事種別 改修</p> <p>敷地 可見市久々利1945番地</p> <p>敷地面積 29,341㎡</p> <p>都市計画法等 都市計画区域 ○ 都市計画区域内（市街化区域・市街化調整区域○その他）            ・都市計画区域外            用途地域（無指定）            防火地域 防火地域 準防火地域 ○指定なし            その他の指定 22条指定区域内 ○ 22条指定区域外・（）</p> <p>建築基準法 道路 ・国道 ・県道 ○市道 ・町道 ・村道 ・私道            幅員 m（2以上の道路に接する場合は、広方の道路幅員を記入）</p> <p>指定の建ぺい率 60.0% 指定の容積率 200.0%</p> <p><b>工事建物の概要</b></p> <table border="1"> <tr> <td>1 南舎</td> <td>: RC</td> <td>造・3階建て、延べ床面積</td> <td>2,362㎡</td> </tr> <tr> <td>2 プール付附属棟</td> <td>: RC</td> <td>造・平屋建て、延べ床面積</td> <td>32㎡</td> </tr> <tr> <td>3 プール付附属棟</td> <td>: RC</td> <td>造・平屋建て、延べ床面積</td> <td>22㎡</td> </tr> </table> <p><b>工事の範囲</b></p> <p>○建築工事（トイレ改造に伴う内装、建具等）            ○電気設備工事（トイレ改造に伴う幹線、電灯設備等）            ○機械設備工事（トイレ改修に伴う換気、衛生、給排水設備等）            ○外構工事一式</p> <p><b>特記仕様書の範囲</b></p> <p>特記仕様書は、本特記仕様書のほか以下の○印のもので構成する。            ・構造特記仕様書 ・外構工事特記仕様書 ・植栽工事特記仕様書            ○解体工事特記仕様書            ・電気設備工事特記仕様書 ・機械設備工事特記仕様書            ○可見市建設工事特記仕様書</p> <p><b>別途工事</b></p> <p>1. 共通仕様</p> <p>(1) 図面及び本特記仕様に記載されていない事項は、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の「公共建築改修工事標準仕様書（建築工事編）（令和4年版【令和5年3月改定】）」（以下「改修標準仕様書」という。）による。            なお、改修標準仕様書に記載されていない事項は、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の「公共建築工事標準仕様書（建築工事編）（令和4年版【令和5年3月改定】）」（以下「標準仕様書」という。）による。</p> <p>(2) 電気設備改修工事及び機械設備改修工事を本工事を含む場合は、電気設備改修工事及び機械設備改修工事はそれぞれの工事特記仕様書を適用する。</p> <p>(3) 受注者は建築基準法第7条の定めによる完了検査（同法第7条の3の定めによる中間検査を含む）時には、特定行政（建築主事等）が求める検査に必要な資料（報告書等）を用意すること。</p> <p>2. 本特記仕様書の表記</p> <p>(1) 項目は、番号に○印の付いたものを適用する。            (2) 特記事項は、○印の付いたものを適用する。            ○印の付かない場合は、※印の付いたものを適用する。            ○印と⊗印の付いた場合は、共に適用する。</p> <p>(3) 特記事項に記載の（ ）内表示番号は、改修標準仕様書の当該項目、当該図又は当該表を示す。            特記事項に記載の〔 〕内表示番号は、標準仕様書の当該項目、当該図又は当該表を示す。</p> <p>(4) 受注者は、南海トラフ地震防災対策強化地域における工事にあっては、南海トラフ地震に関連する情報（臨時）が気象庁から出された場合には、工事中断の措置をとるものとし、これに伴う必要な補強・落下防止等の保全処置を講じなければならない。            上記事項が発生した場合は、契約書第26条（臨時の措置）の規定による。</p> <p>(5) 標準仕様書で「特記がなければ、」以降に具体的な材料・品質性能・工法・検査方法等を明示している場合において、それらが関係法令の改正等により（条例等を含む）に抵触する場合には、関係法令等の遵守（1.1.13）の規定を優先する。</p>	1 南舎	: RC	造・3階建て、延べ床面積	2,362㎡	2 プール付附属棟	: RC	造・平屋建て、延べ床面積	32㎡	3 プール付附属棟	: RC	造・平屋建て、延べ床面積	22㎡	<p>⑧ 発生材の処理等</p> <p>※引渡しを要するもの（金属類 ※PCB含有物）(1.3.12)</p> <p>・特別管理産業廃棄物（※廃石綿）            ・現場において再利用を図るもの            ・再生資材の活用を図るもの            ・アスベスト成形板としての処理を要するもの            ※改修標準仕様書の9章 環境配慮改修工事による</p> <p>・PCB含有シーリング材の分析調査            ・第一次判定            現場にてサンプルを採取し、シーリング材種及び分析の要否の判定を行う            採取箇所数（計 箇所）            採取場所（※図示）            ・第二次判定            専門分析機関にてPCB含有量の分析を行う            分析個数（計 個）            ・除去処理工事            撤去工法 「標準施工要領書（日本シーリング工業共同組合連合会/日本シーリング工業会）」による            除去範囲（※図示）            ※再生資源利用促進計画書及び再生資源利用計画書の提出            建設リサイクル法の実施に係る岐阜県指針に基づき、工事中手時に再生資源利用計画書及び再生資源利用促進計画書を監督員に提出するものとする。            なお、計画書及び報告書は「建設副産物情報交換システム」（COBRIS）により作成したものとす。</p> <p>埋戻し及び盛土</p> <p>⑩ 砂利地業</p> <p>⑪ 環境への配慮</p> <p>⑫ 材料の品質等</p> <p>⑬ 特別な材料の工法</p> <p>⑭ 施工調査</p>	<p>※引渡しを要するもの（金属類 ※PCB含有物）(1.3.12)</p> <p>・特別管理産業廃棄物（※廃石綿）            ・現場において再利用を図るもの            ・再生資材の活用を図るもの            ・アスベスト成形板としての処理を要するもの            ※改修標準仕様書の9章 環境配慮改修工事による</p> <p>・PCB含有シーリング材の分析調査            ・第一次判定            現場にてサンプルを採取し、シーリング材種及び分析の要否の判定を行う            採取箇所数（計 箇所）            採取場所（※図示）            ・第二次判定            専門分析機関にてPCB含有量の分析を行う            分析個数（計 個）            ・除去処理工事            撤去工法 「標準施工要領書（日本シーリング工業共同組合連合会/日本シーリング工業会）」による            除去範囲（※図示）            ※再生資源利用促進計画書及び再生資源利用計画書の提出            建設リサイクル法の実施に係る岐阜県指針に基づき、工事中手時に再生資源利用計画書及び再生資源利用促進計画書を監督員に提出するものとする。            なお、計画書及び報告書は「建設副産物情報交換システム」（COBRIS）により作成したものとす。</p> <p>埋戻し及び盛土</p> <p>⑩ 砂利地業</p> <p>⑪ 環境への配慮</p> <p>⑫ 材料の品質等</p> <p>⑬ 特別な材料の工法</p> <p>⑭ 施工調査</p>	<p>⑮ 技能士</p> <table border="1"> <tr> <td>※適用する適用する技能士</td> <td>技能士検定職種</td> <td>技能検定作業</td> </tr> <tr> <td>仮設工事</td> <td>とび</td> <td>とび作業</td> </tr> <tr> <td>鉄筋工事</td> <td>鉄筋施工</td> <td>鉄筋組立作業</td> </tr> <tr> <td>コンクリート工事</td> <td>型枠施工</td> <td>型枠組立作業</td> </tr> <tr> <td></td> <td>コンクリート圧送施工</td> <td>コンクリート圧送工事作業</td> </tr> <tr> <td>石工事</td> <td>石材施工</td> <td>石張り作業</td> </tr> <tr> <td>木工事</td> <td>建築大工</td> <td>大工工事作業</td> </tr> <tr> <td>金属工事</td> <td>内装仕上施工</td> <td>鋼製下地工事作業</td> </tr> <tr> <td></td> <td>建築板金</td> <td>内外装板金作業</td> </tr> <tr> <td>防水改修工事</td> <td>防水施工</td> <td>7mm防水工事作業 ルバム系塗膜防水工事作業 7mm系塗膜防水工事作業 化成ゴム系シート防水工事作業 塩化ビニル系シート防水工事作業 セメント系防水工事作業 シート防水工事作業 改質7mm防水工事作業 FRP防水工事作業</td> </tr> <tr> <td>屋根及びびとい改修工事</td> <td>建築板金</td> <td>内外装板金作業</td> </tr> <tr> <td>外壁改修工事</td> <td>樹脂接着剤注入施工</td> <td>樹脂接着剤注入工事作業</td> </tr> <tr> <td></td> <td>左官</td> <td>左官作業</td> </tr> <tr> <td></td> <td>タイル張り</td> <td>タイル張り作業</td> </tr> <tr> <td>建具改修工事</td> <td>サッシ施工</td> <td>ビル用サッシ施工作業</td> </tr> <tr> <td></td> <td>ガラス施工</td> <td>ガラス工事作業</td> </tr> <tr> <td>内装改修工事</td> <td>自動ドア施工</td> <td>自動ドア施工作業</td> </tr> <tr> <td></td> <td>建築大工</td> <td>大工工事作業</td> </tr> <tr> <td></td> <td>内装仕上施工</td> <td>鋼製下地工事作業</td> </tr> <tr> <td></td> <td>建築板金</td> <td>内外装板金作業</td> </tr> <tr> <td></td> <td>内装仕上施工</td> <td>7mm系床仕上げ工事作業 カーペット系床仕上げ工事作業 ボード仕上げ工事作業</td> </tr> <tr> <td></td> <td>表装</td> <td>壁装作業</td> </tr> <tr> <td></td> <td>左官</td> <td>左官作業</td> </tr> <tr> <td></td> <td>タイル張り</td> <td>タイル張り作業</td> </tr> <tr> <td>塗装改修工事</td> <td>塗装</td> <td>建築塗装作業</td> </tr> <tr> <td>耐震改修工事</td> <td>型枠施工</td> <td>型枠工事作業</td> </tr> <tr> <td></td> <td>鉄筋施工</td> <td>鉄筋組立作業</td> </tr> <tr> <td></td> <td>コンクリート圧送施工</td> <td>コンクリート圧送工事作業</td> </tr> <tr> <td>排水工事</td> <td>配管</td> <td>建築配管作業</td> </tr> <tr> <td>舗装工事</td> <td>路面標示施工</td> <td>溶融ペイントマーク工事作業</td> </tr> <tr> <td>植栽工事</td> <td>造園</td> <td>造園工事作業</td> </tr> </table> <p>16 技能資格者</p> <p>・溶接技能者（（一社）日本溶接協会が検定した技能資格を有する者）            ・圧接技量資格者（JIS Z 3881（ガス圧接技術検定における試験方法及び判定基準）による技量を有する者）</p> <p>⑰ 施工の検査等</p> <p>○監督員の指示による</p> <p>⑱ 施工の立会い</p> <p>○監督員の指示による</p> <p>19 化学物質の濃度測定</p> <p>1) 着工前及び着工後に室内空気中のホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼン、スチレンの濃度を測定し、測定結果を監督職員に報告する。            2) 測定対象室及び測定箇所数は次による。            測定対象室（ ） 測定箇所数（ ）</p> <p>測定方法 ※パッシブ採取による蒸気拡散式分析法 ・厚生労働省の標準法            測定物質 ホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、スチレン、エチルベンゼン 学校のみパラジクロロベンゼンを追加</p> <p>換気 測定対象室のすべての窓及び扉（造り付け家具、押入れ等を含む。）を開放し30分換気する。            閉鎖 測定対象室のすべての窓及び扉を5時間閉鎖する。ただし、造り付け家具、押入れ等の扉は、開放したままとする。            測定 測定は、「閉鎖」の状態のまま行う。            測定時間は、原則として24時間とする。但し24時間測定が行えない場合は、8時間測定（10時30分～18時30分）とする。            測定位置は、室中央付近の床から1.2m～1.5mの高さとする。</p> <p>⑳ 完成時の提出書類</p> <p>○完成図（施工図、施工計画書を除く）            ※新規に作成 ・既存完成図を修正            記載内容は監督職員と協議する。            可見市建設工事における取扱書類一覧により整理し提出する。            ※提出完成図（A2版二つ折り製本2部、A3版二つ折り製本2部）</p> <p>○保全に関する資料            提出 ※1部            ○施工図（監督員の指示による）            提出 ※A2版二つ折り製本2部、A3版二つ折り製本2部</p> <p>○施工計画書（監督員の指示による）            提出 ※1部</p> <p>本工事に係る施工図及び施工計画書の著作権者の権利は、当該建物における使用に限り、発注者に移譲するものとする。            製作図等て原因として提出が出来ないものは、原因に代わるものとしてよい。            設備機器の位置、取り付け等が検討できる施工図を提出し、監督職員の承諾を受ける。</p> <p>㉑ 電子納品</p> <p>完成図面電子データJWW形式又はDXF形式及びPDF形式又はTIFF形式(解像度300DPI程度)</p>	※適用する適用する技能士	技能士検定職種	技能検定作業	仮設工事	とび	とび作業	鉄筋工事	鉄筋施工	鉄筋組立作業	コンクリート工事	型枠施工	型枠組立作業		コンクリート圧送施工	コンクリート圧送工事作業	石工事	石材施工	石張り作業	木工事	建築大工	大工工事作業	金属工事	内装仕上施工	鋼製下地工事作業		建築板金	内外装板金作業	防水改修工事	防水施工	7mm防水工事作業 ルバム系塗膜防水工事作業 7mm系塗膜防水工事作業 化成ゴム系シート防水工事作業 塩化ビニル系シート防水工事作業 セメント系防水工事作業 シート防水工事作業 改質7mm防水工事作業 FRP防水工事作業	屋根及びびとい改修工事	建築板金	内外装板金作業	外壁改修工事	樹脂接着剤注入施工	樹脂接着剤注入工事作業		左官	左官作業		タイル張り	タイル張り作業	建具改修工事	サッシ施工	ビル用サッシ施工作業		ガラス施工	ガラス工事作業	内装改修工事	自動ドア施工	自動ドア施工作業		建築大工	大工工事作業		内装仕上施工	鋼製下地工事作業		建築板金	内外装板金作業		内装仕上施工	7mm系床仕上げ工事作業 カーペット系床仕上げ工事作業 ボード仕上げ工事作業		表装	壁装作業		左官	左官作業		タイル張り	タイル張り作業	塗装改修工事	塗装	建築塗装作業	耐震改修工事	型枠施工	型枠工事作業		鉄筋施工	鉄筋組立作業		コンクリート圧送施工	コンクリート圧送工事作業	排水工事	配管	建築配管作業	舗装工事	路面標示施工	溶融ペイントマーク工事作業	植栽工事	造園	造園工事作業	<p>⑳ 工事写真</p> <p>23 設計G/L</p> <p>※設計G/L=BM+ mm（現状地盤高は図示）</p> <p>㉑ 建設機械</p> <p>㉒ 設備工事との取り合い</p> <p>㉓ 事故報告</p> <p>㉔ 養生その他</p> <p>㉕ 完成写真</p> <p>撮影箇所数 ※（ ）箇所 ・航空写真（ ）箇所 ○監督員の指示による本完成写真の著作権者の権利は、発注者に委譲するものとする。</p> <p>提出内容</p> <p>※電子データ 1部            画素：長辺で2880PIX以上            記録方式：RGB（フルカラー）、JPEG最高画質            記録媒体：CD-R（ISO）            ・カラープリント キヤビン版（ ）部            アルバム（黒紙紙金文字300mm×300mm程度）※無し ・有り            ・四つ切（ ）枚 ※アルミ額縁 ・印刷用紙：A4縦            ・半切（ ）枚 ※アルミ額縁 ・撮影内容：監督員の指示による            ・全紙（ ）枚 ※アルミ額縁 ・提出部数：監督員の指示による</p> <p>㉖ 建設発生土の処理</p> <p>「建設発生土情報交換システム」（一財）日本建設情報総合センター（JACIC）を活用し近隣の受入先を調査の上、搬出距離、受入条件等が確認できる資料を監督職員に提出し、協議により搬出先を決定する。搬出後、監督職員へ搬出先の受入を確認できる資料を提出する。            可見市建設発生土処理基準に基づき適正に処分すること。            ・場外指定場所に搬出する。            ※搬出後、監督職員へ搬出先の受入を確認できる資料を提出する。            ・場内指定場所に敷き均し（ ）            ・場内指定場所に堆積（ ）            ・岐阜県建設発生土管理基準により土壌検査を行う。</p> <p>㉗ 書類の書式等</p> <p>本工事の施工に関して提出する書類は、発注者が受注者に提示する「営繕工事の請負に係る書類」様式に基づき作成する。</p> <p>㉘ 概成工期</p> <p>総合搬運を行う上で、関連工事を含まれた各工事が工期のおおむね10日前までに支障のない状況まで完了していること。</p> <p>㉙ 下請施工業務</p> <p>本工事において、下請契約を締結する場合には、当該契約の相手方を岐阜県内に本店（建設業法（昭和24年法律第100号）に規定する主たる営業所を含む。）を有する者の中から選定するよう努めること。</p> <p>㉚ 産業廃棄物の適正処理</p> <p>産業廃棄物が搬出される工事にあたっては、監督員の指示に従い、産業廃棄物の関連書類の提出及び確認並びに処理施設の現地確認並びに建設廃棄物処理状況の管理を行い、産業廃棄物の最終処分に至るまで適正に処理されていることを確認すること。</p> <p>㉛ 下請け業者等</p> <p>下請け業者の選定に当たっては岐阜県入札参加資格停止の処置がなされていないこと。</p>	<p>国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の「営繕工事写真撮影要領（平成28年版）」による工事写真撮影ガイドブック（平成30年版）及び国土交通省大臣官房官庁営繕部「デジタル工事写真の小黒板情報電子化について」による他、監督員の指示により撮影し提出する。</p> <p>※設計G/L=BM+ mm（現状地盤高は図示）</p> <p>1) 本工事においては「低騒音型・低振動型建設機械の指定に関する規程」（平成9年7月31日建設省告示第1536号、最終改正平成13年4月9日国土交通省告示第487号）に基づき指定された建設機械を使用する。ただし、これにより難い場合は、監督職員と協議の上、必要書類を提出するものとする。            2) 本工事においては「第3次排出ガス対策型建設機械指定要領（平成18年3月17日国総策第215号、最終改定平成23年7月13日国総環1号）」に基づき指定された建設機械を使用する。排出ガス対策型建設機械を使用できない場合は、平成7年建設技術評価制公募課題「建設機械の排出ガス浄化装置の開発」、又はあるいはこれと同等の開発目標で実施された建設技術審査証明事業により評価された排出ガス浄化装置を装着することで、排出ガス対策機械と同等とみなす。ただし、これにより難い場合は、監督職員と協議するものとする。            排出ガス対策型建設機械、又は排出ガス浄化装置を装着した建設機械を使用する場合、現場代理人は、施工現場において使用する建設機械の写真撮影を行い、監督員に提出するものとする。</p> <p>本工事の施工範囲            ※図示した鉄筋コンクリート部の貫通孔、開口部の補強            ※図示した壁・天井の仕上材・下地材の切込み及び補強            ※自動閉鎖装置取付け箇所切込み及び補強            ※駆動装置が電動による建具等の2次側の配管・配線及び操作スイッチ</p> <p>施工図            ※設備機器の位置、取合いなどの検討できる施工図を提出し、監督職員の承諾を受ける。</p> <p>工事施工中に事故が発生した場合には、直ちに監督職員に通知するとともに、事故発生報告書を監督職員に速やかに提出すること。</p> <p>工事施工に際し、在来部分を汚損した場合又は損傷した場合は、構造・仕上げ等、在来にならない補修をする。            ※粉じん対策 粉じんが発生する場合には、集塵機を設置すること。            工事車両の洗車及び道路の清掃をすること。            搬出時等は、周辺道路への土砂等飛散防止に努めること。            工事車両の出入口及び出隅部分に透明板付の仮囲いや赤色灯を設置すること。            ・騒音対策 隣地境界地点において騒音振動測定器を設置し、測定管理すること。            ・夜間照明 仮囲い上部に仮設夜間照明を設置すること。</p> <p>「建設発生土情報交換システム」（一財）日本建設情報総合センター（JACIC）を活用し近隣の受入先を調査の上、搬出距離、受入条件等が確認できる資料を監督職員に提出し、協議により搬出先を決定する。搬出後、監督職員へ搬出先の受入を確認できる資料を提出する。            可見市建設発生土処理基準に基づき適正に処分すること。            ・場外指定場所に搬出する。            ※搬出後、監督職員へ搬出先の受入を確認できる資料を提出する。            ・場内指定場所に敷き均し（ ）            ・場内指定場所に堆積（ ）            ・岐阜県建設発生土管理基準により土壌検査を行う。</p> <p>本工事の施工に関して提出する書類は、発注者が受注者に提示する「営繕工事の請負に係る書類」様式に基づき作成する。</p> <p>総合搬運を行う上で、関連工事を含まれた各工事が工期のおおむね10日前までに支障のない状況まで完了していること。</p> <p>本工事において、下請契約を締結する場合には、当該契約の相手方を岐阜県内に本店（建設業法（昭和24年法律第100号）に規定する主たる営業所を含む。）を有する者の中から選定するよう努めること。</p> <p>産業廃棄物が搬出される工事にあたっては、監督員の指示に従い、産業廃棄物の関連書類の提出及び確認並びに処理施設の現地確認並びに建設廃棄物処理状況の管理を行い、産業廃棄物の最終処分に至るまで適正に処理されていることを確認すること。</p> <p>下請け業者の選定に当たっては岐阜県入札参加資格停止の処置がなされていないこと。</p>
1 南舎	: RC	造・3階建て、延べ床面積	2,362㎡																																																																																																											
2 プール付附属棟	: RC	造・平屋建て、延べ床面積	32㎡																																																																																																											
3 プール付附属棟	: RC	造・平屋建て、延べ床面積	22㎡																																																																																																											
※適用する適用する技能士	技能士検定職種	技能検定作業																																																																																																												
仮設工事	とび	とび作業																																																																																																												
鉄筋工事	鉄筋施工	鉄筋組立作業																																																																																																												
コンクリート工事	型枠施工	型枠組立作業																																																																																																												
	コンクリート圧送施工	コンクリート圧送工事作業																																																																																																												
石工事	石材施工	石張り作業																																																																																																												
木工事	建築大工	大工工事作業																																																																																																												
金属工事	内装仕上施工	鋼製下地工事作業																																																																																																												
	建築板金	内外装板金作業																																																																																																												
防水改修工事	防水施工	7mm防水工事作業 ルバム系塗膜防水工事作業 7mm系塗膜防水工事作業 化成ゴム系シート防水工事作業 塩化ビニル系シート防水工事作業 セメント系防水工事作業 シート防水工事作業 改質7mm防水工事作業 FRP防水工事作業																																																																																																												
屋根及びびとい改修工事	建築板金	内外装板金作業																																																																																																												
外壁改修工事	樹脂接着剤注入施工	樹脂接着剤注入工事作業																																																																																																												
	左官	左官作業																																																																																																												
	タイル張り	タイル張り作業																																																																																																												
建具改修工事	サッシ施工	ビル用サッシ施工作業																																																																																																												
	ガラス施工	ガラス工事作業																																																																																																												
内装改修工事	自動ドア施工	自動ドア施工作業																																																																																																												
	建築大工	大工工事作業																																																																																																												
	内装仕上施工	鋼製下地工事作業																																																																																																												
	建築板金	内外装板金作業																																																																																																												
	内装仕上施工	7mm系床仕上げ工事作業 カーペット系床仕上げ工事作業 ボード仕上げ工事作業																																																																																																												
	表装	壁装作業																																																																																																												
	左官	左官作業																																																																																																												
	タイル張り	タイル張り作業																																																																																																												
塗装改修工事	塗装	建築塗装作業																																																																																																												
耐震改修工事	型枠施工	型枠工事作業																																																																																																												
	鉄筋施工	鉄筋組立作業																																																																																																												
	コンクリート圧送施工	コンクリート圧送工事作業																																																																																																												
排水工事	配管	建築配管作業																																																																																																												
舗装工事	路面標示施工	溶融ペイントマーク工事作業																																																																																																												
植栽工事	造園	造園工事作業																																																																																																												
	<p>① 適用基準等</p> <p>・建築工事標準詳細図（令和4年版）国土交通省大臣官房官庁営繕部整備課 各図面において、（○—○—○）内の数字は適用する上記詳細番号を示す。            工事写真撮影ガイドブック（平成30年度版）建築工事編及び解体工事編            国土交通省大臣官房官庁営繕部            ・建築物解体工事共通仕様書（令和4年版）国土交通省大臣官房官庁営繕部整備課            ・建築基準法に基づき定める風圧力及び積雪荷重の算定には次の条件を用いる。</p> <p>○風圧力            風速（V<sub>0</sub> = 32 m/s）            地面相度区分（Ⅲ）            ○積雪荷重            平成12年5月31日建設省告示第1455号における区域別表（24）</p> <p>③ 工事実績情報サービス（CORINS）への登録</p> <p>工事請負金額が500万円以上（消費税込み）の工事について、（1.1.4）工事実績情報を登録するものとする。            （登録先：（一財）日本建設情報総合センター）            なお、登録内容を訂正する必要がある場合は、標準仕様書に記載された登録の手順に準じて訂正するものとする。            また、変更契約日と工事完了日の間が、10日に満たない場合は、変更契約時の登録を省略することができるものとする。（1.2.2）</p> <p>④ 施工計画書</p> <p>工事の着手に先立ち、工事の総合的な計画をまとめた施工計画書（総合施工計画書）を作成し、監督員に提出する。            次の工種に該当する工事の施工計画書を当該工事の施工に先立ち作成し、監督員に提出する。            ○仮設工事 ○防水改修工事 ・外壁改修工事            ○建具改修工事 ○内装改修工事 ○塗装改修工事            ・耐震改修工事 ○環境配慮改修工事 ○解体工事</p> <p>5 電気保安技術者</p> <p>・適用する (1.3.3)</p> <p>6 工사용電力設備保安責任者</p> <p>・適用する (1.3.4)</p> <p>⑦ 施工条件</p> <p>○適用する (1.3.5)            ○施工時間（※協議による ・指定なし ・指定あり）            ○施工順序（・指定なし ○図示 ・）            ○工事用車両の駐車場（・指定なし ・図示 ○敷地内）            ○資機材置場（・指定なし ・図示 ○敷地内）            ○現場事務所（・指定なし ・図示 ○敷地内）            ○建設発生土仮置場（・指定なし ・図示 ○敷地内）</p>	<p>⑬ 特別な材料の工法</p> <p>改修標準仕様書、標準仕様書に記載されていない特別な材料の工法は、当該製品の指定工法による。</p> <p>⑭ 施工調査</p> <p>※施工計画調査 (1.5.1～3)            本工事該当部位及び関連部位について既存施設（埋設配管等を含む）について、施工計画作成のための事前調査、情報収集を行う。            報告書 監督員に2部提出            立面図、平面図等に記載、必要に応じ写真を添付            調査業者 外壁及び防水改修施工数量調査は、使用予定材料メーカーの指定する施工業者とする。</p> <p>・埋設配管の試掘            範囲、復旧方法 ※図示 ・</p> <p>・施工数量調査（外壁改修） (1.5.2、3)            調査範囲 ※外壁改修範囲 ・図示            調査内容            ひび割れの幅及び長さ等を調査する。また、ひび割れ部の挙動の有無、漏水の有無及び錆汁の流出の有無を調査する。            モルタル塗り仕上げ及びタイル張り仕上げについては、浮き部分、欠損部の形状寸法等を調査する。            コンクリート表面のはがれ及びはく落部を調査する。            塗り仕上げについては、コンクリートまたはモルタル表面のはがれ及びはく落部を調査する。また、既存塗膜と新規上塗材との適合性を確認する。            既存部分の破壊を行った場合の補修方法 ・図示 ・            ・既存塗膜の付着力試験            試験箇所及び箇所数については、監督員と協議の上決定する</p>	<p>⑰ 技能士</p> <table border="1"> <tr> <td>※適用する適用する技能士</td> <td>技能士検定職種</td> <td>技能検定作業</td> </tr> <tr> <td>仮設工事</td> <td>とび</td> <td>とび作業</td> </tr> <tr> <td>鉄筋工事</td> <td>鉄筋施工</td> <td>鉄筋組立作業</td> </tr> <tr> <td>コンクリート工事</td> <td>型枠施工</td> <td>型枠組立作業</td> </tr> <tr> <td></td> <td>コンクリート圧送施工</td> <td>コンクリート圧送工事作業</td> </tr> <tr> <td>石工事</td> <td>石材施工</td> <td>石張り作業</td> </tr> <tr> <td>木工事</td> <td>建築大工</td> <td>大工工事作業</td> </tr> <tr> <td>金属工事</td> <td>内装仕上施工</td> <td>鋼製下地工事作業</td> </tr> <tr> <td></td> <td>建築板金</td> <td>内外装板金作業</td> </tr> <tr> <td>防水改修工事</td> <td>防水施工</td> <td>7mm防水工事作業 ルバム系塗膜防水工事作業 7mm系塗膜防水工事作業 化成ゴム系シート防水工事作業 塩化ビニル系シート防水工事作業 セメント系防水工事作業 シート防水工事作業 改質7mm防水工事作業 FRP防水工事作業</td> </tr> <tr> <td>屋根及びびとい改修工事</td> <td>建築板金</td> <td>内外装板金作業</td> </tr> <tr> <td>外壁改修工事</td> <td>樹脂接着剤注入施工</td> <td>樹脂接着剤注入工事作業</td> </tr> <tr> <td></td> <td>左官</td> <td>左官作業</td> </tr> <tr> <td></td> <td>タイル張り</td> <td>タイル張り作業</td> </tr> <tr> <td>建具改修工事</td> <td>サッシ施工</td> <td>ビル用サッシ施工作業</td> </tr> <tr> <td></td> <td>ガラス施工</td> <td>ガラス工事作業</td> </tr> <tr> <td>内装改修工事</td> <td>自動ドア施工</td> <td>自動ドア施工作業</td> </tr> <tr> <td></td> <td>建築大工</td> <td>大工工事作業</td> </tr> <tr> <td></td> <td>内装仕上施工</td> <td>鋼製下地工事作業</td> </tr> <tr> <td></td> <td>建築板金</td> <td>内外装板金作業</td> </tr> <tr> <td></td> <td>内装仕上施工</td> <td>7mm系床仕上げ工事作業 カーペット系床仕上げ工事作業 ボード仕上げ工事作業</td> </tr> <tr> <td></td> <td>表装</td> <td>壁装作業</td> </tr> <tr> <td></td> <td>左官</td> <td>左官作業</td> </tr> <tr> <td></td> <td>タイル張り</td> <td>タイル張り作業</td> </tr> <tr> <td>塗装改修工事</td> <td>塗装</td> <td>建築塗装作業</td> </tr> <tr> <td>耐震改修工事</td> <td>型枠施工</td> <td>型枠工事作業</td> </tr> <tr> <td></td> <td>鉄筋施工</td> <td>鉄筋組立作業</td> </tr> <tr> <td></td> <td>コンクリート圧送施工</td> <td>コンクリート圧送工事作業</td> </tr> <tr> <td>排水工事</td> <td>配管</td> <td>建築配管作業</td> </tr> <tr> <td>舗装工事</td> <td>路面標示施工</td> <td>溶融ペイントマーク工事作業</td> </tr> <tr> <td>植栽工事</td> <td>造園</td> <td>造園工事作業</td> </tr> </table> <p>16 技能資格者</p> <p>・溶接技能者（（一社）日本溶接協会が検定した技能資格を有する者）            ・圧接技量資格者（JIS Z 3881（ガス圧接技術検定における試験方法及び判定基準）による技量を有する者）</p> <p>⑰ 施工の検査等</p> <p>○監督員の指示による</p> <p>⑱ 施工の立会い</p> <p>○監督員の指示による</p> <p>19 化学物質の濃度測定</p> <p>1) 着工前及び着工後に室内空気中のホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼン、スチレンの濃度を測定し、測定結果を監督職員に報告する。            2) 測定対象室及び測定箇所数は次による。            測定対象室（ ） 測定箇所数（ ）</p> <p>測定方法 ※パッシブ採取による蒸気拡散式分析法 ・厚生労働省の標準法            測定物質 ホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、スチレン、エチルベンゼン 学校のみパラジクロロベンゼンを追加</p> <p>換気 測定対象室のすべての窓及び扉（造り付け家具、押入れ等を含む。）を開放し30分換気する。            閉鎖 測定対象室のすべての窓及び扉を5時間閉鎖する。ただし、造り付け家具、押入れ等の扉は、開放したままとする。            測定 測定は、「閉鎖」の状態のまま行う。            測定時間は、原則として24時間とする。但し24時間測定が行えない場合は、8時間測定（10時30分～18時30分）とする。            測定位置は、室中央付近の床から1.2m～1.5mの高さとする。</p> <p>⑳ 完成時の提出書類</p> <p>○完成図（施工図、施工計画書を除く）            ※新規に作成 ・既存完成図を修正            記載内容は監督職員と協議する。            可見市建設工事における取扱書類一覧により整理し提出する。            ※提出完成図（A2版二つ折り製本2部、A3版二つ折り製本2部）</p> <p>○保全に関する資料            提出 ※1部            ○施工図（監督員の指示による）            提出 ※A2版二つ折り製本2部、A3版二つ折り製本2部</p> <p>○施工計画書（監督員の指示による）            提出 ※1部</p> <p>本工事に係る施工図及び施工計画書の著作権者の権利は、当該建物における使用に限り、発注者に移譲するものとする。            製作図等て原因として提出が出来ないものは、原因に代わるものとしてよい。            設備機器の位置、取り付け等が検討できる施工図を提出し、監督職員の承諾を受ける。</p> <p>㉑ 電子納品</p> <p>完成図面電子データJWW形式又はDXF形式及びPDF形式又はTIFF形式(解像度300DPI程度)</p>	※適用する適用する技能士	技能士検定職種	技能検定作業	仮設工事	とび	とび作業	鉄筋工事	鉄筋施工	鉄筋組立作業	コンクリート工事	型枠施工	型枠組立作業		コンクリート圧送施工	コンクリート圧送工事作業	石工事	石材施工	石張り作業	木工事	建築大工	大工工事作業	金属工事	内装仕上施工	鋼製下地工事作業		建築板金	内外装板金作業	防水改修工事	防水施工	7mm防水工事作業 ルバム系塗膜防水工事作業 7mm系塗膜防水工事作業 化成ゴム系シート防水工事作業 塩化ビニル系シート防水工事作業 セメント系防水工事作業 シート防水工事作業 改質7mm防水工事作業 FRP防水工事作業	屋根及びびとい改修工事	建築板金	内外装板金作業	外壁改修工事	樹脂接着剤注入施工	樹脂接着剤注入工事作業		左官	左官作業		タイル張り	タイル張り作業	建具改修工事	サッシ施工	ビル用サッシ施工作業		ガラス施工	ガラス工事作業	内装改修工事	自動ドア施工	自動ドア施工作業		建築大工	大工工事作業		内装仕上施工	鋼製下地工事作業		建築板金	内外装板金作業		内装仕上施工	7mm系床仕上げ工事作業 カーペット系床仕上げ工事作業 ボード仕上げ工事作業		表装	壁装作業		左官	左官作業		タイル張り	タイル張り作業	塗装改修工事	塗装	建築塗装作業	耐震改修工事	型枠施工	型枠工事作業		鉄筋施工	鉄筋組立作業		コンクリート圧送施工	コンクリート圧送工事作業	排水工事	配管	建築配管作業	舗装工事	路面標示施工	溶融ペイントマーク工事作業	植栽工事	造園	造園工事作業	<p>⑳ 工事写真</p> <p>23 設計G/L</p> <p>※設計G/L=BM+ mm（現状地盤高は図示）</p> <p>㉑ 建設機械</p> <p>㉒ 設備工事との取り合い</p> <p>㉓ 事故報告</p> <p>㉔ 養生その他</p> <p>㉕ 完成写真</p> <p>撮影箇所数 ※（ ）箇所 ・航空写真（ ）箇所 ○監督員の指示による本完成写真の著作権者の権利は、発注者に委譲するものとする。</p> <p>提出内容</p> <p>※電子データ 1部            画素：長辺で2880PIX以上            記録方式：RGB（フルカラー）、JPEG最高画質            記録媒体：CD-R（ISO）            ・カラープリント キヤビン版（ ）部            アルバム（黒紙紙金文字300mm×300mm程度）※無し ・有り            ・四つ切（ ）枚 ※アルミ額縁 ・印刷用紙：A4縦            ・半切（ ）枚 ※アルミ額縁 ・撮影内容：監督員の指示による            ・全紙（ ）枚 ※アルミ額縁 ・提出部数：監督員の指示による</p> <p>㉖ 建設発生土の処理</p> <p>「建設発生土情報交換システム」（一財）日本建設情報総合センター（JACIC）を活用し近隣の受入先を調査の上、搬出距離、受入条件等が確認できる資料を監督職員に提出し、協議により搬出先を決定する。搬出後、監督職員へ搬出先の受入を確認できる資料を提出する。            可見市建設発生土処理基準に基づき適正に処分すること。            ・場外指定場所に搬出する。            ※搬出後、監督職員へ搬出先の受入を確認できる資料を提出する。            ・場内指定場所に敷き均し（ ）            ・場内指定場所に堆積（ ）            ・岐阜県建設発生土管理基準により土壌検査を行う。</p> <p>㉗ 書類の書式等</p> <p>本工事の施工に関して提出する書類は、発注者が受注者に提示する「営繕工事の請負に係る書類」様式に基づき作成する。</p> <p>㉘ 概成工期</p> <p>総合搬運を行う上で、関連工事を含まれた各工事が工期のおおむね10日前までに支障のない状況まで完了していること。</p> <p>㉙ 下請施工業務</p> <p>本工事において、下請契約を締結する場合には、当該契約の相手方を岐阜県内に本店（建設業法（昭和24年法律第100号）に規定する主たる営業所を含む。）を有する者の中から選定するよう努めること。</p> <p>㉚ 産業廃棄物の適正処理</p> <p>産業廃棄物が搬出される工事にあたっては、監督員の指示に従い、産業廃棄物の関連書類の提出及び確認並びに処理施設の現地確認並びに建設廃棄物処理状況の管理を行い、産業廃棄物の最終処分に至るまで適正に処理されていることを確認すること。</p> <p>㉛ 下請け業者等</p> <p>下請け業者の選定に当たっては岐阜県入札参加資格停止の処置がなされていないこと。</p>	<p>国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の「営繕工事写真撮影要領（平成28年版）」による工事写真撮影ガイドブック（平成30年版）及び国土交通省大臣官房官庁営繕部「デジタル工事写真の小黒板情報電子化について」による他、監督員の指示により撮影し提出する。</p> <p>※設計G/L=BM+ mm（現状地盤高は図示）</p> <p>1) 本工事においては「低騒音型・低振動型建設機械の指定に関する規程」（平成9年7月31日建設省告示第1536号、最終改正平成13年4月9日国土交通省告示第487号）に基づき指定された建設機械を使用する。ただし、これにより難い場合は、監督職員と協議の上、必要書類を提出するものとする。            2) 本工事においては「第3次排出ガス対策型建設機械指定要領（平成18年3月17日国総策第215号、最終改定平成23年7月13日国総環1号）」に基づき指定された建設機械を使用する。排出ガス対策型建設機械を使用できない場合は、平成7年建設技術評価制公募課題「建設機械の排出ガス浄化装置の開発」、又はあるいはこれと同等の開発目標で実施された建設技術審査証明事業により評価された排出ガス浄化装置を装着することで、排出ガス対策機械と同等とみなす。ただし、これにより難い場合は、監督職員と協議するものとする。            排出ガス対策型建設機械、又は排出ガス浄化装置を装着した建設機械を使用する場合、現場代理人は、施工現場において使用する建設機械の写真撮影を行い、監督員に提出するものとする。</p> <p>本工事の施工範囲            ※図示した鉄筋コンクリート部の貫通孔、開口部の補強            ※図示した壁・天井の仕上材・下地材の切込み及び補強            ※自動閉鎖装置取付け箇所切込み及び補強            ※駆動装置が電動による建具等の2次側の配管・配線及び操作スイッチ</p> <p>施工図            ※設備機器の位置、取合いなどの検討できる施工図を提出し、監督職員の承諾を受ける。</p> <p>工事施工中に事故が発生した場合には、直ちに監督職員に通知するとともに、事故発生報告書を監督職員に速やかに提出すること。</p> <p>工事施工に際し、在来部分を汚損した場合又は損傷した場合は、構造・仕上げ等、在来にならない補修をする。            ※粉じん対策 粉じんが発生する場合には、集塵機を設置すること。            工事車両の洗車及び道路の清掃をすること。            搬出時等は、周辺道路への土砂等飛散防止に努めること。            工事車両の出入口及び出隅部分に透明板付の仮囲いや赤色灯を設置すること。            ・騒音対策 隣地境界地点において騒音振動測定器を設置し、測定管理すること。            ・夜間照明 仮囲い上部に仮設夜間照明を設置すること。</p> <p>「建設発生土情報交換システム」（一財）日本建設情報総合センター（JACIC）を活用し近隣の受入先を調査の上、搬出距離、受入条件等が確認できる資料を監督職員に提出し、協議により搬出先を決定する。搬出後、監督職員へ搬出先の受入を確認できる資料を提出する。            可見市建設発生土処理基準に基づき適正に処分すること。            ・場外指定場所に搬出する。            ※搬出後、監督職員へ搬出先の受入を確認できる資料を提出する。            ・場内指定場所に敷き均し（ ）            ・場内指定場所に堆積（ ）            ・岐阜県建設発生土管理基準により土壌検査を行う。</p> <p>本工事の施工に関して提出する書類は、発注者が受注者に提示する「営繕工事の請負に係る書類」様式に基づき作成する。</p> <p>総合搬運を行う上で、関連工事を含まれた各工事が工期のおおむね10日前までに支障のない状況まで完了していること。</p> <p>本工事において、下請契約を締結する場合には、当該契約の相手方を岐阜県内に本店（建設業法（昭和24年法律第100号）に規定する主たる営業所を含む。）を有する者の中から選定するよう努めること。</p> <p>産業廃棄物が搬出される工事にあたっては、監督員の指示に従い、産業廃棄物の関連書類の提出及び確認並びに処理施設の現地確認並びに建設廃棄物処理状況の管理を行い、産業廃棄物の最終処分に至るまで適正に処理されていることを確認すること。</p> <p>下請け業者の選定に当たっては岐阜県入札参加資格停止の処置がなされていないこと。</p>												
※適用する適用する技能士	技能士検定職種	技能検定作業																																																																																																												
仮設工事	とび	とび作業																																																																																																												
鉄筋工事	鉄筋施工	鉄筋組立作業																																																																																																												
コンクリート工事	型枠施工	型枠組立作業																																																																																																												
	コンクリート圧送施工	コンクリート圧送工事作業																																																																																																												
石工事	石材施工	石張り作業																																																																																																												
木工事	建築大工	大工工事作業																																																																																																												
金属工事	内装仕上施工	鋼製下地工事作業																																																																																																												
	建築板金	内外装板金作業																																																																																																												
防水改修工事	防水施工	7mm防水工事作業 ルバム系塗膜防水工事作業 7mm系塗膜防水工事作業 化成ゴム系シート防水工事作業 塩化ビニル系シート防水工事作業 セメント系防水工事作業 シート防水工事作業 改質7mm防水工事作業 FRP防水工事作業																																																																																																												
屋根及びびとい改修工事	建築板金	内外装板金作業																																																																																																												
外壁改修工事	樹脂接着剤注入施工	樹脂接着剤注入工事作業																																																																																																												
	左官	左官作業																																																																																																												
	タイル張り	タイル張り作業																																																																																																												
建具改修工事	サッシ施工	ビル用サッシ施工作業																																																																																																												
	ガラス施工	ガラス工事作業																																																																																																												
内装改修工事	自動ドア施工	自動ドア施工作業																																																																																																												
	建築大工	大工工事作業																																																																																																												
	内装仕上施工	鋼製下地工事作業																																																																																																												
	建築板金	内外装板金作業																																																																																																												
	内装仕上施工	7mm系床仕上げ工事作業 カーペット系床仕上げ工事作業 ボード仕上げ工事作業																																																																																																												
	表装	壁装作業																																																																																																												
	左官	左官作業																																																																																																												
	タイル張り	タイル張り作業																																																																																																												
塗装改修工事	塗装	建築塗装作業																																																																																																												
耐震改修工事	型枠施工	型枠工事作業																																																																																																												
	鉄筋施工	鉄筋組立作業																																																																																																												
	コンクリート圧送施工	コンクリート圧送工事作業																																																																																																												
排水工事	配管	建築配管作業																																																																																																												
舗装工事	路面標示施工	溶融ペイントマーク工事作業																																																																																																												
植栽工事	造園	造園工事作業																																																																																																												
	<p>① 適用基準等</p> <p>・建築工事標準詳細図（令和4年版）国土交通省大臣官房官庁営繕部整備課 各図面において、（○—○—○）内の数字は適用する上記詳細番号を示す。            工事写真撮影ガイドブック（平成30年度版）建築工事編及び解体工事編            国土交通省大臣官房官庁営繕部            ・建築物解体工事共通仕様書（令和4年版）国土交通省大臣官房官庁営繕部整備課            ・建築基準法に基づき定める風圧力及び積雪荷重の算定には次の条件を用いる。</p> <p>○風圧力            風速（V<sub>0</sub> = 32 m/s）            地面相度区分（Ⅲ）            ○積雪荷重            平成12年5月31日建設省告示第1455号における区域別表（24）</p> <p>③ 工事実績情報サービス（CORINS）への登録</p> <p>工事請負金額が500万円以上（消費税込み）の工事について、（1.1.4）工事実績情報を登録するものとする。            （登録先：（一財）日本建設情報総合センター）            なお、登録内容を訂正する必要がある場合は、標準仕様書に記載された登録の手順に準じて訂正するものとする。            また、変更契約日と工事完了日の間が、10日に満たない場合は、変更契約時の登録を省略することができるものとする。（1.2.2）</p> <p>④ 施工計画書</p> <p>工事の着手に先立ち、工事の総合的な計画をまとめた施工計画書（総合施工計画書）を作成し、監督員に提出する。            次の工種に該当する工事の施工計画書を当該工事の施工に先立ち作成し、監督員に提出する。            ○仮設工事 ○防水改修工事 ・外壁改修工事            ○建具改修工事 ○内装改修工事 ○塗装改修工事            ・耐震改修工事 ○環境配慮改修工事 ○解体工事</p> <p>5 電気保安技術者</p> <p>・適用する (1.3.3)</p> <p>6 工사용電力設備保安責任者</p> <p>・適用する (1.3.4)</p> <p>⑦ 施工条件</p> <p>○適用する (1.3.5)            ○施工時間（※協議による ・指定なし ・指定あり）            ○施工順序（・指定なし ○図示 ・）            ○工事用車両の駐車場（・指定なし ・図示 ○敷地内）            ○資機材置場（・指定なし ・図示 ○敷地内）            ○現場事務所（・指定なし ・図示 ○敷地内）            ○建設発生土仮置場（・指定なし ・図示 ○敷地内）</p>	<p>⑬ 特別な材料の工法</p> <p>改修標準仕様書</p>																																																																																																												

1 共通事項

37 軽微な変更等

38 事故防止策

39 工事着手前協議

40 県産材の利用

41 用語の読み替え

42 その他

2 仮設工事

1 騒音・粉じん等対策 (2.1.3)

2 足場等 (2.2.1)(表2.2.1)

3 既存部分の養生 (2.3.1)

4 仮設間仕切 (2.3.2)(表2.3.1)

5 監督職員事務所 (2.4.1)

特記事項

現場の納まり、取り合い等の関係による協議の中で、形状寸法の軽微な変更は、監督員の指示による。なお、この場合請負金額の変更は行わない。

安全施設の使用・設置  
安全施設の使用・設置は関係法令等を順守するほか次のとおり講じなければならない。  
1) 原則、昇降用梯子で作業しないこと。ただし、やむを得ず作業する場合、本作業用、補助用の2丁掛としなければならない。  
2) 墜落制止用器具は一連の作業において縦綱の架け替え等が生じる場合、本作業用、補助用の2丁掛としなければならない。  
定期安全訓練・研修等  
受注者は、工事着手後、作業員全員の参加により月当たり、半日以上時間を割当て、次の各号から実施する内容を選択し、定期的安全に関する研修・訓練等を実施しなければならない。  
さらに、工事内容や現場状況に応じて、過去の事故事例集(下記URL参照)の活用により、工事現場で予想される事故防止対策を必ず実施すること。  
1) 安全活動のビデオ等視覚資料による安全教育  
2) 当該工事内容等の周知徹底  
3) 工事安全に関する法令、通達、指針等の周知徹底  
4) 当該工事における災害対策訓練  
5) その他、安全・訓練等として必要な事項  
https://www.pref.gifu.lg.jp/shakai-kiban/kendo/gijutsu-kanri/11656/jikojireishu.html

受注者は工事請負契約後直ちに設計図書を確認の上、受注者及び発注者側が現場状況を把握の上、設計と現場との整合性及び問題を整理した後に、工事前協議を発注者側の発議により開催するものとする。なお、立会者は発注者側が指定する。

「公共施設県産材利用推進方針(岐阜県)」に基づいて県産材利用促進に取り組む。

「日本工業規格」を「日本産業規格」に読み替える。  
「改正工業標準化法(平成16年6月9日公布 法律第95号)」、「工業標準化法の一部を改正する法律(平成16年6月9日公布 法律95号)」、「改正工業標準化法(平成16年6月)をそれぞれ「産業標準化法」に読み替える。  
適用日を令和元年7月1日とする。

ディーゼルエンジン車両の適正燃料の使用について  
1) ディーゼルエンジンを動力とする車両には、JIS規格の軽油を使用すること。  
2) ディーゼルエンジンを動力とする車両の燃料検査があった場合には協力すること。

1) 仮設間仕切り及び仮設扉の設置箇所  
2) 仮設間仕切りの種別と材質等

種別	仕上げ(厚さmm)	塗装	充填
A種	せつこうボード(9.5mm)種類( ) 支柱・木材・軽量鉄骨材	片面 ・なし	グラスウール 厚さ( )mm
B種	合板(9.0mm)材種( ) 支柱・木材・軽量鉄骨材	片面 ・なし	
C種	防火シート		

3) 仮設間仕切りに付ける仮設扉の材質等

材質	仕上げ	塗装	設置箇所
※木製	※合板張り程度	・なし ・片面	・図示

2 仮設工事

6 工事用水

7 工事電力

8 確認済の表示

9 イメージボード

10 建設現場環境改善対象工事

1 一般事項

2 既存防水の処理

3 既存下地の処理

4 アスファルト防水

防水改修工事

2 既存防水の処理 (3.2.3~6)

3 既存下地の処理 (3.2.6)

4 アスファルト防水 (3.1.4)(3.3.2~5)

工法	種別	施工箇所	断熱材	絶縁用シート	立上り部の保護
P2A	A-1 A-2 A-3	図示		※ポリエチレンフィルム 厚さ 0.15mm以上	※乾式保護材 ・コンクリート ・れんが押え
PIB	B-1 B-2 B-3				
P2A1	A1-1 A1-2 A1-3		(種類) JIS A 9521に基づく押出法ポリスチレンフォーム断熱材3種b A(スキン層付き)	※フラットヤーンクロス 70g/m2程度	
PIB1 TIB1	B1-1 B1-2 B1-3				

屋根露出防水 (3.1.4)(3.3.2~5)

工法	種別	施工箇所	断熱材	仕上塗料	高日射反射率防水の適用	備考
M4C	C-1 C-2 C-3 C-4	図示		・アスファルトルーフィング類の製造所の仕様による ・有	※無	脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用ドレン ・設ける ・設けない
M3D M3OD	D-1 D-2 D-3 D-4			・アスファルトルーフィング類の製造所の仕様による ・有	※無	脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用ドレン ・設ける ・設けない
POD1 M3D1 M4D1	D1-1 D1-2	改修標準仕様書 3.3.2(9)(種類)		・アスファルトルーフィング類の製造所の仕様による ・有	※無	脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用ドレン ・設ける ・設けない

屋根露出防水 (3.1.4)(3.3.2~5)

工法	種別	施工箇所	断熱材	仕上塗料	高日射反射率防水の適用	備考
M4C	C-1 C-2 C-3 C-4	図示		・アスファルトルーフィング類の製造所の仕様による ・有	※無	脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用ドレン ・設ける ・設けない

屋根露出防水 (3.1.4)(3.3.2~5)

断熱材の張りじまい位置 図示

断熱材の種類 (3.1.4)(3.3.2~5)

工法	種別	施工箇所	断熱材	仕上塗料	高日射反射率防水の適用	備考
P1E P2E	E-1 E-2					保護層 ・設ける ・設けない

E-1の工程3を行う部位(※貯水槽、浴槽等常時水に接する部位)  
押え金物の材質、形状及び寸法  
※アルミニウム製 L-30×15×2.0mm程度  
屋根排水溝 図示

3 防水改修工事

5 改質アスファルト防水 (3.1.4)(3.4.2~4)

防水層の種類 (表3.1.1)(表3.4.1~3)

工法	種別	施工箇所	断熱材	仕上塗料		高日射反射率防水の適用	備考
				種類	使用量		
M4AS	AS-T1 AS-T2 AS-J2	図示		・改質アスファルトシートの製造所の仕様による ・有	※無		
M3AS	AS-T3 AS-T4 AS-J1 AS-J3			・改質アスファルトシートの製造所の仕様による ・有	※無	脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用ドレン ・設ける ・設けない	
POAS	AS-T3 AS-T4 AS-J1 AS-J3			・改質アスファルトシートの製造所の仕様による ・有	※無	脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用ドレン ・設ける ・設けない	
M3ASI M4ASI POASI	ASI-T1 ASI-J1	改修標準仕様書 3.4.2(3)(9)(種類)		・改質アスファルトシートの製造所の仕様による ・有	※無	脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用ドレン ・設ける ・設けない	

屋根露出防水絶縁工法及び屋根露出防水絶縁断熱工法の脱気装置の種類、設置数量  
種類 改質アスファルトシートの製造所の指定  
設置数量 改質アスファルトシートの製造所の指定  
個  
屋根露出防水絶縁断熱工法の防湿用シート(・設置する・設置しない)  
押え金物の材質、形状及び寸法  
※アルミニウム製 L-30×15×2.0(mm)程度

S: 高日射反射率防水を示し、近赤外域における反射率が50.0%以上であること。  
日射反射率の求め方はJIS K 5602に準じる。G

6 合成高分子系ルーフィングシート防水 (3.1.4)(3.5.2~4)

防水層の種類 (表3.1.1)(表3.5.1~2)

工法	種別	施工箇所	断熱材	仕上塗料		高日射反射率防水の適用	備考
				種類	使用量		
POS S4S	S-F1 S-F2 S-M1 S-M2 S-M3	図示		・ルーフィングシートの製造所の仕様による ・有	※無	脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用ドレン ・設ける ・設けない	
SSS	S-F1 S-F2			・ルーフィングシートの製造所の仕様による ・有	※無	脱気装置 ・設ける ・設けない	
M4S	S-M1 S-M2 S-M3			・ルーフィングシートの製造所の仕様による ・有	※無	脱気装置 ・設ける ・設けない	
POS1 SSS1 S4S1 MAS1	SI-F1 SI-F2	改修標準仕様書 3.5.2(3)(a)(種類)		・ルーフィングシートの製造所の仕様による ・有	※無	脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用ドレン ・設ける ・設けない	

(厚さmm)  
・25  
・50

分 類 ※非歩行・軽歩行  
S: 高日射反射率防水を示し、近赤外域における反射率が50.0%以上であること。  
日射反射率の求め方はJIS K 5602に準じる。G

建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法を施工計画書として提出する。  
機械的固定方法に使用するピン等の長さについては、監督職員立会いのもとピンの引き抜き試験(1箇所/2.00㎡)を行い、協議の上決定する。

S-M2の場合で立上りが接着工法の場合  
立上り部のシート厚さ(※1.5mm)

S1-M1及びS1-M2の場合における防湿用フィルム  
・設置する・設置しない

屋内防水  
防水層の種類 (表3.1.1)(表3.5.1~2)

種別	施工箇所	保護層		立上り部の保護
		平場のモルタル塗り	塗り厚さ	
S-C1	図示			保護モルタル厚 ※7mm以下

床塗りの場合の床の目地  
目地割り(※2m程度 最大目地間隔3m程度)  
目地の種類(※押し目地)

絶縁用シートの材質 発泡ポリエチレンシート  
固定金具の材質及び寸法形状  
※厚さ0.4mm以上の防錆処理した鋼板、ステンレス鋼板又はそれらの片面若しくは両面に樹脂を積層加工した鋼板

脱気装置の種類及び設置数量  
種類 ※ルーフィングシートの製造所の仕様  
設置数量 ※ルーフィングシートの製造所の仕様  
個

接着工法の目地処理  
プレキャストコンクリート下地(・)  
・行う(・図示)・行わない

3 防水改修工事

7 塗膜防水 (3.1.4)(3.6.2~4)

8 シーリング (3.1.4)(3.7.2~8)

9 とい (3.8.2、3)

10 アルミニウム製笠木 (表3.9.1)(3.9.2、3)

11 長尺金属板葺 (表3.10.1)(表3.10.2、3)

入隅部の増張り  
プレキャストコンクリート部材(種別S-F1、S1-F1の場合)  
・行う(・図示)・行わない  
機械的固定工法の場合の一般部のルーフィングシートの張付け  
建築基準法に基づき定まる風圧力の(・)・1.15・1.3)倍の風圧力に対応した工法

(表3.1.1)(表3.6.1)

工法	種別	施工箇所	仕上塗料	高日射反射率防水の適用	備考
POX	X-1 X-2	図示	・製造所の仕様による ・有	※無	脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用ドレン ・設ける ・設けない
L4X	X-1 X-2		・製造所の仕様による ・有	※無	脱気装置 ・設ける ・設けない

ウレタンゴム系塗膜防水X-1(絶縁工法)の脱気装置の種類及び設置数量  
種類 ※主材料の製造所の仕様  
設置数量 ※主材料の製造所の仕様  
個  
S: 高日射反射率防水を示し、近赤外域における反射率が50.0%以上であること。  
日射反射率の求め方はJIS K 5602に準じる。G

(表3.1.1)(表3.6.2)

工法	種別	施工箇所	各工程数及び各工程の使用量	保護層
P1Y	Y-2		※主材料の製造所の仕様による	・設ける ・設けない
P2Y	Y-2		※主材料の製造所の仕様による	・設ける ・設けない

シーリング改修工法の種類 (3.1.4)(3.7.2~8)

・シーリング充填工法  
・拡幅シーリング再充填工法  
・ブリッジ工法  
○シーリング再充填工法  
ボンドブローカー張り  
エッジング材張り  
適用する  
適用しない

シーリング材の種類、施工箇所  
下表以外は、改修標準仕様書 表3.7.1Iによる。

施工箇所	シーリング材の種類(記号)
設備機器器取台	SR-1

シーリング材の目地寸法  
※改修標準仕様書3.7.3(1)(7)~(9)による  
シーリング材の接着性試験  
※簡易接着性試験  
引張接着性試験

といその他の材種 (3.8.2、3)

・配管用鋼管  
・硬質ポリ塩化ビニル管  
・ルーフレッドレン  
・ルーフレッドレンの材種その他

材種	材種	張掛け幅
ろく屋根用(・縦型・横型)		・100mm以上・50mm以上
バルコニー用		・100mm以上・50mm以上
バルコニー中継用		・100mm以上・50mm以上

とい受金物及び足金物の材質、形状及び取付け間隔  
※標準仕様書 表3.8.2により溶融亜鉛メッキを行ったもの  
多雪地域の軒とい取付け間隔  
適用する  
ロックウール保温蓋及びビーズ法ポリエチレンフォーム保温蓋のホルムアルデヒド放散量  
※規制対象外  
既存のといその他の撤去及び降雨等に対する養生方法 図示  
鋼管といの防露巻き 改修標準仕様書 表3.8.4Iによる

(表3.9.1)(3.9.2、3)

種類  
・オープン形式(・押し出250形・押し出300形・押し出350形)  
・押し出175形  
・板材折曲げ形(・オープン形式・シール形式)  
本体幅( )mm 板厚(※2.0mm  
mm)

表面処理 種類  
A-B-1種  
※B-B-1種  
B-B-2種  
着色  
ステンカラー  
・ブロンズ  
・ブラック系

既存笠木等の撤去  
・行う(範囲  
・図示)・行わない

下地補修の工法 図示  
板材折曲げ形の笠木の取付方法 図示  
笠木の固定金具の工法等  
建築基準法に基づき定まる風圧力の(・)・1.15・1.3)倍の風圧力に対応した工法  
[表3.10.2、3][表3.10.1~3]

施工箇所	板及びコイルの種類	塗膜の耐久性、めっき付着量等の種類及び記号	厚さ(mm)	屋根葺形式
	※JIS G 3322の屋根用コイル			・心木なし瓦葺葺 ・立平葺 ・蟻掛葺 ・横葺

下葺材料  
・アスファルトルーフィング 940  
・改質アスファルトルーフィング下葺材  
・一般タイプ  
・複層材タイプ  
・粘着層付タイプ

工法 建築基準法に基づき定まる(・)・1.15・1.3)倍の風圧力に対応した工法  
雪止め  
・設置する(施工箇所  
・図示)

工事名 可児市立東明小学校トイレ大規模改造工事(1期)

種別 改修工事特記仕様書-2 図面番号 A-02

縮尺 作成年月 令和6年10月

設計者 株式会社 廣建築設備設計  
氏名印 一級建築士 第311227号 野内理仁

章	項目	特記事項	章	項目	特記事項	章	項目	特記事項	章	項目	特記事項																																																
3	12 防水工	[13.2.2][13.3.2、3][表13.2.1] <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>形式</th> <th>山高、山ピッチ による区分</th> <th>耐力による区分 ( )種</th> <th>材料による区分 ※鋼板製 ・アルミニウム 合金板製</th> <th>厚さ (mm)</th> <th>軒先 面戸板</th> <th>耐火 性能</th> </tr> <tr> <td></td> <td>重ね形 ・はぜ縁め形 ・かん合形</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>有り ・無し</td> <td>30分 ・無し</td> </tr> </table> <p>材料 板及びコイルの種類 ( ) 塗膜の耐久性、めっき付着量等の種類及び記号 ( ) タイトフレームにJIS G 3302以外の鋼材を直接外気の影響を受けない屋内で使用する場合の表面処理 標準仕様書表14.2.2による E種 F種 断熱材 ・有り (種別: ) 厚さ(mm): 防火性能: (時間) 無し 工法 建築基準法に基づき定まる (・1 ・1.15 ・1.3) の風圧力に対応した工法折板のけらば納め ※けらば納めによる方法</p>	施工箇所	形式	山高、山ピッチ による区分	耐力による区分 ( )種	材料による区分 ※鋼板製 ・アルミニウム 合金板製	厚さ (mm)	軒先 面戸板	耐火 性能		重ね形 ・はぜ縁め形 ・かん合形					有り ・無し	30分 ・無し	4-2	3 浮き部改修工法 (4.1.4)(4.2.2)(4.4.4) (4.4.4、10~15) 工法の種類 <table border="1"> <tr> <th rowspan="2">工法の種類</th> <th colspan="2">アンカーピンの本数 (本/m<sup>2</sup>)</th> <th colspan="2">注入口の箇所数 (箇所/m<sup>2</sup>)</th> <th rowspan="2">注入量 (ml/箇所)</th> </tr> <tr> <th>一般部</th> <th>指定部</th> <th>一般部</th> <th>指定部</th> </tr> </table>	工法の種類	アンカーピンの本数 (本/m <sup>2</sup> )		注入口の箇所数 (箇所/m <sup>2</sup> )		注入量 (ml/箇所)	一般部	指定部	一般部	指定部	4-3	外壁改修 (タイル張り仕上げ外壁改修) ※アンカーピンニング試験方法 引張試験: 1箇所/浮き部100㎡かつ4面行うこと 引張強度: 1.2N/mm <sup>2</sup> 以上とする アンカーピンの材質 ※ステンレス鋼(SUS304)呼び径4mmの丸棒で全ネジ切り加工をしたもの 注入口付アンカーピンの材質 ※ステンレス鋼(SUS304)呼び径6mm程度 充填工法 ・エポキシ樹脂モルタル ・ポリマーセメントモルタル モルタル塗替え工法 (4.4.9)(表4.4.1、2) ・現場調合材料 ・既調合材料 仕上厚又は全塗厚が25mmを超える場合の処置 ※図示	5	⑤ ① 改修工法 (5.1.3)	<table border="1"> <tr> <th>建具の種類</th> <th>かぶせ工法</th> <th>撤去工法</th> <th>適用箇所</th> </tr> <tr> <td>○アルミニウム製建具</td> <td></td> <td></td> <td>※建具表による</td> </tr> <tr> <td>・樹脂製建具</td> <td></td> <td></td> <td>※建具表による</td> </tr> <tr> <td>・鋼製建具</td> <td>・外部</td> <td></td> <td>※建具表による</td> </tr> <tr> <td>・鋼製軽量建具</td> <td>・内部</td> <td></td> <td>※建具表による</td> </tr> <tr> <td>・ステンレス製建具</td> <td></td> <td></td> <td>※建具表による</td> </tr> </table> <p>新規に建具を設ける場合 壁部分の開口の開け方 ※図示 新規建具周囲の補修工法及び範囲 ※図示 建具周囲のシーリングは、改修特記仕様書3章 防水改修工事による</p>	建具の種類	かぶせ工法	撤去工法	適用箇所	○アルミニウム製建具			※建具表による	・樹脂製建具			※建具表による	・鋼製建具	・外部		※建具表による	・鋼製軽量建具	・内部		※建具表による	・ステンレス製建具			※建具表による
		施工箇所	形式	山高、山ピッチ による区分	耐力による区分 ( )種	材料による区分 ※鋼板製 ・アルミニウム 合金板製	厚さ (mm)	軒先 面戸板	耐火 性能																																																		
	重ね形 ・はぜ縁め形 ・かん合形					有り ・無し	30分 ・無し																																																				
工法の種類	アンカーピンの本数 (本/m <sup>2</sup> )		注入口の箇所数 (箇所/m <sup>2</sup> )		注入量 (ml/箇所)																																																						
	一般部	指定部	一般部	指定部																																																							
建具の種類	かぶせ工法	撤去工法	適用箇所																																																								
○アルミニウム製建具			※建具表による																																																								
・樹脂製建具			※建具表による																																																								
・鋼製建具	・外部		※建具表による																																																								
・鋼製軽量建具	・内部		※建具表による																																																								
・ステンレス製建具			※建具表による																																																								
4	1 可とう性エポキシ樹脂 2 パテ状エポキシ樹脂 3 エポキシ樹脂モルタル 4 シーリング材 5 ポリマーセメントモルタル 6 ポリマーセメントスラリー 7 既調合モルタル	(品質、試験方法) 建築補修用及び建築補強用エポキシ樹脂 (JIS A 6024) による (4.2.2) (品質、試験方法) 建築補修用及び建築補強用エポキシ樹脂 (JIS A 6024) による (4.2.2) (品質、試験方法) 建築補修用及び建築補強用エポキシ樹脂 (JIS A 6024) による (4.2.2) (品質、試験方法) 建築用シーリング材 (JIS A 5758) による (4.2.2) (品質、性能) 建築材料・設備機材等品質性能評価事業 (一般社団法人 公共建築協会) における「評価の内容」による (4.2.2) (品質、試験方法) 試験方法・品質基準 (独立行政法人 都市再生機構) による (4.2.2) (品質・性能) 建築材料・設備機材等品質性能評価事業 (一般社団法人 公共建築協会) における「評価の内容」による (4.2.2)	4-2	1 外壁改修 (タイル張り仕上げ外壁改修) 1 ひび割れ部改修工法 (4.1.4)(4.2.2)(4.5.2) <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>ひび割れ幅(mm)</th> <th>注入口間隔(mm)</th> <th>注入量(ml/m)</th> </tr> <tr> <td>※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法</td> <td>0.2以上~1.0以下</td> <td>200~300</td> <td>・120</td> </tr> <tr> <td>・手動式エポキシ樹脂注入工法</td> <td>0.2以上~0.3未満</td> <td>50~100</td> <td>・40</td> </tr> <tr> <td>・手動式エポキシ樹脂注入工法</td> <td>0.3以上~0.5未満</td> <td>100~200</td> <td>・70</td> </tr> <tr> <td>・機械式エポキシ樹脂注入工法</td> <td>0.5以上~1.0未満</td> <td>150~250</td> <td>・130</td> </tr> </table> <p>エポキシ樹脂 ※低粘度形 (0.5mm未満) ※中粘度形 (0.5mm以上) 注入状況の確認方法 ※目視により充填状況を確認する ・シール材の充填 1成分又は2成分系ポリウレタン系 ・シーリング材のうえにポリマーセメントモルタルの充填 ・行う ・行わない ・可とう性エポキシ樹脂</p>	種類	ひび割れ幅(mm)	注入口間隔(mm)	注入量(ml/m)	※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0.2以上~1.0以下	200~300	・120	・手動式エポキシ樹脂注入工法	0.2以上~0.3未満	50~100	・40	・手動式エポキシ樹脂注入工法	0.3以上~0.5未満	100~200	・70	・機械式エポキシ樹脂注入工法	0.5以上~1.0未満	150~250	・130	4-3	1 ひび割れ部改修工法 (4.1.4)(4.2.2)(4.5.2) <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>ひび割れ幅(mm)</th> <th>注入口間隔(mm)</th> <th>注入量(ml/m)</th> </tr> <tr> <td>※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法</td> <td>0.2以上~1.0以下</td> <td>200~300</td> <td>・120</td> </tr> <tr> <td>・手動式エポキシ樹脂注入工法</td> <td>0.2以上~0.3未満</td> <td>50~100</td> <td>・40</td> </tr> <tr> <td>・手動式エポキシ樹脂注入工法</td> <td>0.3以上~0.5未満</td> <td>100~200</td> <td>・70</td> </tr> <tr> <td>・機械式エポキシ樹脂注入工法</td> <td>0.5以上~1.0未満</td> <td>150~250</td> <td>・130</td> </tr> </table> <p>エポキシ樹脂 ※低粘度形 (0.5mm未満) ※中粘度形 (0.5mm以上) 注入状況の確認方法 ※目視により充填状況を確認する ・シール材の充填 1成分又は2成分系ポリウレタン系 ・シーリング材のうえにポリマーセメントモルタルの充填 ・行う ・行わない ・可とう性エポキシ樹脂</p>	種類	ひび割れ幅(mm)	注入口間隔(mm)	注入量(ml/m)	※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0.2以上~1.0以下	200~300	・120	・手動式エポキシ樹脂注入工法	0.2以上~0.3未満	50~100	・40	・手動式エポキシ樹脂注入工法	0.3以上~0.5未満	100~200	・70	・機械式エポキシ樹脂注入工法	0.5以上~1.0未満	150~250	・130	5	4 目地改修工法 (4.1.4)(4.2.2)(4.5.16) 5 タイルの形状、寸法等 (4.1.4)(4.2.2)(表4.2.3)	2 防火戸 3 見本の製作等 (5.1.5) 4 防犯建物部品 (5.1.7) 5 アルミニウム製建具 (5.2.2~5)(表5.2.1、2) 性能値等 外部に面する建具の種別 ( ) ・A種 (建具符号: ※建具表による) ( ) ・B種 (建具符号: ※建具表による) ( ) ・C種 (建具符号: ※建具表による) ( ) 枠の見込み寸法 ※建具表による ( )										
種類	ひび割れ幅(mm)	注入口間隔(mm)	注入量(ml/m)																																																								
※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0.2以上~1.0以下	200~300	・120																																																								
・手動式エポキシ樹脂注入工法	0.2以上~0.3未満	50~100	・40																																																								
・手動式エポキシ樹脂注入工法	0.3以上~0.5未満	100~200	・70																																																								
・機械式エポキシ樹脂注入工法	0.5以上~1.0未満	150~250	・130																																																								
種類	ひび割れ幅(mm)	注入口間隔(mm)	注入量(ml/m)																																																								
※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0.2以上~1.0以下	200~300	・120																																																								
・手動式エポキシ樹脂注入工法	0.2以上~0.3未満	50~100	・40																																																								
・手動式エポキシ樹脂注入工法	0.3以上~0.5未満	100~200	・70																																																								
・機械式エポキシ樹脂注入工法	0.5以上~1.0未満	150~250	・130																																																								
4-1	1 ひび割れ部改修工法 (4.1.4)(4.2.2)(4.3.2)(4.3.4) 2 欠損部改修工法 (4.1.4)(4.2.2)(4.3.3)(4.3.7)	・樹脂注入工法 <table border="1"> <tr> <th>工法の種類</th> <th>ひび割れ幅(mm)</th> <th>注入口間隔(mm)</th> <th>注入量(ml/m)</th> </tr> <tr> <td>※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法</td> <td>0.2以上~1.0以下</td> <td>200~300</td> <td>・120</td> </tr> <tr> <td>・手動式エポキシ樹脂注入工法</td> <td>0.2以上~0.3未満</td> <td>50~100</td> <td>・40</td> </tr> <tr> <td>・手動式エポキシ樹脂注入工法</td> <td>0.3以上~0.5未満</td> <td>100~200</td> <td>・70</td> </tr> <tr> <td>・機械式エポキシ樹脂注入工法</td> <td>0.5以上~1.0未満</td> <td>150~250</td> <td>・130</td> </tr> </table> <p>エポキシ樹脂 ※低粘度形 (0.5mm未満) ※中粘度形 (0.5mm以上) 注入状況の確認方法 ※目視により充填状況を確認する ・シール材の充填 1成分又は2成分系ポリウレタン系 ・シーリング材のうえにポリマーセメントモルタルの充填 ・行う ・行わない ・可とう性エポキシ樹脂</p>	工法の種類	ひび割れ幅(mm)	注入口間隔(mm)	注入量(ml/m)	※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0.2以上~1.0以下	200~300	・120	・手動式エポキシ樹脂注入工法	0.2以上~0.3未満	50~100	・40	・手動式エポキシ樹脂注入工法	0.3以上~0.5未満	100~200	・70	・機械式エポキシ樹脂注入工法	0.5以上~1.0未満	150~250	・130	4-2	1 ひび割れ部改修工法 (4.1.4)(4.2.2)(4.5.2) <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>ひび割れ幅(mm)</th> <th>注入口間隔(mm)</th> <th>注入量(ml/m)</th> </tr> <tr> <td>※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法</td> <td>0.2以上~1.0以下</td> <td>200~300</td> <td>・120</td> </tr> <tr> <td>・手動式エポキシ樹脂注入工法</td> <td>0.2以上~0.3未満</td> <td>50~100</td> <td>・40</td> </tr> <tr> <td>・手動式エポキシ樹脂注入工法</td> <td>0.3以上~0.5未満</td> <td>100~200</td> <td>・70</td> </tr> <tr> <td>・機械式エポキシ樹脂注入工法</td> <td>0.5以上~1.0未満</td> <td>150~250</td> <td>・130</td> </tr> </table> <p>エポキシ樹脂 ※低粘度形 (0.5mm未満) ※中粘度形 (0.5mm以上) 注入状況の確認方法 ※目視により充填状況を確認する ・シール材の充填 1成分又は2成分系ポリウレタン系 ・シーリング材のうえにポリマーセメントモルタルの充填 ・行う ・行わない ・可とう性エポキシ樹脂</p>	種類	ひび割れ幅(mm)	注入口間隔(mm)	注入量(ml/m)	※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0.2以上~1.0以下	200~300	・120	・手動式エポキシ樹脂注入工法	0.2以上~0.3未満	50~100	・40	・手動式エポキシ樹脂注入工法	0.3以上~0.5未満	100~200	・70	・機械式エポキシ樹脂注入工法	0.5以上~1.0未満	150~250	・130	5	6 網戸等 (5.2.3)	性能値等 外部に面する建具の種別 ( ) ・A種 (建具符号: ※建具表による) ( ) ・B種 (建具符号: ※建具表による) ( ) ・C種 (建具符号: ※建具表による) ( ) 枠の見込み寸法 ・建具表による ( )												
		工法の種類	ひび割れ幅(mm)	注入口間隔(mm)	注入量(ml/m)																																																						
※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0.2以上~1.0以下	200~300	・120																																																								
・手動式エポキシ樹脂注入工法	0.2以上~0.3未満	50~100	・40																																																								
・手動式エポキシ樹脂注入工法	0.3以上~0.5未満	100~200	・70																																																								
・機械式エポキシ樹脂注入工法	0.5以上~1.0未満	150~250	・130																																																								
種類	ひび割れ幅(mm)	注入口間隔(mm)	注入量(ml/m)																																																								
※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0.2以上~1.0以下	200~300	・120																																																								
・手動式エポキシ樹脂注入工法	0.2以上~0.3未満	50~100	・40																																																								
・手動式エポキシ樹脂注入工法	0.3以上~0.5未満	100~200	・70																																																								
・機械式エポキシ樹脂注入工法	0.5以上~1.0未満	150~250	・130																																																								
4-2	1 ひび割れ部改修工法 (4.1.4)(4.2.2)(4.4.2)(4.4.5) 2 欠損部改修工法 (4.1.4)(4.2.2)(4.4.3)(4.4.8)	・樹脂注入工法 <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>ひび割れ幅(mm)</th> <th>注入口間隔(mm)</th> <th>注入量(ml/m)</th> </tr> <tr> <td>※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法</td> <td>0.2以上~1.0以下</td> <td>200~300</td> <td>・120</td> </tr> <tr> <td>・手動式エポキシ樹脂注入工法</td> <td>0.2以上~0.3未満</td> <td>50~100</td> <td>・40</td> </tr> <tr> <td>・手動式エポキシ樹脂注入工法</td> <td>0.3以上~0.5未満</td> <td>100~200</td> <td>・70</td> </tr> <tr> <td>・機械式エポキシ樹脂注入工法</td> <td>0.5以上~1.0未満</td> <td>150~250</td> <td>・130</td> </tr> </table> <p>エポキシ樹脂 ※低粘度形 (0.5mm未満) ※中粘度形 (0.5mm以上) 注入状況の確認方法 ※目視により充填状況を確認する ・シール材の充填 1成分又は2成分系ポリウレタン系 ・シーリング材のうえにポリマーセメントモルタルの充填 ・行う ・行わない ・可とう性エポキシ樹脂</p>	種類	ひび割れ幅(mm)	注入口間隔(mm)	注入量(ml/m)	※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0.2以上~1.0以下	200~300	・120	・手動式エポキシ樹脂注入工法	0.2以上~0.3未満	50~100	・40	・手動式エポキシ樹脂注入工法	0.3以上~0.5未満	100~200	・70	・機械式エポキシ樹脂注入工法	0.5以上~1.0未満	150~250	・130	4-2	1 ひび割れ部改修工法 (4.1.4)(4.2.2)(4.5.2) <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>ひび割れ幅(mm)</th> <th>注入口間隔(mm)</th> <th>注入量(ml/m)</th> </tr> <tr> <td>※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法</td> <td>0.2以上~1.0以下</td> <td>200~300</td> <td>・120</td> </tr> <tr> <td>・手動式エポキシ樹脂注入工法</td> <td>0.2以上~0.3未満</td> <td>50~100</td> <td>・40</td> </tr> <tr> <td>・手動式エポキシ樹脂注入工法</td> <td>0.3以上~0.5未満</td> <td>100~200</td> <td>・70</td> </tr> <tr> <td>・機械式エポキシ樹脂注入工法</td> <td>0.5以上~1.0未満</td> <td>150~250</td> <td>・130</td> </tr> </table> <p>エポキシ樹脂 ※低粘度形 (0.5mm未満) ※中粘度形 (0.5mm以上) 注入状況の確認方法 ※目視により充填状況を確認する ・シール材の充填 1成分又は2成分系ポリウレタン系 ・シーリング材のうえにポリマーセメントモルタルの充填 ・行う ・行わない ・可とう性エポキシ樹脂</p>	種類	ひび割れ幅(mm)	注入口間隔(mm)	注入量(ml/m)	※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0.2以上~1.0以下	200~300	・120	・手動式エポキシ樹脂注入工法	0.2以上~0.3未満	50~100	・40	・手動式エポキシ樹脂注入工法	0.3以上~0.5未満	100~200	・70	・機械式エポキシ樹脂注入工法	0.5以上~1.0未満	150~250	・130	5	7 樹脂製建具 (5.2.2)(5.3.2~5)	性能値等 外部に面する建具の種別 ( ) ・A種 (建具符号: ※建具表による) ( ) ・B種 (建具符号: ※建具表による) ( ) ・C種 (建具符号: ※建具表による) ( ) 枠の見込み寸法 ・建具表による ( )												
種類	ひび割れ幅(mm)	注入口間隔(mm)	注入量(ml/m)																																																								
※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0.2以上~1.0以下	200~300	・120																																																								
・手動式エポキシ樹脂注入工法	0.2以上~0.3未満	50~100	・40																																																								
・手動式エポキシ樹脂注入工法	0.3以上~0.5未満	100~200	・70																																																								
・機械式エポキシ樹脂注入工法	0.5以上~1.0未満	150~250	・130																																																								
種類	ひび割れ幅(mm)	注入口間隔(mm)	注入量(ml/m)																																																								
※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0.2以上~1.0以下	200~300	・120																																																								
・手動式エポキシ樹脂注入工法	0.2以上~0.3未満	50~100	・40																																																								
・手動式エポキシ樹脂注入工法	0.3以上~0.5未満	100~200	・70																																																								
・機械式エポキシ樹脂注入工法	0.5以上~1.0未満	150~250	・130																																																								
4-2	1 ひび割れ部改修工法 (4.1.4)(4.2.2)(4.4.2)(4.4.5) 2 欠損部改修工法 (4.1.4)(4.2.2)(4.4.3)(4.4.8)	・樹脂注入工法 <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>ひび割れ幅(mm)</th> <th>注入口間隔(mm)</th> <th>注入量(ml/m)</th> </tr> <tr> <td>※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法</td> <td>0.2以上~1.0以下</td> <td>200~300</td> <td>・120</td> </tr> <tr> <td>・手動式エポキシ樹脂注入工法</td> <td>0.2以上~0.3未満</td> <td>50~100</td> <td>・40</td> </tr> <tr> <td>・手動式エポキシ樹脂注入工法</td> <td>0.3以上~0.5未満</td> <td>100~200</td> <td>・70</td> </tr> <tr> <td>・機械式エポキシ樹脂注入工法</td> <td>0.5以上~1.0未満</td> <td>150~250</td> <td>・130</td> </tr> </table> <p>エポキシ樹脂 ※低粘度形 (0.5mm未満) ※中粘度形 (0.5mm以上) 注入状況の確認方法 ※目視により充填状況を確認する ・シール材の充填 1成分又は2成分系ポリウレタン系 ・シーリング材のうえにポリマーセメントモルタルの充填 ・行う ・行わない ・可とう性エポキシ樹脂</p>	種類	ひび割れ幅(mm)	注入口間隔(mm)	注入量(ml/m)	※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0.2以上~1.0以下	200~300	・120	・手動式エポキシ樹脂注入工法	0.2以上~0.3未満	50~100	・40	・手動式エポキシ樹脂注入工法	0.3以上~0.5未満	100~200	・70	・機械式エポキシ樹脂注入工法	0.5以上~1.0未満	150~250	・130	4-2	1 ひび割れ部改修工法 (4.1.4)(4.2.2)(4.5.2) <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>ひび割れ幅(mm)</th> <th>注入口間隔(mm)</th> <th>注入量(ml/m)</th> </tr> <tr> <td>※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法</td> <td>0.2以上~1.0以下</td> <td>200~300</td> <td>・120</td> </tr> <tr> <td>・手動式エポキシ樹脂注入工法</td> <td>0.2以上~0.3未満</td> <td>50~100</td> <td>・40</td> </tr> <tr> <td>・手動式エポキシ樹脂注入工法</td> <td>0.3以上~0.5未満</td> <td>100~200</td> <td>・70</td> </tr> <tr> <td>・機械式エポキシ樹脂注入工法</td> <td>0.5以上~1.0未満</td> <td>150~250</td> <td>・130</td> </tr> </table> <p>エポキシ樹脂 ※低粘度形 (0.5mm未満) ※中粘度形 (0.5mm以上) 注入状況の確認方法 ※目視により充填状況を確認する ・シール材の充填 1成分又は2成分系ポリウレタン系 ・シーリング材のうえにポリマーセメントモルタルの充填 ・行う ・行わない ・可とう性エポキシ樹脂</p>	種類	ひび割れ幅(mm)	注入口間隔(mm)	注入量(ml/m)	※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0.2以上~1.0以下	200~300	・120	・手動式エポキシ樹脂注入工法	0.2以上~0.3未満	50~100	・40	・手動式エポキシ樹脂注入工法	0.3以上~0.5未満	100~200	・70	・機械式エポキシ樹脂注入工法	0.5以上~1.0未満	150~250	・130	5	7 鋼製軽量建具 (5.2.2)(5.5.2~6)(表5.5.1、2)	性能値等 外部に面する建具の種別 ( ) ・A種 (建具符号: ※建具表による) ( ) ・B種 (建具符号: ※建具表による) ( ) ・C種 (建具符号: ※建具表による) ( ) 枠の見込み寸法 ・建具表による ( )												
		種類	ひび割れ幅(mm)	注入口間隔(mm)	注入量(ml/m)																																																						
※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0.2以上~1.0以下	200~300	・120																																																								
・手動式エポキシ樹脂注入工法	0.2以上~0.3未満	50~100	・40																																																								
・手動式エポキシ樹脂注入工法	0.3以上~0.5未満	100~200	・70																																																								
・機械式エポキシ樹脂注入工法	0.5以上~1.0未満	150~250	・130																																																								
種類	ひび割れ幅(mm)	注入口間隔(mm)	注入量(ml/m)																																																								
※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0.2以上~1.0以下	200~300	・120																																																								
・手動式エポキシ樹脂注入工法	0.2以上~0.3未満	50~100	・40																																																								
・手動式エポキシ樹脂注入工法	0.3以上~0.5未満	100~200	・70																																																								
・機械式エポキシ樹脂注入工法	0.5以上~1.0未満	150~250	・130																																																								
4	4 マスチック塗り	別別 ・ A種 ・ B種 (4.1.5)(4.7.2)(表4.7.1)	4-4	1 既存塗膜等の除去、下地処理及び下地調整 (表4.6.2~5) <table border="1"> <tr> <th>工法</th> <th>処理範囲</th> <th>下地面の補修</th> </tr> <tr> <td>・サンダー工法</td> <td>※既存仕上げ面全体 ・図示</td> <td>※ひび割れ部改修工法</td> </tr> <tr> <td>・高圧水洗浄工法 (30MPa程度以上)</td> <td>※既存仕上げ面全体 ・図示</td> <td>※浮き部改修工法</td> </tr> <tr> <td>・塗膜はく離工法</td> <td>※既存仕上げ面全体 ・図示</td> <td>※欠損部改修工法</td> </tr> <tr> <td>・水洗い工法 (15MPa程度) (デッキブラシ併用)</td> <td>※サンダー工法、高圧水洗浄工法、塗膜はく離工法の処理範囲以外既存仕上げ面全体 ・図示</td> <td></td> </tr> </table>	工法	処理範囲	下地面の補修	・サンダー工法	※既存仕上げ面全体 ・図示	※ひび割れ部改修工法	・高圧水洗浄工法 (30MPa程度以上)	※既存仕上げ面全体 ・図示	※浮き部改修工法	・塗膜はく離工法	※既存仕上げ面全体 ・図示	※欠損部改修工法	・水洗い工法 (15MPa程度) (デッキブラシ併用)	※サンダー工法、高圧水洗浄工法、塗膜はく離工法の処理範囲以外既存仕上げ面全体 ・図示		5	7 鋼製建具 (5.2.2)(5.4.2~6)(表5.4.2~5)	性能値等 外部に面する建具の種別 ( ) ・A種 (建具符号: ※建具表による) ( ) ・B種 (建具符号: ※建具表による) ( ) ・C種 (建具符号: ※建具表による) ( ) 枠の見込み寸法 ・建具表による ( )																																					
工法	処理範囲	下地面の補修																																																									
・サンダー工法	※既存仕上げ面全体 ・図示	※ひび割れ部改修工法																																																									
・高圧水洗浄工法 (30MPa程度以上)	※既存仕上げ面全体 ・図示	※浮き部改修工法																																																									
・塗膜はく離工法	※既存仕上げ面全体 ・図示	※欠損部改修工法																																																									
・水洗い工法 (15MPa程度) (デッキブラシ併用)	※サンダー工法、高圧水洗浄工法、塗膜はく離工法の処理範囲以外既存仕上げ面全体 ・図示																																																										

工事業名	可見市立東明小学校トイレ大規模改修工事(1期)		
種別	改修工事特記仕様書-3	図面番号	A-03
縮尺	-	作成年月	令和6年10月
設計者	株式会社 廣建築設備設計		
氏名印	一級建築士 第311227号 野内理仁		

章	項目	特記事項	章	項目	特記事項	章	項目	特記事項																																																								
⑤	10 ステンレス製 建具	性能値級 簡易気密型ドアセット ・適用する(建具符号:※建具表による) ・ ・適用しない 外部に面する建具の耐風圧性 ・S-4(建具符号:※建具表による) ・ ・S-5(建具符号:※建具表による) ・ ・S-6(建具符号:※建具表による) ・ 防音ドア・防音サッシ 遮音性の等級( ) 断熱ドア・断熱サッシ☒ 断熱性の等級( ) 耐震ドア 面内変形追随性の等級( ) ステンレス鋼板 ※SUS304、SUS430J1L、又はSUS443J1 鋼板(屋内) ※SUS430、SUS430J1L、SUS443J1、SUS304 ステンレス鋼板の曲げ加工 ※普通曲げ ・角出し曲げ	⑤	18 オーバーヘッドドア	(5.12.2~5)(表5.12.1、2) セクション材料による区分 耐風圧性能区分(Pa) 閉開方式による区分 収納形式による区分 ガイドレールの材料 ※スチールタイプ ・125(1250) ※バランス式 ・スタンダード形 ※溶融亜鉛めっき鋼板 ・アルミニウムタイプ ・100(1000) ・チェーン式 ・ローヘッド形 ・ステンレス鋼板 ・ファイバーグラスタイプ ・75(750) ・電動式 ・ハイリフト形 ( ) ・バーチカル形	⑥	2 既存床の撤去及び下地補修	6 7 造作用単板積層材☒	ホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外 (6.5.2)(表6.5.3、4) ・「単板積層材の日本農林規格」による造作用単板積層材 施工箇所 厚さ(mm) 表面の品質 防虫処理 間伐材等の適用 ・有り(天然木加工・塗装加工) ・適用する ・無し( ) ・適用しない ・有り(天然木加工・塗装加工) ・適用する ・無し( ) ・適用しない ・「単板積層材の日本農林規格」以外の造作用単板積層材 施工箇所 厚さ(mm) 表面の品質 含水率 防虫処理 間伐材等の適用 ・有り(天然木加工・塗装加工) ※14%以下 ・適用する ・無し( ) ・適用しない ・有り(天然木加工・塗装加工) ※14%以下 ・適用する ・無し( ) ・適用しない ・CLT(直交集成材)☒ 施工箇所 品名 曲げ性能(強度等級) 種別 接着性能 使用環境 樹種 寸法(mm) 間伐材等の適用																																																							
		⑪			11 木製建具					[16.7.2~4][表16.7.1~11] 建具材の加工、組立時の含水率 ※B種 建物内部の木製建具に使用する表面材及び接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外	⑬	13 鍵	(5.7.2、3) 金物の種類及び見え掛り部の材質等 ※改修標準仕様書 表5.7.1により適用は建具表による 金属製建具用丁番の枚数及び大きさ ※改修標準仕様書 表5.7.2による 建具表による 樹脂製建具用丁番の枚数及び大きさ ※改修標準仕様書 表5.7.3による 建具表による 握り玉、レバーハンドル、押板類、クレセントの取付け位置 ※建具表による ○錠前類 【シリンダ箱錠及びシリンダ本締り錠】 品質 建築材料・設備機材等品質性能評価事業(一般社団法人 公共建築協会)における「評価の内容」による 性能 JIS A 1541-2(建築金物一錠-第2部:実用性能項目に対するグレード及び表示方法)による 試験方法 JIS A 1541-1(建築金物一錠-第1部:試験方法)による ○錠前類 【レバーハンドル】 性能 JIS A 1541-2(建築金物一錠-第2部:実用性能項目に対するグレード及び表示方法)による 試験方法 JIS A 1541-1(建築金物一錠-第1部:試験方法)による ○クローザ類 品質・性能 建築材料・設備機材等品質性能評価事業(一般社団法人 公共建築協会)における「評価の内容」による 試験方法 JIS A 1510-3(建築用ドア金物の試験方法-第3部:フロアヒンジ、ドアクローザ及びヒンジクローザ)による	⑭	14 自動ドア開閉装置	(5.8.2~4)(表5.8.1~6) 引き戸用駆動装置 性能値 ※標準仕様書 表5.8.5による 種類( ) 多機能トイレル入り口引き戸用駆動装置 性能値 ※標準仕様書 表5.8.6による 引き戸用検出装置 性能値 ※標準仕様書 表5.8.3による 戸の開閉方式 ※建具表による 引き戸用検出装置の種類 ※標準仕様書 表5.8.4による 種類( ) ・建具表による 凍結防止措置 ・適用する ・適用しない	⑮	15 自閉式上吊り引戸装置	(5.9.3、4)(表5.9.1) 性能値等 ※標準仕様書 表5.9.1による (試験方法) 建築材料・設備機材等品質性能評価事業(一般社団法人 公共建築協会)における「評価の内容」による	⑯	16 重量シャッター	(5.10.2~5)(表5.10.1~4) シャッターの種類 ・管理用シャッター耐風圧強度( ) N/m2 ・外壁用防火シャッター耐風圧強度( ) N/m2 ・屋内用防火シャッター ・防煙シャッター 閉開方式の種類 ※上部電動式(手動併用) ・上部手動式 二重チェーン、急降下制動装置、急降下停止装置を設けた電動シャッターの設置箇所 ※図示 障害物感知装置を設けた電動シャッターの設置箇所 ※図示 屋内用防火シャッター若しくは防煙シャッターの危害防止機構 ※図示 (設置箇所 ※図示) 「防火区画に用いる防火設備等の構造方法を定める件」(昭和48年12月28日建設省告示第2563号)に定める基準に適合するもの ※障害物感知装置(自動閉鎖型) 管理用シャッターのシャッターケース ※図示 ・設けない スラット及びシャッターケース用鋼板 鋼板の種類 ・JIS G 3302(溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯) ・JIS G 3312(塗装溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯) めっきの付着量 ※Z12又はF12	⑰	17 軽量シャッター	(5.11.2~5)(表5.11.1、2) 閉開方式の種類 ※手動式 ・上部電動式(手動併用) 耐風圧強度( ) N/m2 障害物感知装置を設けた電動シャッターの設置箇所 ・図示 スラットの材質の種類 ・JIS G 3312(塗装溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯) めっき付着量(※Z06又はF06) ・JIS G 3322(塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板及び鋼帯) めっき付着量(※AZ90) スラットの形状 ・インターロッキング形 ・オーバーラッピング形	⑱	19 ガラス	(3.7.2)(5.13.2~4) フロート板ガラス 品種及び厚さの呼びによる種類 ※建具表による 型板ガラス 厚さによる種類 ※建具表による 網入板ガラス及び線入板ガラス 網又は線の形状、板の表面の状態及び厚さの呼びによる種類 ※建具表による 合わせガラス 材料板ガラスの種類及び厚さの組合せ並びに合わせガラスの合計厚さ ※建具表による 形状による種類 ・平面合わせガラス ・曲面合わせガラス 落球衝撃は離特性並びにショットバック衝撃特性による種類 ・Ⅰ類 ・Ⅱ-Ⅰ類 ・Ⅱ-Ⅱ類 ・Ⅲ類 強化ガラス 形状による種類、材料板ガラスの種類による名称 ※建具表による 破片の状態及びショットバック衝撃特性による種類 ・Ⅰ類 ・Ⅲ類 熱線吸収板ガラス 板ガラスの種類、厚さによる種類 ※建具表による 性能による種類 ・Ⅰ種 ・Ⅱ種 複層ガラス 材料板ガラスの種類及び厚さの組合せ並びに複層ガラスの厚さ ※建具表による 断熱性による区分 ・T1 ・T2 ・T3 ・T4 ・T5 ・T6 日射取得性、日射遮蔽性による区分 ・G ・S 乾燥気体の種類 ・空気 ・アルゴン 熱線反射ガラス 材料板ガラスの種類及び厚さによる種類 ※建具表による 日射熱透過率による区分 ・Ⅰ種 ・Ⅱ種 ・Ⅲ種 耐久性による区分(日射熱遮蔽性による区分が2種の場合) ・A類 ・B類 映像調整 ・行わない ・行う 倍強度ガラス 材料板ガラスの種類及び厚さによる種類 ※建具表による ガラスの留め材及び溝の大きさ 建具の種類 ガラス留め材 ガラス溝の大きさ(mm) アルミニウム製 ○シーリング材 ・ガスケット ・グレイジングチャンネル形 ※建具の製造所の仕様による ・図示 鋼製及び鋼製軽量 ○シーリング材 ※建具の製造所の仕様による ・図示 ステンレス製 ○シーリング材 ※建具の製造所の仕様による ・図示	⑳	20 ガラスフロック	(5.13.5) 表面形状 呼び寸法 厚さ 色調 目地幅(mm) 伸縮調整 防火性能 ・正方形 ・125×125 80 白/乳白 平積み ※8~15 外側 ※6m以下 目地位置(mm) 性能 ・160×160 ・95 ・125 ※15以下 内側 ※無し ・200×200 ・95 ・125 ※6以上 ※有り ・320×320 95 ※6以上 ・250×125 80 ・320×160 95	㉑	21 ガラス用フィルム	種類 記号 性能等 ・日射調整フィルム ※SC-1 ・SC-2 日射遮蔽性能による区分 ・A・B・C・D・E ・低放射フィルム ※LE 熱貫流率による区分 ・A・B・C・D ・衝撃破壊対応ガラス 飛散防止フィルム ※GI-1 ・GI-2 ※層間変位破壊対応ガラス 飛散防止フィルム ※GD-1 ・GD-2 品質 JIS A 5759Iによる。	㉒	①改修範囲	(6.1.3~5) 既存間仕切壁の撤去に伴う当該壁の取り合う天井、壁及び床の改修範囲 ※壁厚程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う ・図示 天井内の既存壁の撤去に伴う当該壁の取合う天井の改修範囲 ※壁面より両側 600mm 程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う ・図示 既存天井の撤去に伴う取合い部の壁面の改修 ※既存のまま ・図示	㉓	②既存床の撤去及び下地補修	(6.2.2) ビニルシート等の除去 ※仕上材のみ(接着剤とも) ○下地モルタルとも(※図示の範囲 ・除去範囲全て) 合成樹脂塗床材の除去工法 ・機械的除去工法 ・目荒し工法 既存のコンクリート又はモルタル面の下地処理に用いるポリマーセメントモルタル及びエポキシ樹脂モルタルは、4章外壁改修工事による。 改修後の床の清掃範囲 ※図示 間仕切壁撤去に伴う他の構造体の補修 ※改修標準仕様書4.4.9によるモルタル塗り(塗り厚25mmを超える場合の処理 ※図示)	㉔	③既存壁の撤去及び下地補修	(6.3.2)	㉕	④木下地等の表面仕上げ	(6.5.1)(表6.5.1、2) 表面仕上げの種別 適用箇所 機械加工 ・A種 ○B種 図示 ・C種 手加工 ・H-A種 ・H-B種 ・H-C種	㉖	5 製材☒	(6.5.2)(表6.5.3) ・「製材の日本農林規格」による下地用針葉樹製材 施工箇所 樹種 寸法(mm) 等級 形状 含水率 保存処理 間伐材等の適用 ※2級 ※A種・B種 ※2級 ※A種・B種 ・「製材の日本農林規格」による造作用針葉樹製材 施工箇所 樹種 寸法(mm) 等級 形状 含水率 保存処理 間伐材等の適用 見え掛り面 ※上小節 ※A種・B種 見え掛り面 ※小節以上 ※A種・B種 ・「製材の日本農林規格」による広葉樹製材 施工箇所 樹種 寸法(mm) 等級 形状 含水率 保存処理 間伐材等の適用 ・「製材の日本農林規格」以外の製材 施工箇所 樹種 寸法(mm) 材面の品質 防虫処理 含水率 間伐材等の適用 (造作材の場合) ・適用する ※A種・B種 (※A種・B種) ・適用しない (造作材の場合) ・適用する ※A種・B種 (※A種・B種) ・適用しない 6 造作用集成材☒ ホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外 (6.5.2)(表6.5.3、4) ・「集成材の日本農林規格」による造作用集成材 施工箇所 樹種 寸法(mm) 見付け材の面積 見付け材の面積の品質 間伐材等の適用 ※1等・2等 ※1等・2等 ・「集成材の日本農林規格」による化粧ばり造作用集成材 施工箇所 樹種 寸法(mm) 化粧薄板の厚さ(mm) 見付け材の面積の品質 間伐材等の適用 化粧薄板: 見付け材の面積の品質 ※1等・2等 芯材: ※1等・2等 化粧薄板: ※1等・2等 芯材: ※1等・2等 ・「集成材の日本農林規格」による化粧ばり構造用集成材 施工箇所 樹種 寸法(mm) 化粧薄板の厚さ(mm) 見付け材の面積の品質 間伐材等の適用 化粧薄板: 見付け材の面積の品質 ※1等・2等 芯材: ※1等・2等 ・「集成材の日本農林規格」以外の化粧ばり造作用集成材 施工箇所 樹種 寸法(mm) 化粧薄板の厚さ(mm) 見付け材の面積の品質 含水率 間伐材等の適用 ※15%以下 ※15%以下 ・「集成材の日本農林規格」以外の化粧ばり構造用集成材 施工箇所 樹種 寸法(mm) 化粧薄板の厚さ(mm) 見付け材の面積の品質 含水率 間伐材等の適用 ※15%以下 ※15%以下	㉗	6 7 造作用単板積層材☒	ホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外 (6.5.2)(表6.5.3) ・普通合板☒ 施工箇所 厚さ(mm) 表板の樹種名 接着の程度 板面の品質 防虫処理 強度等級 間伐材等の適用 ※5.5 ※1類・2類 ※2等以上 ・1等 ・針葉樹 ※C-D以上 ・構造用合板☒ 施工箇所 等級 単板の樹種名 接着の程度 板面の品質 厚さ(mm) 防虫処理 強度等級 間伐材等の適用 ※2級以上 ・Ⅰ類 ・Ⅱ類 ※10以上 ※12 ・Ⅰ類 ・Ⅱ類 ※1等以上 ・Ⅰ類 ・Ⅱ類 ※1等以上 ・「合板の日本農林規格」による化粧ばり構造用合板☒ 施工箇所 厚さ(mm) 単板の樹種名 接着の程度 防虫処理 間伐材等の適用 ・「合板の日本農林規格」による天然木化粧合板☒ 施工箇所 化粧板に使用する単板の樹種名 厚さ(mm) 接着の程度 防虫処理の適用 ・1類・2類 ・適用する( ) ・「合板の日本農林規格」による特殊加工化粧合板☒ 施工箇所 厚さ(mm) 接着の程度 表面性能 化粧加工の方法 防虫処理の適用 間伐材等の適用 ・1類・2類 ・パーティクルボード☒ 施工箇所 表裏面の状態による区分 曲げ強さによる区分 耐水性による区分 難燃性による区分 厚さ(mm) ※15 ・構造用パネル 施工箇所 等級 厚さ(mm) ・1級・2級・3級・4級 ・MDF☒ 施工箇所 厚さ(mm) 裏表面の状態による区分 曲げ強さによる区分 接着剤による区分 難燃性による区分	㉘	8 床張り用合板合板等	ホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外 (6.5.2)(表6.5.3) ・普通合板☒ 施工箇所 厚さ(mm) 表板の樹種名 接着の程度 板面の品質 防虫処理 強度等級 間伐材等の適用 ※5.5 ※1類・2類 ※2等以上 ・1等 ・針葉樹 ※C-D以上 ・構造用合板☒ 施工箇所 等級 単板の樹種名 接着の程度 板面の品質 厚さ(mm) 防虫処理 強度等級 間伐材等の適用 ※2級以上 ・Ⅰ類 ・Ⅱ類 ※10以上 ※12 ・Ⅰ類 ・Ⅱ類 ※1等以上 ・Ⅰ類 ・Ⅱ類 ※1等以上 ・「合板の日本農林規格」による化粧ばり構造用合板☒ 施工箇所 厚さ(mm) 単板の樹種名 接着の程度 防虫処理 間伐材等の適用 ・「合板の日本農林規格」による天然木化粧合板☒ 施工箇所 化粧板に使用する単板の樹種名 厚さ(mm) 接着の程度 防虫処理の適用 ・1類・2類 ・適用する( ) ・「合板の日本農林規格」による特殊加工化粧合板☒ 施工箇所 厚さ(mm) 接着の程度 表面性能 化粧加工の方法 防虫処理の適用 間伐材等の適用 ・1類・2類 ・パーティクルボード☒ 施工箇所 表裏面の状態による区分 曲げ強さによる区分 耐水性による区分 難燃性による区分 厚さ(mm) ※15 ・構造用パネル 施工箇所 等級 厚さ(mm) ・1級・2級・3級・4級 ・MDF☒ 施工箇所 厚さ(mm) 裏表面の状態による区分 曲げ強さによる区分 接着剤による区分 難燃性による区分	㉙	9 接着剤	(6.5.3、4)(6.8.2)(6.9.3)(6.11.4、5) 接着剤は可塑性(難揮発性の可塑性を除く)が添付されていないものとする。 ホルムアルデヒドの放散量 ※規制対象外 施工箇所の下地がセメント系下地及び木質系下地以外の場合の接着材の種類 ・図示	㉚	10 防蟻・防蟻処理	(6.5.5) ・防蟻、防蟻処理を省略できる樹種による製材 適用部位( )	㉛	工事名	可児市立東明小学校トイレ大規模改修工事(1期)
		種別			改修工事特記仕様書-4					図面番号	A-04																																																					
		縮尺			-					作成年月	令和6年10月																																																					
		設計者氏名印			株式会社 廣建築設備設計 一級建築士 第311227号 野内理仁																																																											

⑥ 10 内装改修工事	10 防霉・防蟻処理 ・薬剤の加圧注入による防霉・防蟻処理 適用部材 保存処理性能区分 ・K2・K3・K4 ・薬剤の塗布等による防霉・防蟻処理 適用部材 処理の方法 薬剤の種類 ※改修標準仕様書6.5.5 (1)(b)②7~Iによる ※JIS A 1571に適合又は同等品 ・薬剤の接着剤への混入による防霉・防蟻処理 適用部位 ( ) 野縁等の種類 屋外 ※25形・19形 屋内 ※19形・25形 ・屋外の軒天井、ピロティ天井等 工法 建築基準法に基づき定まる(・1・1.15・1.3)の風圧力に対応した工法 野縁受、吊りボルト及びインサートの間隔 図示 周辺部の端からの間隔 図示 野縁の間隔 図示 既存の埋込みインサート ※使用する ・使用しない あと施工アンカーの確認試験 ※行う ・行わない 箇所数 ※屋内の場合、当該階において3箇所 確認強度 ※吊りボルト受け等の間隔が900mm程度以下かつ天井面構成部材等の単位面積当たりの質量が20kg/m <sup>2</sup> 以内の天井の場合、400N程度 ・吊りボルトの間隔が900mmを超える場合の補強方法 ※図示 ・天井のふとところが1.5m以上3.0m以下の場合の補強方法 ※改修標準仕様書6.4.(8)による ・天井のふとところが3.0mを超える場合の補強方法 ※図示 ・天井の下部材における耐震性を考慮した補強 補強箇所 ※図示 補強方法 ※図示
⑪ 11 軽量鉄骨天井下地	⑪ 11 軽量鉄骨天井下地 (6.6.2~4)(表6.6.1、2)
⑫ 12 軽量鉄骨壁下地	⑫ 12 軽量鉄骨壁下地 (6.7.3、4)(表6.7.1)
⑬ 13 ビニル床シート	⑬ 13 ビニル床シート (6.8.2、3)(表6.8.1)
14 ビニル床タイル	14 ビニル床タイル (6.8.2~4)(表6.8.1)
15 特殊機能床	15 特殊機能床 (6.8.2~4)(表6.8.1)
⑭ 16 ビニル幅木	⑭ 16 ビニル幅木 (6.8.2~4)(表6.8.1)
17 ゴム床タイル	17 ゴム床タイル (6.8.2~4)(表6.8.2)
18 カーペット敷き	18 カーペット敷き (6.9.2~3)(表6.9.1、2)

⑥ 19 合成樹脂塗床	⑥ 19 合成樹脂塗床 (6.10.2~4)(表6.10.1~8)
⑯ 20 フローリング張り	⑯ 20 フローリング張り (6.11.2~7)(表6.11.1~6)
21 畳敷き	21 畳敷き (6.12.2、3)(表6.12.1)
⑰ 22 セッコウボード その他のボード 及び合板張り	⑰ 22 セッコウボード その他のボード 及び合板張り (6.13.2、3)(表6.13.1~5)

⑥ 23 壁紙張り	⑥ 23 壁紙張り (6.14.2、3)
⑱ 24 モルタル塗り	⑱ 24 モルタル塗り (6.15.2~6)(表6.15.1~3)
⑲ 25 タイル張り	⑲ 25 タイル張り (6.16.2~4)(表6.16.1~6)
26 セルフレベリング材塗り	26 セルフレベリング材塗り (6.17.2~5)(表6.17.1)
⑦ ①材料	⑦ ①材料 (7.1.3)
⑦ ②下地調整	⑦ ②下地調整 (7.2.1~7)

⑦ 3 錆止め塗料塗り	⑦ 3 錆止め塗料塗り (7.3.2、3)(表7.3.1~7.3.4)
④ 4 塗装	④ 4 塗装 (7.4.2~7.14.2)(表7.2.1~7.14.1)
工事名	可児市立東明小学校トイレ大規模改修工事(1期)
種別	改修工事特記仕様書-5
図面番号	A-05
縮尺	-
作成年月	令和6年10月
設計者	株式会社 廣建築設備設計
氏名印	一級建築士 第311227号 野内理仁

⑧ ユニット及びその他工事	1 フリーアクセスフロア [20.2.2]	<p>特記事項</p> <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>構法</th> <th>寸法(mm)</th> <th>高さ(mm)</th> <th>耐震性能</th> <th>所定荷重</th> <th>表面仕上材</th> </tr> <tr> <td></td> <td>・置数式 ・支柱調整柱</td> <td>・500×500</td> <td></td> <td>・1.0G ・0.6G</td> <td>・3000N ・5000N</td> <td>・帯電防止床タイル ・タイルカーペット</td> </tr> </table> <p>寸法精度 ※標準仕様書20.2.2(2)(f)(a)～(c)による</p> <p>パネルの長さ ※各辺の長さが500mmを超える場合 ±0.1%以内 500mm以下の場合 ±0.5mm以内</p> <p>パネルの平面形状(角度) ※各辺の長さが500mmを超える場合 ±0.1%以内 500mm以下の場合 ±0.5mm以内</p> <p>フリーアクセスフロアの高さ ※±0.5mm以内</p> <p>(品質・性能及び試験方法) 建築材料・設備機材等品質性能評価事業(一般社団法人 公共建築協会)における「評価の内容」による</p>	施工箇所	構法	寸法(mm)	高さ(mm)	耐震性能	所定荷重	表面仕上材		・置数式 ・支柱調整柱	・500×500		・1.0G ・0.6G	・3000N ・5000N	・帯電防止床タイル ・タイルカーペット	⑧ 表示 [20.2.10]	<p>特記事項</p> <p>・衝突防止表示 形状・寸法(・30φ・ ) 材質(・ステンレス製・ )</p> <p>案内用図記号はJIS Z 8210による。 誘導標識、非常用出入口等の表示 ・適用する(※消防法に適合する市販品・ ) ・適用しない 色、書体、印刷等の種別、取付け形式等 ※図示 その他の表示 ※図示</p>	⑧ 排水工事	3 グレーチング [21.2.1]	<table border="1"> <tr> <th>材質</th> <th>形式</th> <th>用途</th> <th>適用荷重</th> <th>メインバーピッチ</th> <th>垂鉛めつき(付着量)</th> <th>上面形状</th> </tr> <tr> <td>・鋼製</td> <td>・受枠付き、ボルト固定</td> <td>・溝ふた(横断用) ・溝ふた(側溝用) ・溝ふた用・U字溝用</td> <td>・歩行用 ・T-2用 ・T-6用 ・T-14用 ・T-20用</td> <td>・細目 ・普通目 ・細目</td> <td></td> <td>・凹凸形 ・平行形</td> </tr> <tr> <td>・ステンレス製</td> <td>・受枠付き、ボルト固定</td> <td>・溝ふた(横断用) ・溝ふた(側溝用) ・溝ふた用・U字溝用</td> <td>・歩行用 ・T-2用 ・T-6用 ・T-14用 ・T-20用</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>・凹凸形 ・平行形</td> </tr> </table> <p>(品質・性能及び荷重試験方法) 建築材料・設備機材等品質性能評価事業(一般社団法人 公共建築協会)における「評価の内容」による</p>	材質	形式	用途	適用荷重	メインバーピッチ	垂鉛めつき(付着量)	上面形状	・鋼製	・受枠付き、ボルト固定	・溝ふた(横断用) ・溝ふた(側溝用) ・溝ふた用・U字溝用	・歩行用 ・T-2用 ・T-6用 ・T-14用 ・T-20用	・細目 ・普通目 ・細目		・凹凸形 ・平行形	・ステンレス製	・受枠付き、ボルト固定	・溝ふた(横断用) ・溝ふた(側溝用) ・溝ふた用・U字溝用	・歩行用 ・T-2用 ・T-6用 ・T-14用 ・T-20用	—	—	・凹凸形 ・平行形
	施工箇所	構法	寸法(mm)	高さ(mm)	耐震性能	所定荷重	表面仕上材																																			
		・置数式 ・支柱調整柱	・500×500		・1.0G ・0.6G	・3000N ・5000N	・帯電防止床タイル ・タイルカーペット																																			
	材質	形式	用途	適用荷重	メインバーピッチ	垂鉛めつき(付着量)	上面形状																																			
	・鋼製	・受枠付き、ボルト固定	・溝ふた(横断用) ・溝ふた(側溝用) ・溝ふた用・U字溝用	・歩行用 ・T-2用 ・T-6用 ・T-14用 ・T-20用	・細目 ・普通目 ・細目		・凹凸形 ・平行形																																			
	・ステンレス製	・受枠付き、ボルト固定	・溝ふた(横断用) ・溝ふた(側溝用) ・溝ふた用・U字溝用	・歩行用 ・T-2用 ・T-6用 ・T-14用 ・T-20用	—	—	・凹凸形 ・平行形																																			
	2 可動間仕切 [20.2.3]	<table border="1"> <tr> <th>構造形式による種類</th> <th>構成基材の種類</th> <th>パネル表面仕上げ</th> <th>遮音性(dB/500Hz)</th> <th>防火性能</th> </tr> <tr> <td>・スタッド式(内蔵) ・スタッド式(露出) ・スタッドパネル式 ・パネル式</td> <td>スタッド パネル</td> <td>・メラミン樹脂焼付 又はアクリル樹脂焼付 ・壁紙張り ・</td> <td>・0 ・12 ・20 ・28 ・36</td> <td>・不燃</td> </tr> </table> <p>パネル内に取付ける建具・あり(※図示・ )・なし ドアクローザー、丁番、錠前、上げ落としては、標準仕様書16章8節の建具用金物に対応する材質とする。</p> <p>表面仕上材を壁紙張りとする場合の品質、性能は標準仕様書19章による パネル材料のホルムアルデヒド放散量 JIS A 6512によるF☆☆☆☆以上</p>	構造形式による種類	構成基材の種類	パネル表面仕上げ	遮音性(dB/500Hz)	防火性能	・スタッド式(内蔵) ・スタッド式(露出) ・スタッドパネル式 ・パネル式	スタッド パネル	・メラミン樹脂焼付 又はアクリル樹脂焼付 ・壁紙張り ・	・0 ・12 ・20 ・28 ・36	・不燃	9 煙突ライニング [20.2.11]	<p>特記事項</p> <p>煙突用成形ライニング材 種類 ・ゾノトライト系けい酸カルシウムライニング材 ・適用安全使用温度(上限温度) ・400℃ ・650℃ ・適用安全使用温度(下限温度) ・ (適用安全使用温度(上限温度)が400℃又は650℃の場合) 品質・性能及び試験方法 建築材料・設備機材等品質性能評価事業(一般社団法人 公共建築協会)における「評価の内容」による (適用安全使用温度(上限温度)が400℃又は650℃以外の場合) 品質・性能等</p>	4 街きよ、緑石、及び側溝 [21.3.1、2][表21.3.1]	<table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>形状、寸法</th> </tr> <tr> <td>・緑石</td> <td>※図示</td> </tr> <tr> <td>・L形側溝</td> <td>※図示</td> </tr> <tr> <td>・U形側溝</td> <td>※図示</td> </tr> <tr> <td>・U形側溝ふた</td> <td>※図示</td> </tr> <tr> <td></td> <td>※図示</td> </tr> </table> <p>砂利地業に用いる材料 ・再生クラッシュラン [G] ・切込砂利又は切込砕石 砂利地業の厚さ ※100(mm) ※図示 ・現場打ちの場合のコンクリート材料 設計基準強度 ※18N/mm<sup>2</sup> 凍上抑制層に用いる材料 ・ 砂の粒度試験 ・行う ・行わない</p>		種類		形状、寸法	・緑石	※図示	・L形側溝	※図示	・U形側溝	※図示	・U形側溝ふた	※図示		※図示												
構造形式による種類	構成基材の種類	パネル表面仕上げ	遮音性(dB/500Hz)	防火性能																																						
・スタッド式(内蔵) ・スタッド式(露出) ・スタッドパネル式 ・パネル式	スタッド パネル	・メラミン樹脂焼付 又はアクリル樹脂焼付 ・壁紙張り ・	・0 ・12 ・20 ・28 ・36	・不燃																																						
種類	形状、寸法																																									
・緑石	※図示																																									
・L形側溝	※図示																																									
・U形側溝	※図示																																									
・U形側溝ふた	※図示																																									
	※図示																																									
3 移動間仕切 [20.2.4]	<table border="1"> <tr> <th>走行方向</th> <th>操作方法による種類</th> <th>パネル圧接装置の操作方法</th> <th>総厚さ(mm)</th> <th>パネル表面材</th> <th>遮音性(dB/500Hz)</th> </tr> <tr> <td>・平行方向 移動式 ・二方向 移動式</td> <td>・手動式 ・電動式 ・部分電動式</td> <td>・プッシュ式 ・ハンドル式</td> <td></td> <td>・鋼板 ・焼付塗装 ・壁紙張り</td> <td>・36未満 ・36以上</td> </tr> </table> <p>パネル表面仕上げの壁紙張りの品質、性能は標準仕様書19章による 遮音性能は、JIS A 6512に準拠し、中心周波数500Hzの音についての透過損失とする ハンガーレールの取付け下地の補強 ※取付け全重量の5倍以上の荷重に対して、使用上支障のない耐力及び変形量となるように補強する。</p> <p>ランナー ※パネル重量の5倍の荷重を、パネル1枚に使用するランナー数で除した値に対して、耐力及び変形量が使用上支障のないものとする。</p> <p>(品質・性能) 建築材料・設備機材等品質性能評価事業(一般社団法人 公共建築協会)における「評価の内容」による</p>	走行方向	操作方法による種類	パネル圧接装置の操作方法	総厚さ(mm)	パネル表面材	遮音性(dB/500Hz)	・平行方向 移動式 ・二方向 移動式	・手動式 ・電動式 ・部分電動式	・プッシュ式 ・ハンドル式		・鋼板 ・焼付塗装 ・壁紙張り	・36未満 ・36以上	10 ブラインド [20.2.12]	<table border="1"> <tr> <th>形式</th> <th>操作方法</th> <th>種類</th> <th>スラットの材質</th> <th>行外幅(mm)</th> <th>ボック・レールの材質</th> <th>幅・高さ</th> </tr> <tr> <td>・横形</td> <td>・手動</td> <td>※ギヤ式 ・コード式 ・操作棒式</td> <td>※アルミニウム合金製 [G]</td> <td>※25</td> <td>※鋼製</td> <td>・図示</td> </tr> <tr> <td>・縦形</td> <td>・手動 ・電動</td> <td>※2本操作コード式 ・1本操作コード式</td> <td>・アルミスラット ・クロススラット</td> <td>・80 ・100</td> <td>アルミニウム合金製</td> <td>・図示</td> </tr> </table> <p>スラットの材質 ・アルミスラット 焼付け塗装仕上げ ・クロススラット 消防法で定める防火性能の表示がある特殊樹脂加工 ポリエステル繊維又は植物を原料とする合成繊維を使用した製品を使用する場合は [G] とする。</p>	形式	操作方法	種類	スラットの材質	行外幅(mm)	ボック・レールの材質	幅・高さ	・横形	・手動	※ギヤ式 ・コード式 ・操作棒式	※アルミニウム合金製 [G]	※25	※鋼製	・図示	・縦形	・手動 ・電動	※2本操作コード式 ・1本操作コード式	・アルミスラット ・クロススラット	・80 ・100	アルミニウム合金製	・図示	5 埋戻し土 [21.2.1]	<p>※B種</p>				
走行方向	操作方法による種類	パネル圧接装置の操作方法	総厚さ(mm)	パネル表面材	遮音性(dB/500Hz)																																					
・平行方向 移動式 ・二方向 移動式	・手動式 ・電動式 ・部分電動式	・プッシュ式 ・ハンドル式		・鋼板 ・焼付塗装 ・壁紙張り	・36未満 ・36以上																																					
形式	操作方法	種類	スラットの材質	行外幅(mm)	ボック・レールの材質	幅・高さ																																				
・横形	・手動	※ギヤ式 ・コード式 ・操作棒式	※アルミニウム合金製 [G]	※25	※鋼製	・図示																																				
・縦形	・手動 ・電動	※2本操作コード式 ・1本操作コード式	・アルミスラット ・クロススラット	・80 ・100	アルミニウム合金製	・図示																																				
④ トイレブース [20.2.4]	<table border="1"> <tr> <th rowspan="2">表面材の材料</th> <th colspan="2">脚部</th> <th colspan="2">ドアエッジ</th> </tr> <tr> <th>形状</th> <th>形状</th> <th>材質</th> <th>材質</th> </tr> <tr> <td>○メラミン樹脂系化粧板 ・ポリエステル樹脂系化粧板</td> <td>○幅木タイプ ・アジャスター ※R</td> <td>・標準 ・ ※R</td> <td>○アルミニウム製 ・ステンレス製 ・表面材と同材</td> <td></td> </tr> </table> <p>パネル材料のホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外 (品質・性能及び試験方法) 建築材料・設備機材等品質性能評価事業(一般社団法人 公共建築協会)における「評価の内容」による</p>	表面材の材料	脚部		ドアエッジ		形状	形状	材質	材質	○メラミン樹脂系化粧板 ・ポリエステル樹脂系化粧板	○幅木タイプ ・アジャスター ※R	・標準 ・ ※R	○アルミニウム製 ・ステンレス製 ・表面材と同材		11 ロールスクリーン [G] [20.2.13]	<p>特記事項</p> <p>操作方式 ・スプリング式 ・コード式 ・電動式 幅・高さ ※図示 材質 ・ガラス繊維製 ・合成・天然繊維製 ・木製 品質等 その他の材料 ※ロールスクリーンの製造所の仕様による</p>	10 その他(舗装工事)	1 路床 [22.2.2、3、5][表22.2.1]	<p>路床の材料</p> <table border="1"> <tr> <th>種別</th> <th>材料</th> <th>厚さ(mm)</th> </tr> <tr> <td>・盛土</td> <td>・A種 ・B種 ・C種 ・D種</td> <td>※図示</td> </tr> <tr> <td>・凍上抑制層</td> <td>・再生クラッシュラン ・クラッシュラン ・切込み砂利 ・砂</td> <td>※図示</td> </tr> <tr> <td>・フィルター層</td> <td>・砂</td> <td>※図示</td> </tr> </table> <p>・路床安定処理 安定処理の方法 ・置換え工法 ・安定処理工法 路床安定化処理用添加材料 種類 ・普通ポルトランドセメント ・高炉セメントB種 [G] ・フライアッシュセメントB種 ・生石灰( ) ・消石灰( ) 添加量 kg/m<sup>3</sup>(目標CBR ・3以上 ) ・3オテキスタイル 単位面積質量 ・60g/m<sup>2</sup>以上 厚さ(mm) ・0.5~1.0 引張強さ ・98N/5cm(10kgf/5cm)以上 透水係数 ・1.5×10<sup>-6</sup>cm/sec以上</p> <p>試験 砂の粒度試験 ・行う ・行わない 路床土の支持力比(SBR)試験 ・行う ・行わない 路床締固め度の試験 ・行う ・行わない 現場CBR試験 ・行う ・行わない</p>	種別	材料	厚さ(mm)	・盛土	・A種 ・B種 ・C種 ・D種	※図示	・凍上抑制層	・再生クラッシュラン ・クラッシュラン ・切込み砂利 ・砂	※図示	・フィルター層	・砂	※図示										
表面材の材料	脚部		ドアエッジ																																							
	形状	形状	材質	材質																																						
○メラミン樹脂系化粧板 ・ポリエステル樹脂系化粧板	○幅木タイプ ・アジャスター ※R	・標準 ・ ※R	○アルミニウム製 ・ステンレス製 ・表面材と同材																																							
種別	材料	厚さ(mm)																																								
・盛土	・A種 ・B種 ・C種 ・D種	※図示																																								
・凍上抑制層	・再生クラッシュラン ・クラッシュラン ・切込み砂利 ・砂	※図示																																								
・フィルター層	・砂	※図示																																								
⑤ 階段滑り止め [20.2.6]	<p>特記事項</p> <p>材質 ○ステンレス製 ・黄銅製押出型材 ・アルミニウム製押出型材 滑り止め材 形状 ・ひも型 ○タイヤ型 材質 ・ゴム又は合成樹脂 取付け工法 ※接着工法 ・埋め込み工法 幅(40)mm 端部フラットエンド(・あり・なし)</p>	12 カーテン [20.2.14]	<table border="1"> <tr> <th>形式</th> <th>開閉操作</th> <th>ひだの種類</th> <th>きれ地の種別、品質、特殊加工等</th> <th>取付箇所</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>・シングル ・ダブル</td> <td>・片引き ・手引き ・電動</td> <td>・フランスひだ ・箱ひだ、つまひだ ・ブレンひだ、片ひだ</td> <td></td> <td>・図示</td> <td>(省略)</td> </tr> </table> <p>ポリエステル繊維又は植物を原料とする合成繊維を使用した製品を使用する場合は [G] とする。 暗幕カーテンの両端、上部及び召合せの重なり ※300mm以上</p>	形式	開閉操作	ひだの種類	きれ地の種別、品質、特殊加工等	取付箇所	備考	・シングル ・ダブル	・片引き ・手引き ・電動	・フランスひだ ・箱ひだ、つまひだ ・ブレンひだ、片ひだ		・図示	(省略)	2 路盤 [22.2.2、3、5][表22.3.1]	<p>路盤の厚さ ※図示 路盤材料</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>種類</th> </tr> <tr> <td>砕石</td> <td>・クラッシュラン ・粒度調整砕石</td> </tr> <tr> <td>再生材</td> <td>・クラッシュラン [G] ・粒度調整砕石 [G]</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・クラッシュラン鉄鋼スラグ [G] ・粒度調整鉄鋼スラグ [G] ・水硬性粒度調整鉄鋼スラグ [G]</td> </tr> </table>	種類	種類	砕石	・クラッシュラン ・粒度調整砕石	再生材	・クラッシュラン [G] ・粒度調整砕石 [G]		・クラッシュラン鉄鋼スラグ [G] ・粒度調整鉄鋼スラグ [G] ・水硬性粒度調整鉄鋼スラグ [G]																	
形式	開閉操作	ひだの種類	きれ地の種別、品質、特殊加工等	取付箇所	備考																																					
・シングル ・ダブル	・片引き ・手引き ・電動	・フランスひだ ・箱ひだ、つまひだ ・ブレンひだ、片ひだ		・図示	(省略)																																					
種類	種類																																									
砕石	・クラッシュラン ・粒度調整砕石																																									
再生材	・クラッシュラン [G] ・粒度調整砕石 [G]																																									
	・クラッシュラン鉄鋼スラグ [G] ・粒度調整鉄鋼スラグ [G] ・水硬性粒度調整鉄鋼スラグ [G]																																									
⑥ 手すり [20.2.8]	<table border="1"> <tr> <th>材質</th> <th>表面仕上げ</th> <th>直径(mm)</th> <th>取付箇所</th> </tr> <tr> <td>・集成材 ・ステンレスパイプ ・鋼製パイプ ・ビニル製ハンドレール ○アルミ樹脂被覆</td> <td>・カワカワ ・2-UC ・HL ・SOP ・DP ○図示</td> <td>・35 ○34</td> <td>○図示</td> </tr> </table> <p>黒板区分種類色 ・黒板 区分 ※焼き付け 種類 ・鋼製黒板 ・ほうろう黒板 色 ※緑 ・ホワイトボード</p>	材質	表面仕上げ	直径(mm)	取付箇所	・集成材 ・ステンレスパイプ ・鋼製パイプ ・ビニル製ハンドレール ○アルミ樹脂被覆	・カワカワ ・2-UC ・HL ・SOP ・DP ○図示	・35 ○34	○図示	13 カーテンレール [20.2.14]	<p>特記事項</p> <p>材料による区分 ※アルミニウム又はアルミニウム合金の押し成型材 強さによる区分 ※10-90 仕上げ ※アルマイト 形状 ※角形</p> <p>溝型×深さ(mm) ・150×80 ・120×80 ・120×150 ・180×150 ・図示 材質 ・集成材(仕上げ) ・アルミニウム製 押し成型材(市販品) 表面処理 種別(標準仕様書表14.2.1) ・BC-1種 色合い ・鋼製(仕上げ)</p>	3 アスファルト舗装 [22.4.2~6][表 22.4.4]	<p>アスファルト舗装の構成及び厚さ ※図示 材料及び種類 アスファルト ・再生アスファルト [G] ( ・60~80 ・80~100 ) ・ストレートアスファルト 骨材 ・道路用砕石 ・アスファルトコンクリート再生骨材 [G]</p> <p>加熱アスファルト混合物等の種類 ・密粒度アスファルト混合物(13) ・細粒度アスファルト混合物(13F) ・密粒度アスファルト混合物(13F)</p> <p>シールコートの乳剤の種類 ・PK-1 ・PK-2 試験 アスファルト混合物等の抽出試験 ・行う ・行わない 舗装の平たん性 ※通行の支障となる水たまりを生じない程度</p>																													
材質	表面仕上げ	直径(mm)	取付箇所																																							
・集成材 ・ステンレスパイプ ・鋼製パイプ ・ビニル製ハンドレール ○アルミ樹脂被覆	・カワカワ ・2-UC ・HL ・SOP ・DP ○図示	・35 ○34	○図示																																							
7 黒板及びホワイトボード [G] [20.2.8]	<p>特記事項</p> <p>・黒板 区分 ※焼き付け 種類 ・鋼製黒板 ・ほうろう黒板 色 ※緑 ・ホワイトボード</p>	14 ブラインドボックス及びカーテンボックス [20.2.14]	<table border="1"> <tr> <th>材質</th> <th>寸法</th> <th>形式</th> <th>外枠</th> <th>内枠</th> </tr> <tr> <td>○アルミニウム製 ・アルミニウム製 ・ステンレス製 ・鋼製</td> <td>○450×450 ○600×600 ・</td> <td>○一般形 ○屋内外用 ○屋内用 ・気密形</td> <td>○緑線タイプ ○目地タイプ</td> <td>○緑線タイプ ○目地タイプ</td> </tr> </table> <p>(品質・性能及び試験方法) 建築材料・設備機材等品質性能評価事業(一般社団法人 公共建築協会)における「評価の内容」による</p>	材質	寸法	形式	外枠	内枠	○アルミニウム製 ・アルミニウム製 ・ステンレス製 ・鋼製	○450×450 ○600×600 ・	○一般形 ○屋内外用 ○屋内用 ・気密形	○緑線タイプ ○目地タイプ	○緑線タイプ ○目地タイプ	1 屋外雨水排水 [21.2.1、2][表21.2.1、2]	<p>特記事項</p> <p>材料</p> <table border="1"> <tr> <th>材質</th> <th>種類・記号</th> <th>形状</th> <th>呼び径</th> </tr> <tr> <td>・遠心力鉄筋コンクリート管</td> <td>外圧管(1種)</td> <td>・B形管</td> <td>・図示</td> </tr> <tr> <td>・硬質ポリ塩化ビニル管</td> <td>・VP ・VU ・RS-VU [G]</td> <td></td> <td>・図示 ・図示 ・図示</td> </tr> </table> <p>基礎の厚さ及び種類 ※図示 硬質ポリ塩化ビニル管の継手に用いる材料 ※接着剤 側溝の形状及び寸法 ※図示 排水溝の種類 ※図示 砂地業に用いる材料 ・シルト ・山砂 ・川砂 ・砕砂 砂利地業に用いる材料 ・再生クラッシュラン [G] ・切込砂利又は切込砕石 ・現場打ちの場合のコンクリート材料 設計基準強度 ※18N/mm<sup>2</sup> ・現場打ちの場合の鉄筋 種類の記号 ※S0295A ・現場打ちの場合の足掛け金物 ※標準仕様書21.2.2(6)(f) 材質 ・ステンレス製 ・鋼製 ・合成樹脂被覆加工されたもの 凍上抑制層に用いる材料 ・ 砂の粒度試験 ・行う ・行わない</p>	材質	種類・記号	形状	呼び径	・遠心力鉄筋コンクリート管	外圧管(1種)	・B形管	・図示	・硬質ポリ塩化ビニル管	・VP ・VU ・RS-VU [G]		・図示 ・図示 ・図示															
材質	寸法	形式	外枠	内枠																																						
○アルミニウム製 ・アルミニウム製 ・ステンレス製 ・鋼製	○450×450 ○600×600 ・	○一般形 ○屋内外用 ○屋内用 ・気密形	○緑線タイプ ○目地タイプ	○緑線タイプ ○目地タイプ																																						
材質	種類・記号	形状	呼び径																																							
・遠心力鉄筋コンクリート管	外圧管(1種)	・B形管	・図示																																							
・硬質ポリ塩化ビニル管	・VP ・VU ・RS-VU [G]		・図示 ・図示 ・図示																																							
⑧ 手すり [20.2.8]	<table border="1"> <tr> <th>材質</th> <th>表面仕上げ</th> <th>直径(mm)</th> <th>取付箇所</th> </tr> <tr> <td>・集成材 ・ステンレスパイプ ・鋼製パイプ ・ビニル製ハンドレール ○アルミ樹脂被覆</td> <td>・カワカワ ・2-UC ・HL ・SOP ・DP ○図示</td> <td>・35 ○34</td> <td>○図示</td> </tr> </table> <p>黒板区分種類色 ・黒板 区分 ※焼き付け 種類 ・鋼製黒板 ・ほうろう黒板 色 ※緑 ・ホワイトボード</p>	材質	表面仕上げ	直径(mm)	取付箇所	・集成材 ・ステンレスパイプ ・鋼製パイプ ・ビニル製ハンドレール ○アルミ樹脂被覆	・カワカワ ・2-UC ・HL ・SOP ・DP ○図示	・35 ○34	○図示	15 天井点検口 [20.2.14]	<table border="1"> <tr> <th>材質</th> <th>寸法</th> <th>形式</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>・アルミニウム製 ・ステンレス製 ・鋼製</td> <td>・450×450 ・600×600 ・</td> <td>・一般形 ・屋内外用 ・密閉形</td> <td>・鍵付き</td> </tr> </table> <p>密閉型とは、ボルト、ナット等メカニカル構造にパッキンを装着したもとする (品質・性能及び試験方法) 建築材料・設備機材等品質性能評価事業(一般社団法人 公共建築協会)における「評価の内容」による</p>	材質	寸法	形式	備考	・アルミニウム製 ・ステンレス製 ・鋼製	・450×450 ・600×600 ・	・一般形 ・屋内外用 ・密閉形	・鍵付き	2 鋼鉄製ふた [21.2.1]	<table border="1"> <tr> <th>名称</th> <th>種類</th> <th>適用荷重</th> <th>鍵</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td>鋼鉄製 マンホール ふた</td> <td>・水封形 ・簡易密閉形(パッキン式) ・密閉形(テーパー・パッキン式) ・中ふた付き密閉形(テーパー・パッキン式)</td> <td>・T-2用 ・T-6用 ・T-20用</td> <td>・有り ・無し</td> <td>左記以外の品質等は(公社)空気調和衛生工学会SHASE-S209による</td> </tr> </table>	名称	種類	適用荷重	鍵	備考	鋼鉄製 マンホール ふた	・水封形 ・簡易密閉形(パッキン式) ・密閉形(テーパー・パッキン式) ・中ふた付き密閉形(テーパー・パッキン式)	・T-2用 ・T-6用 ・T-20用	・有り ・無し	左記以外の品質等は(公社)空気調和衛生工学会SHASE-S209による											
材質	表面仕上げ	直径(mm)	取付箇所																																							
・集成材 ・ステンレスパイプ ・鋼製パイプ ・ビニル製ハンドレール ○アルミ樹脂被覆	・カワカワ ・2-UC ・HL ・SOP ・DP ○図示	・35 ○34	○図示																																							
材質	寸法	形式	備考																																							
・アルミニウム製 ・ステンレス製 ・鋼製	・450×450 ・600×600 ・	・一般形 ・屋内外用 ・密閉形	・鍵付き																																							
名称	種類	適用荷重	鍵	備考																																						
鋼鉄製 マンホール ふた	・水封形 ・簡易密閉形(パッキン式) ・密閉形(テーパー・パッキン式) ・中ふた付き密閉形(テーパー・パッキン式)	・T-2用 ・T-6用 ・T-20用	・有り ・無し	左記以外の品質等は(公社)空気調和衛生工学会SHASE-S209による																																						

工事名	可児市立東明小学校トイレ大規模改造工事(1期)		
種別	改修工事特記仕様書-6	図面番号	A-06
縮尺	-	作成年月	令和6年10月
設計者	株式会社 廣建築設備設計		
氏名印	一級建築士 第311227号 野内理仁		

章	項目	特記事項	章	項目	特記事項	章	項目	特記事項	章	項目	特記事項																																																																																																																																													
12	①石綿含有建材の除去工事	<p>施工調査</p> <p>※石綿含有建材の事前調査</p> <p>工事着手に先立ち、目視及び貸与する設計図書等により石綿を含有している吹付け材、成形板、建築材料等の使用の有無について調査する</p> <p>調査範囲 (○ 内部改修範囲 ・ 図示 )</p> <p>貸与資料 ( なし )</p> <p>・分析による石綿含有建材の調査</p> <p>分析対象</p> <p>アクチノライト、アモサイト、アンソフィライト、クリソタイト、クロシドライト、トレモライト</p> <p>分析方法</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">材 料 名</th> <th colspan="2">定性分析方法</th> <th colspan="2">定量分析方法</th> </tr> <tr> <th>JIS A 1481-1 または JIS A 1481-2</th> <th>JIS A 1481-3 または JIS A 1481-4</th> <th>JIS A 1481-1 または JIS A 1481-2</th> <th>JIS A 1481-3 または JIS A 1481-4</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>・箇所数( )</td> <td>・箇所数( )</td> <td>・箇所数( )</td> <td>・箇所数( )</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・箇所数( )</td> <td>・箇所数( )</td> <td>・箇所数( )</td> <td>・箇所数( )</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・箇所数( )</td> <td>・箇所数( )</td> <td>・箇所数( )</td> <td>・箇所数( )</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・箇所数( )</td> <td>・箇所数( )</td> <td>・箇所数( )</td> <td>・箇所数( )</td> </tr> </tbody> </table> <p>サンプル数 1箇所あたり3サンプル</p> <p>採取箇所 ・ 図示 ・</p> <p>・石綿粉じん濃度測定</p> <p>測定時期、場所及び測定点</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>適用</th> <th>測定名称</th> <th>測定時期</th> <th>測定場所</th> <th>測定箇所数 (各施工箇所ごと)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>測定 1</td> <td>処理作業前</td> <td>処理作業室内</td> <td>計 点</td> </tr> <tr> <td></td> <td>測定 2</td> <td>処理作業前</td> <td>調査対象室外部の付近</td> <td>計 点</td> </tr> <tr> <td></td> <td>測定 3</td> <td>処理作業中</td> <td>処理作業室内</td> <td>計 点</td> </tr> <tr> <td></td> <td>測定 4</td> <td>処理作業中</td> <td>セキュリティーゾーン入口</td> <td>計 点</td> </tr> <tr> <td></td> <td>測定 5</td> <td>処理作業中</td> <td>集じん・排気装置の排出口 (処理作業室外の場合)</td> <td>出口吹出し風速 1m/s以下の位置 計 点</td> </tr> <tr> <td></td> <td>測定 6</td> <td>処理作業後</td> <td>処理作業室外</td> <td>計 点</td> </tr> <tr> <td></td> <td>測定 7</td> <td>処理作業後 (シート養生中)</td> <td>処理作業室内</td> <td>計 点</td> </tr> <tr> <td></td> <td>測定 8</td> <td>処理作業後 (シート撤去後)</td> <td>処理作業室内</td> <td>計 点</td> </tr> <tr> <td></td> <td>測定 9</td> <td>1週間以降</td> <td>調査対象室外部の付近</td> <td>計 点</td> </tr> </tbody> </table> <p>測定方法</p> <p>・自動測定器による測定</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>測定名称</th> <th>測定方法</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>測定 4</td> <td>粉じん相対濃度計(デジタル粉じん計)、パーティクルカウンター、繊維状粒子自動測定器(リアルタイムファイバーモニター)等の粉じんを迅速に測定できる機器を用いた測定</td> </tr> </tbody> </table> <p>・JIS K 3850-11に基づいた測定</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>測定名称</th> <th>メンブレンフィルタ 直径(mm)</th> <th>試料の吸引流量 (L/min)</th> <th>試料の吸引時間 (min)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>測定 4</td> <td>25</td> <td>5</td> <td>30</td> </tr> <tr> <td>測定 5</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>・</td> <td>47</td> <td>10</td> <td>120</td> </tr> <tr> <td>・</td> <td>47</td> <td>10</td> <td>240</td> </tr> <tr> <td>・</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>石綿含有建材の処理</p> <p>・石綿含有吹付け材の除去</p> <p>除去対象範囲 ・ 図示 ・</p> <p>除去工法 ※9.1.3 (2) (7)による</p> <p>除去した石綿含有吹付け材等の飛散防止措置</p> <p>※湿潤化 ・ 固形化</p> <p>除去した石綿含有吹付け材等の処分</p> <p>・埋立処分 (管理型最終処分場)</p> <p>・中間処理 (溶融施設又は無害化処理施設)</p> <p>・石綿含有保温材等の除去</p> <p>除去対象範囲 ・ 図示 ・</p> <p>除去工法 ・ 破砕して除去 ・ 手ばらし</p> <p>除去した石綿含有保温材等の飛散防止</p> <p>※湿潤化 ・ 固形化</p> <p>除去した石綿含有保温材等の処分</p> <p>・埋立処分 (管理型最終処分場)</p> <p>・中間処理 (溶融施設又は無害化処理施設)</p> <p>○石綿含有成型板の除去</p> <p>除去対象範囲 ・ 図示 ・</p> <p>除去した石綿含有成型板の処分</p> <p>・石綿含有せつこうボード</p> <p>※埋立処分 (管理型最終処分場)</p> <p>○石綿含有せつこうボードを除く石綿含有成型板</p> <p>○埋立処分 (安定型最終処分場)</p> <p>・中間処理 (溶融施設又は無害化処理施設)</p> <p>石綿含有建材除去後の仕上げ工事 ○ 図示 ・</p>	材 料 名	定性分析方法		定量分析方法		JIS A 1481-1 または JIS A 1481-2	JIS A 1481-3 または JIS A 1481-4	JIS A 1481-1 または JIS A 1481-2	JIS A 1481-3 または JIS A 1481-4		・箇所数( )	・箇所数( )	・箇所数( )	・箇所数( )		・箇所数( )	・箇所数( )	・箇所数( )	・箇所数( )		・箇所数( )	・箇所数( )	・箇所数( )	・箇所数( )		・箇所数( )	・箇所数( )	・箇所数( )	・箇所数( )	適用	測定名称	測定時期	測定場所	測定箇所数 (各施工箇所ごと)		測定 1	処理作業前	処理作業室内	計 点		測定 2	処理作業前	調査対象室外部の付近	計 点		測定 3	処理作業中	処理作業室内	計 点		測定 4	処理作業中	セキュリティーゾーン入口	計 点		測定 5	処理作業中	集じん・排気装置の排出口 (処理作業室外の場合)	出口吹出し風速 1m/s以下の位置 計 点		測定 6	処理作業後	処理作業室外	計 点		測定 7	処理作業後 (シート養生中)	処理作業室内	計 点		測定 8	処理作業後 (シート撤去後)	処理作業室内	計 点		測定 9	1週間以降	調査対象室外部の付近	計 点	測定名称	測定方法	測定 4	粉じん相対濃度計(デジタル粉じん計)、パーティクルカウンター、繊維状粒子自動測定器(リアルタイムファイバーモニター)等の粉じんを迅速に測定できる機器を用いた測定	測定名称	メンブレンフィルタ 直径(mm)	試料の吸引流量 (L/min)	試料の吸引時間 (min)	測定 4	25	5	30	測定 5				・	47	10	120	・	47	10	240	・				<p>2 断熱アスファルト防水改修工事 (9.2.2~3)</p> <p>3 外断熱改修工事 (9.3.2~4)</p> <p>3 ガラス改修工事 (9.4.2、3)</p> <p>4 断熱・防露改修工事 (9.5.2~4)</p> <p>5 屋上緑化改修工事 (9.6.2、3)</p>	<p>改修特記仕様書3章による</p> <p>断熱材</p> <p>断熱材の種類 ・</p> <p>断熱材の厚さ (mm) ・</p> <p>施工箇所 ・ 図示 ・</p> <p>ホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外 ・</p> <p>外装材</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種類</th> <th>防火性能</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>鋼材</p> <p>改修特記仕様書第8章 8-3 鉄骨工事 ・ 鋼材による</p> <p>笠木</p> <p>改修特記仕様書第3章 ・ アルミニウム製笠木による</p> <p>既存外壁の処置</p> <p>既存外壁仕上材の撤去 ・ あり ・ なし</p> <p>下地の清掃 ・ 行う ・ 行わない</p> <p>欠損部の改修工法 ・ 改修特記仕様書第4章 外壁改修工事による ・</p> <p>工法</p> <p>建築基準法に基づき定まる (・1 ・1.15 ・1.3) 倍の風圧力に対応した工法</p> <p>不陸等の下地調整 ・</p> <p>断熱材の施工 ・ 断熱材製造所の仕様による ・</p> <p>外装材の施工 ・ 外装材製造所の仕様による ・</p> <p>通気層の有無 ・ あり ( mm) ・ なし</p> <p>外装材の外壁への取付け ・ 図示 ・</p> <p>笠木の施工 ・ 改修特記仕様書第3章 アルミニウム製笠木による</p> <p>複層ガラス</p> <p>材料ガラスの種類及び厚さの組合せ並びに複層ガラスの厚さ</p> <p>・ 建具表による</p> <p>断熱性による区分</p> <p>・ T1 ・ T2 ・ T3 ・ T4 ・ T5 ・ T6</p> <p>日射取得性、日射遮蔽性による区分</p> <p>・ G ・ S</p> <p>乾燥気体の種類</p> <p>・ 空気 ・ アルゴン</p> <p>上記以外は、改修特記仕様書5章 建具改修工事による</p> <p>フェノールフォーム断熱材又は保温材、接着剤のホルムアルデヒド放散量</p> <p>※規制対象外 ・</p> <p>・ 断熱材打込み工法</p> <p>断熱材 JIS A 9521に基づき发泡プラスチック断熱材</p> <p>種類 ・</p> <p>厚さ (mm) ・</p> <p>施工箇所 ・</p> <p>・ 断熱材現場発泡工法</p> <p>断熱材の種類 ・ A種 1 ・ A種 1H ・</p> <p>吹き付け厚さ (mm) ・ 25 ・ 30 ・</p> <p>施工箇所 ・ 図示 ・</p> <p>(品質・性能及び試験方法)</p> <p>建築材料・設備機材等品質性能評価事業 (一般社団法人 公共建築協会) における「評価の内容」による</p> <p>植栽基盤及び材料</p> <p>屋上緑化軽量システム</p> <p>・ 適用する ・ 適用しない</p> <p>芝及び地被類の種類等 ※ 図示 ・</p> <p>見切り材、舗装材、排水孔、マルチング材等 ※ 図示 ・</p> <p>(品質・性能及び試験方法)</p> <p>建築材料・設備機材等品質性能評価事業 (一般社団法人 公共建築協会) における「評価の内容」による</p> <p>工法</p> <p>建築基準法に基づき定まる (・1 ・1.15 ・1.3) 倍の風圧力に対応した工法</p> <p>かん水装置 ・ 設置する (種類 ・ )</p> <p>既存保護層の撤去 ・ 行う ・ 行わない</p> <p>新植した芝及び地被類の枯補償の期間 ※ 引き渡しの日から1年 ・</p>	種類	防火性能	備考				<p>2 透水性アスファルト舗装改修工事 (9.7.2~5、9)</p> <p>既存舗装の撤去及び再利用 ※ 図示 ・</p> <p>路床</p> <p>路床の材料</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種別</th> <th>材料</th> <th>厚さ (mm)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・ 盛土</td> <td>・ A種 ・ B種 ・ C種 ・ D種</td> <td>・ 図示</td> </tr> <tr> <td>・ 凍上抑制層</td> <td>・ 建設汚泥から再生した処理土 [G]</td> <td>・ 図示</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・ 再生クラッシュチャラン [G] ・ クラッシュチャラン</td> <td>・ 図示</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・ 切込み砂利</td> <td>・ 図示</td> </tr> <tr> <td>・ フィルター層</td> <td>・ 砂</td> <td>・ 図示</td> </tr> </tbody> </table> <p>路床安定処理 ・ 適用する ・ 適用しない</p> <p>路床安定処理の方法 ・ 添加材料による安定処理 ・</p> <p>・ 添加材料による安定処理</p> <p>種類</p> <p>・ 普通ポルトランドセメント</p> <p>・ 高炉セメント B種 [D]</p> <p>・ フライアッシュセメント B種</p> <p>・ 生石灰 ( ・ 特号 ・ 1号 ) ・ 消石灰 ( ・ 特号 ・ 1号 )</p> <p>・</p> <p>添加量 ・ kg (目標 CBR ・ 3以上 ・ )</p> <p>目標 CBR を満足する添加量の確認方法</p> <p>・ 安定処理土の CBR 試験 ・</p> <p>・ ジオテキスタイル</p> <p>単位面積質量 ・ 60g/m2以上 ・</p> <p>厚さ (mm) ・ 0.5~1.0 ・</p> <p>引張強さ ・ 98N/5cm (10kgf/5cm) 以上 ・</p> <p>透水係数 ・ 1.5 × 10<sup>-2</sup> cm/sec以上 ・</p> <p>試験</p> <p>砂の粒度試験 ・ 行う ・ 行わない</p> <p>路床土の支持力比 (CBR) 試験 ・ 行う ・ 行わない</p> <p>現場 CBR 試験 ・ 行う ・ 行わない</p> <p>路床締固め度の試験 ・ 行う ・ 行わない</p> <p>路盤</p> <p>路盤の厚さ ・ 図示 ・</p> <p>路盤材料</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>種 類</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>砕石</td> <td>・ クラッシュチャラン</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・ 粒度調整砕石</td> </tr> <tr> <td>再生材</td> <td>・ クラッシュチャラン [G]</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・ 粒度調整砕石 [G]</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・ クラッシュチャラン鉄鋼スラグ [G]</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・ 粒度調整鉄鋼スラグ [G]</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・ 水硬性粒度調整鉄鋼スラグ [G]</td> </tr> </tbody> </table> <p>舗装の構成 ・ 図示</p> <p>開粒度アスファルト混合物等の抽出試験 ・ 行う ・ 行わない</p> <p>舗装の平坦性 ※ 著しい不陸がないもの ・</p>	種別	材料	厚さ (mm)	・ 盛土	・ A種 ・ B種 ・ C種 ・ D種	・ 図示	・ 凍上抑制層	・ 建設汚泥から再生した処理土 [G]	・ 図示		・ 再生クラッシュチャラン [G] ・ クラッシュチャラン	・ 図示		・ 切込み砂利	・ 図示	・ フィルター層	・ 砂	・ 図示	種 類		砕石	・ クラッシュチャラン		・ 粒度調整砕石	再生材	・ クラッシュチャラン [G]		・ 粒度調整砕石 [G]		・ クラッシュチャラン鉄鋼スラグ [G]		・ 粒度調整鉄鋼スラグ [G]		・ 水硬性粒度調整鉄鋼スラグ [G]
		材 料 名		定性分析方法		定量分析方法																																																																																																																																																		
JIS A 1481-1 または JIS A 1481-2	JIS A 1481-3 または JIS A 1481-4		JIS A 1481-1 または JIS A 1481-2	JIS A 1481-3 または JIS A 1481-4																																																																																																																																																				
	・箇所数( )	・箇所数( )	・箇所数( )	・箇所数( )																																																																																																																																																				
	・箇所数( )	・箇所数( )	・箇所数( )	・箇所数( )																																																																																																																																																				
	・箇所数( )	・箇所数( )	・箇所数( )	・箇所数( )																																																																																																																																																				
	・箇所数( )	・箇所数( )	・箇所数( )	・箇所数( )																																																																																																																																																				
適用	測定名称	測定時期	測定場所	測定箇所数 (各施工箇所ごと)																																																																																																																																																				
	測定 1	処理作業前	処理作業室内	計 点																																																																																																																																																				
	測定 2	処理作業前	調査対象室外部の付近	計 点																																																																																																																																																				
	測定 3	処理作業中	処理作業室内	計 点																																																																																																																																																				
	測定 4	処理作業中	セキュリティーゾーン入口	計 点																																																																																																																																																				
	測定 5	処理作業中	集じん・排気装置の排出口 (処理作業室外の場合)	出口吹出し風速 1m/s以下の位置 計 点																																																																																																																																																				
	測定 6	処理作業後	処理作業室外	計 点																																																																																																																																																				
	測定 7	処理作業後 (シート養生中)	処理作業室内	計 点																																																																																																																																																				
	測定 8	処理作業後 (シート撤去後)	処理作業室内	計 点																																																																																																																																																				
	測定 9	1週間以降	調査対象室外部の付近	計 点																																																																																																																																																				
測定名称	測定方法																																																																																																																																																							
測定 4	粉じん相対濃度計(デジタル粉じん計)、パーティクルカウンター、繊維状粒子自動測定器(リアルタイムファイバーモニター)等の粉じんを迅速に測定できる機器を用いた測定																																																																																																																																																							
測定名称	メンブレンフィルタ 直径(mm)	試料の吸引流量 (L/min)	試料の吸引時間 (min)																																																																																																																																																					
測定 4	25	5	30																																																																																																																																																					
測定 5																																																																																																																																																								
・	47	10	120																																																																																																																																																					
・	47	10	240																																																																																																																																																					
・																																																																																																																																																								
種類	防火性能	備考																																																																																																																																																						
種別	材料	厚さ (mm)																																																																																																																																																						
・ 盛土	・ A種 ・ B種 ・ C種 ・ D種	・ 図示																																																																																																																																																						
・ 凍上抑制層	・ 建設汚泥から再生した処理土 [G]	・ 図示																																																																																																																																																						
	・ 再生クラッシュチャラン [G] ・ クラッシュチャラン	・ 図示																																																																																																																																																						
	・ 切込み砂利	・ 図示																																																																																																																																																						
・ フィルター層	・ 砂	・ 図示																																																																																																																																																						
種 類																																																																																																																																																								
砕石	・ クラッシュチャラン																																																																																																																																																							
	・ 粒度調整砕石																																																																																																																																																							
再生材	・ クラッシュチャラン [G]																																																																																																																																																							
	・ 粒度調整砕石 [G]																																																																																																																																																							
	・ クラッシュチャラン鉄鋼スラグ [G]																																																																																																																																																							
	・ 粒度調整鉄鋼スラグ [G]																																																																																																																																																							
	・ 水硬性粒度調整鉄鋼スラグ [G]																																																																																																																																																							
工事名	可見市立東明小学校トイレ大規模改修工事(1期)																																																																																																																																																							
種 別	改修工事特記仕様書-7	図面番号	A-07																																																																																																																																																					
縮 尺	-	作成年月	令和 6 年 10 月																																																																																																																																																					
設計者	株式会社 廣建築設備設計																																																																																																																																																							
氏名印	一級建築士 第311227号 野内理仁																																																																																																																																																							

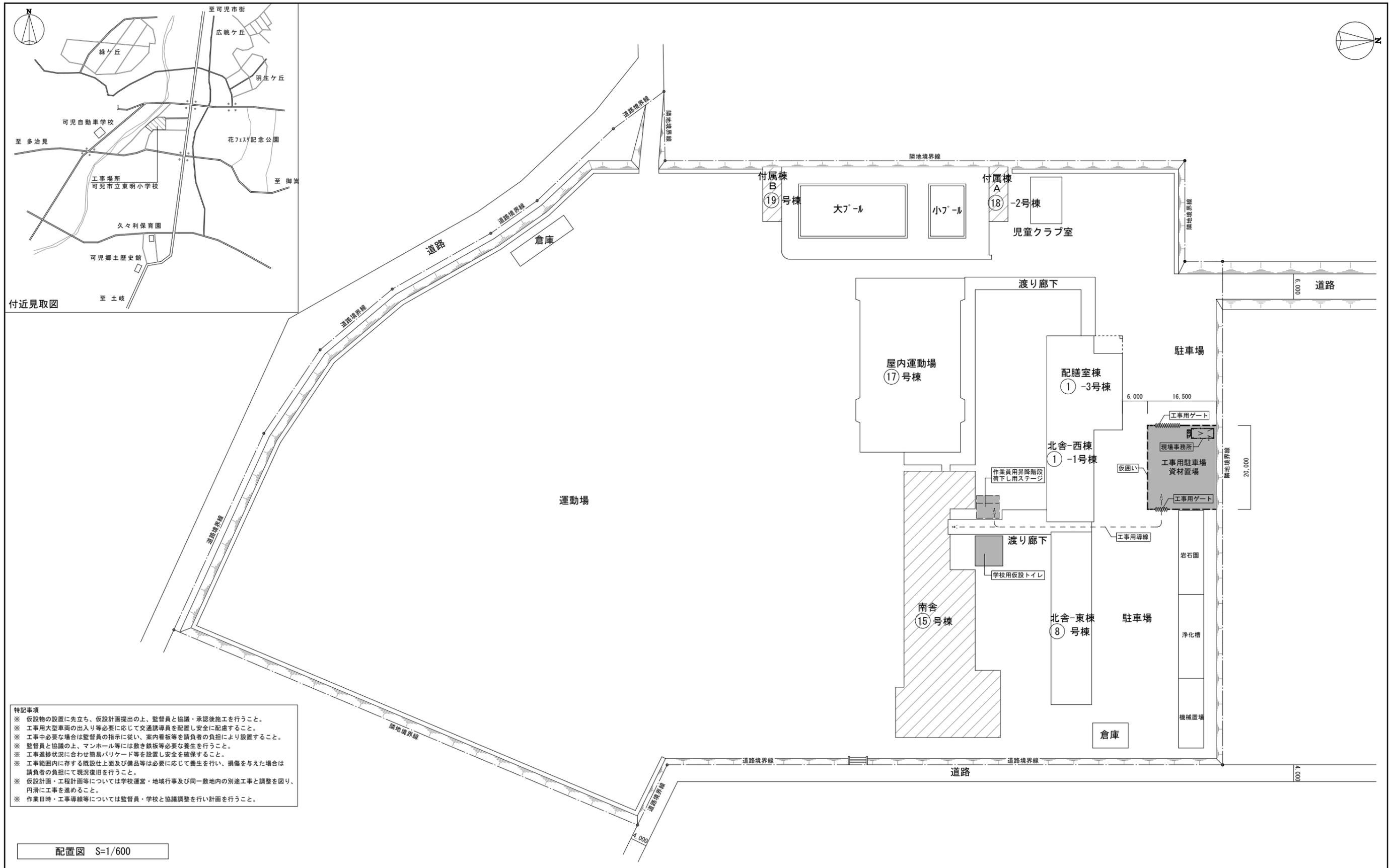
特記事項
(共通)
<ul style="list-style-type: none"> <li>建築基準法、消防法、水道法、下水道法、ガス事業法等、各関係法令に適合させること。岐阜県建築基準条例に適合させること。</li> <li>建築基準法 第28条の2に規定される建築材料は全て、JIS、JASに規定されるF☆☆☆☆等級の規格に適合したものを使用する。</li> <li>カーペット・カーテン等は防火認定品を使用すること。</li> <li>特記なき場合でも、当然必要と思われる部分には施工者の責任においてシーリングを施工すること。</li> <li>納まり上、防火壁に空隙が生じる場合は隙間にロックウールを充填すること。</li> <li>ポリスチレンフォーム保温板(2種b)の熱伝導率は0.034W/(m・k)以下とする。</li> <li>復旧を行う土間スラブはt=150とし、配筋はD13@200 縦横シングルとする。また、土間スラブ下には砕石t=100を敷込むものとする。</li> <li>屋内土間スラブ下の指定部分には防湿層(ポリエチレンフィルム t=0.15)のうえ断熱材(ポリスチレンフォーム保温板 t=25)を敷込むものとする。</li> <li>特記なき限り、間仕切壁下地は軽量鉄骨壁下地(LGS下地)65型とし、ライニング壁下地を100型とする。</li> <li>特記なき限り、天井下地は軽量鉄骨天井下地(LGS下地)19型(屋内)、25型(屋外)とする。</li> <li>仕上石膏ボードは経目処理工法(目地テープのうえパテ処理)とする。</li> <li>造付家具背面の壁仕上は下地石膏ボード張りまで行うものとする。</li> <li>造付家具底面の床仕上は、フローリング又はシート仕上の場合左官仕上げまで行うものとする。</li> <li>特記なき限り、塩ビ製廻り縁の形状は突付け型とする。</li> <li>化粧けい酸カルシウム板のジョイントは目地シール工法(防かび剤入り)とし、出隅・入隅・端部にはアルミ製ジョイナー(焼付塗装規格品)を使用する。</li> <li>けい酸カルシウム板はV目地品を使用し、突付貼りとする。</li> <li>特記なき限り下地に使用する合板(構造用合板・普通合板・シナ合板)はI類とする。</li> <li>特記なき限り使用する木材は見え掛りを上小節、見え隠れを特1等材とする。</li> <li>巾木廻り、トイレ面台・衛生機器廻り、流し台廻りその他家具等取合い部にはシーリングを施工すること。</li> <li>建築工事における手摺並びに別途工事における壁掛衛生器具等の取付箇所は下地に合板又は鉄板等の適切な補強を施工するものとする。</li> <li>天井面に設ける設備機器は軽量なものを除きすべて建築躯体から直接支持するよう設備工事施工者と協議・調整を行うものとする。</li> <li>既設躯体・仕上等撤去の際には既設部分と取合う部分へカッター施工の上撤去を行うものとする。</li> </ul>

工事区分表

番号	項目	建築	電気	機械	既設	別途	備考
1	工事用足場	●					
2	荷下し用ステー	●					
3	総合図の作成(見上げ、見下げ、展開)	●	●	●			
4	防火区画貫通箇所の防火処理		●	●			
5	設備機器取付け箇所の仕上切込み		●	●			
6	└ 下地補強	●					
7	天井吊り機器・配管の吊金具		●	●			
8	電気引込				●		引込柱共
9	構内ハンドホール				●		
10	キュービクル				●		
11	└ 架台				●		
12	└ 基礎				●		
13	└ 外柵				●		
14	建物内分電盤				●		
15	└ 構内配線・配管		●		●		
16	水道引込				●		
17	└ 建物側仕切弁				●		
18	└ 建物側の給水管				●		
19	受水槽				●		加圧ポンプ共
20	└ 基礎				●		
21	└ 外柵				●		
22	下水道接続				●		
23	建物汚水最終マス及び接続排水管				●		
24	換気設備			●			ウェザーカバー共
25	└ ダクト・ボックス			●			
26	└ アルミサッシ改造	●					
27	ガス設備				●		
28	└ ガスボンベ収納庫				●		
29	└ 基礎				●		
30	└ ガスボンベ架台				●		集合装置・メーター・転倒防止共
31	火災報知設備		●		●		
32	屋内消火栓設備			●			
33	└ 収納ボックス扉			●			
34	└ 配管			●			
35	└ 電気配線		●				
36	消火器			●	●		
37	└ 収納ボックス			●	●		
38	衛生機器			●			
39	└ 電源		●				
40	└ 取付下地補強	●					
41	トイレ手摺			●			
42	トイレ化粧鏡			●			
43	トイレ洗面カウンター			●			フロントパネル共
44	トイレ掃除流し			●			
45	掃除用具掛け			●			

番号	項目	建築	電気	機械	既設	別途	備考
46	造り付け流し台	●					
47	└ 排水トラップ	●					
48	└ 水栓金具			●			
49	└ 配管・配線接続		●	●			
50	天井点検口	●					
51	階段手摺	●					
52	内部建具ガラリ	●					
53	ライニング壁	●					面台共
54	室名札・サイン	●					
55	撤去工事	●	●	●			
56	└ 躯体・土間コンクリート	●					
57	└ 内装材	●					
58	└ 建具・トイレブース	●					
59	└ 洋便器			●			
60	└ 和便器	●					躯体切断共
61	└ 小便器			●			
62	└ 掃除用流し			●			
63	└ 壁掛洗面器			●			
64	└ 洗面カウンター			●			
65	└ ステンレス流し	●					
66	└ 化粧鏡			●			
67	└ 屋内消火栓			●			
68	└ 照明器具		●				
69	└ 設備配管			●			
70	└ 水洗金具			●			
71	学校用仮設トイレ	●					
72	└ 仮設上屋	●					
73	└ 給排水配管(仮設トイレ)	●					
74	└ 給排水配管(手洗い流し)			●			
75	土間下配管用土工			●			
76	土間下砕石地業	●					
77	土間下断熱材	●					
78	土間下防湿材	●					
79	建設発生材処分	●					場外搬出処分
80	建設発生土処分			●			場外搬出処分
81	外構整備				●		
82	└ 埋設管改修に伴う舗装復旧		●	●			
83	既設備品等移動					●	
84							
85							
86							
87							
88							
89							
90							

工事名	可児市立東明小学校トイレ大規模改造工事(1期)		
種別	特記事項・工事区分表	図面番号	A-08
縮尺	-	作成年月	令和6年10月
設計者 氏名印	株式会社 廣建築設備設計 一級建築士 第311227号 野内理仁		



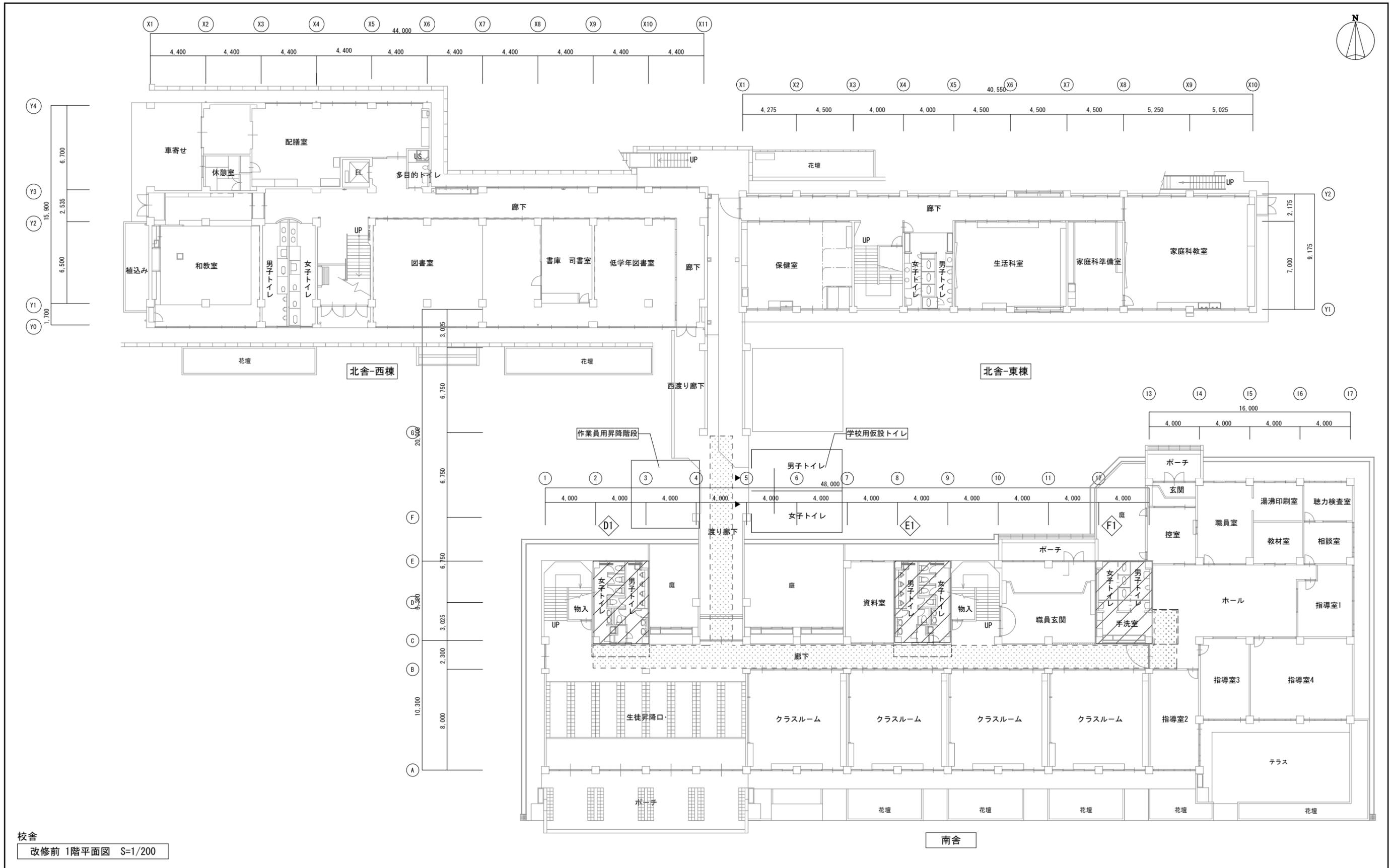
- 特記事項
- ※ 仮設物の設置に先立ち、仮設計画提出の上、監督員と協議・承認後施工を行うこと。
  - ※ 工事用大型車両の出入り等必要に応じて交通誘導員を配置し安全に配慮すること。
  - ※ 工事中必要な場合は監督員の指示に従い、案内看板等を請負者の負担により設置すること。
  - ※ 監督員と協議の上、マンホール等には敷き鉄板等必要な養生を行うこと。
  - ※ 工事進捗状況に合わせ簡易バリケード等を設置し安全を確保すること。
  - ※ 工事範囲内に存する既設仕上面及び備品等は必要に応じて養生を行い、損傷を与えた場合は請負者の負担にて現況復旧を行うこと。
  - ※ 仮設計画・工程計画等については学校運営・地域行事及び同一敷地内の別途工事と調整を図り、円滑に工事を進めること。
  - ※ 作業日時・工事導線等については監督員・学校と協議調整を行い計画を行うこと。

配置図 S=1/600

凡例		工事名	
	工事対象建物を示す	工事名	可児市立東明小学校トイレ大規模改造工事(1期)
	工事用ゲート キャスターゲート W=6000/3000×H=1800	種別	付近見取図 配置図兼仮設計画図
	仮囲い 成形鋼板 H=2000	縮尺	1/600
		作成年月	令和6年10月
		設計者	株式会社 廣建築設備設計
		氏名印	一級建築士 第311227号 野内雅仁

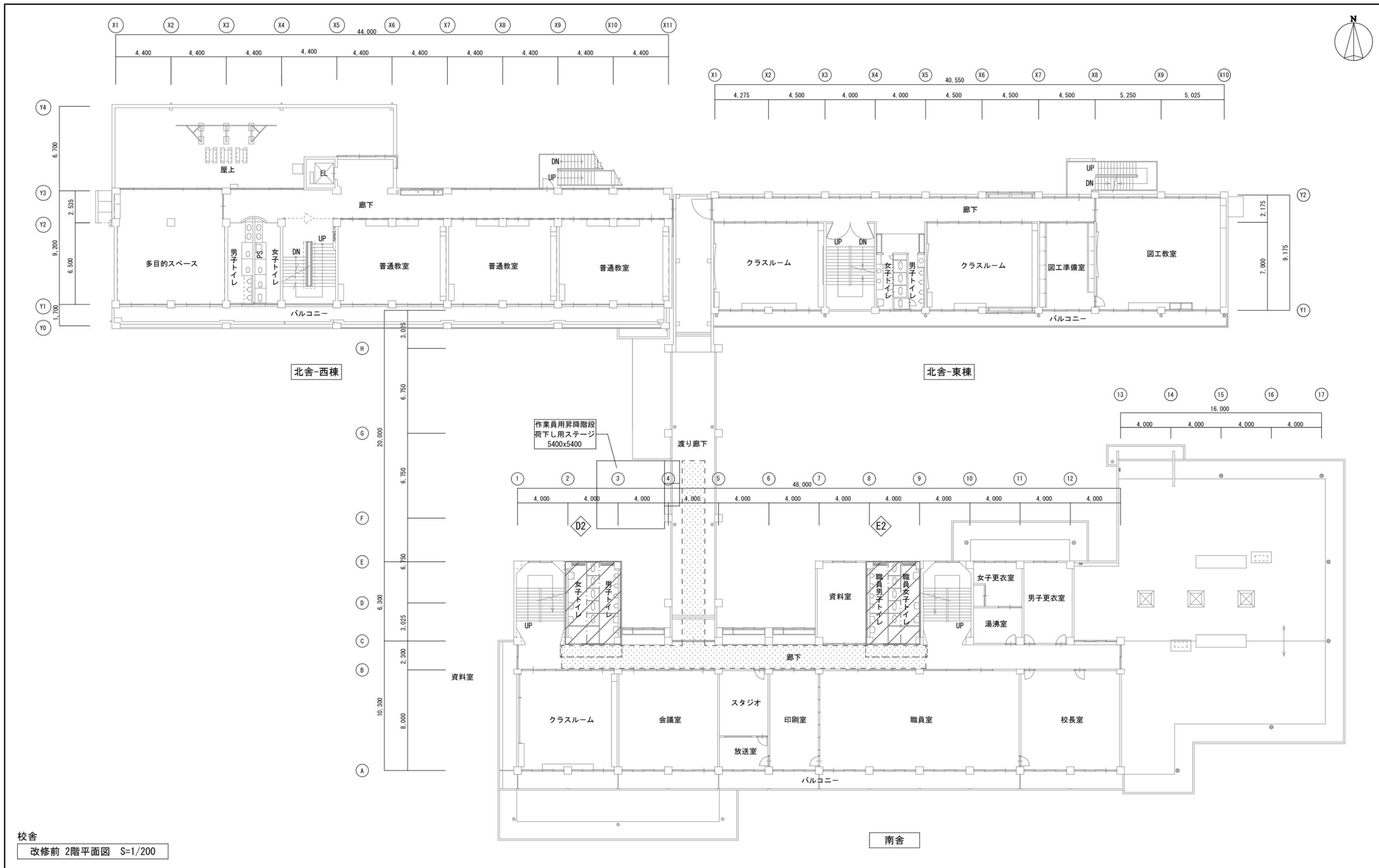






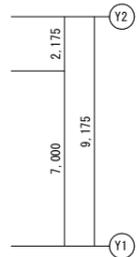
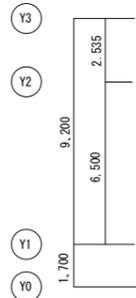
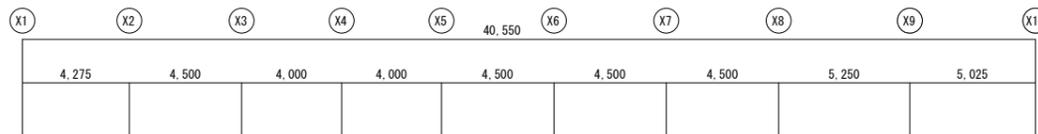
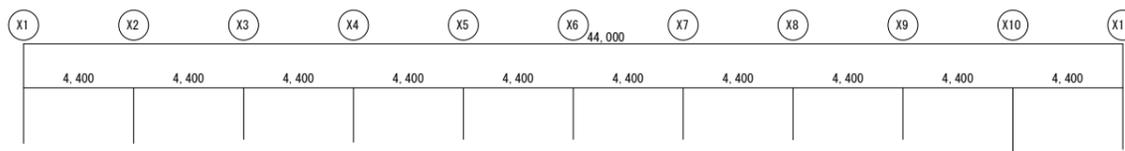
校舎  
改修前 1階平面図 S=1/200

凡例				工事名	可児市立東明小学校トイレ大規模改造工事(1期)		
	工事番号を示す		工事範囲を示す	種別	改修前 1階平面図・仮設計画図	図面番号	A-12
	工事範囲を示す		工事範囲を示す	縮尺	1/200	作成年月	令和6年10月
				設計者	株式会社 廣建築設備設計		
				氏名印	一級建築士 第311227号 野内雅仁		



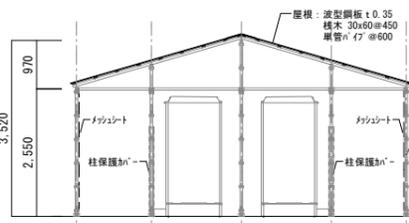
校舎  
改修前 2階平面図 S=1/200

凡例		工事名	
	工事番号を示す	可児市立東明小学校トイレ大規模改造工事(1期)	
	工事範囲を示す	種別	改修前 2階平面図・仮設計画図
	工事用通路養生 ベニアシート程度	図面番号	A-13
	仮間仕切・壁養生 ビニルシート張り程度	縮尺	1/200
	サッシ養生	作成年月	令和 6 年 10 月
	ベニア張り程度	設計者	株式会社 廣建築設備設計
		氏名印	一級建築士 第311227号 野内雅仁



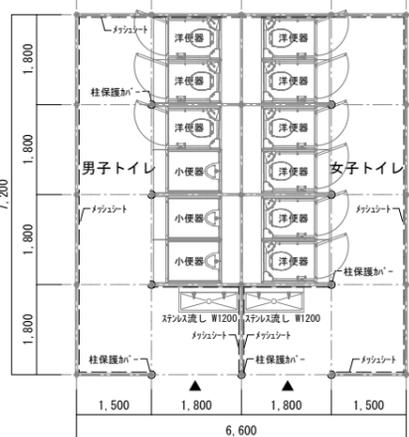
北舎-西棟

北舎-東棟



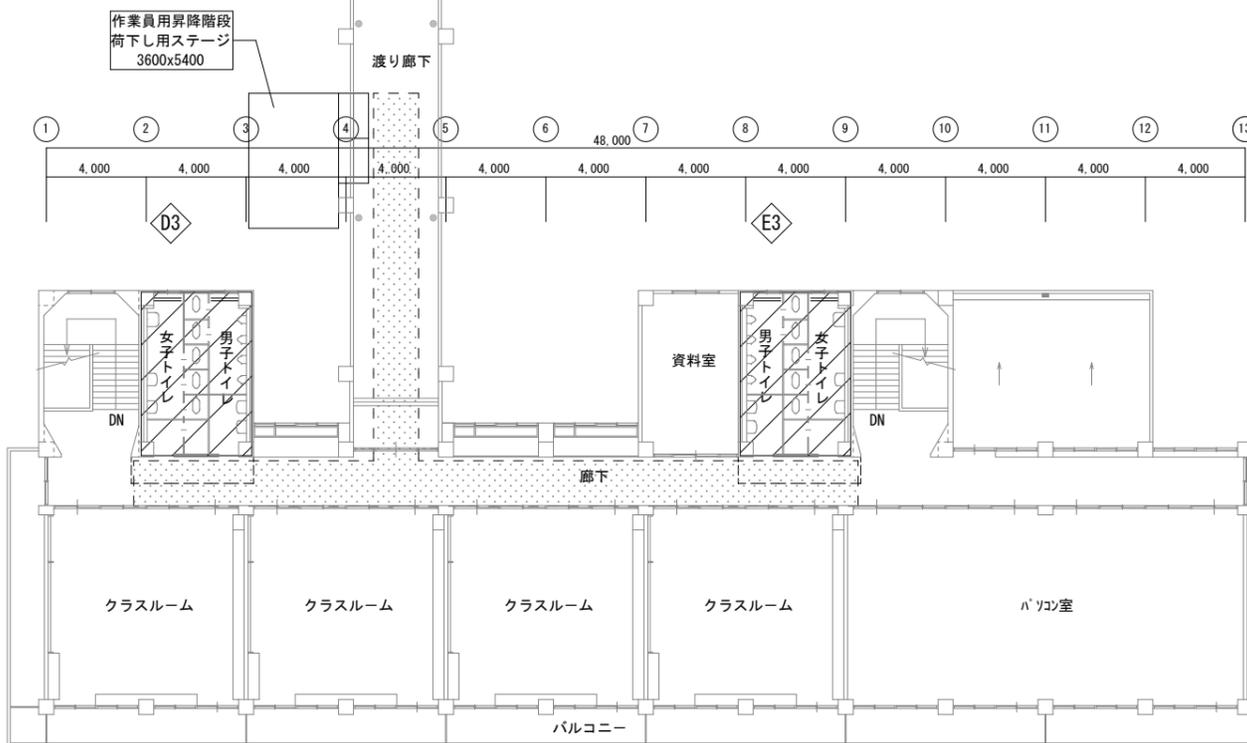
屋根: 波型鋼板 t 0.35  
 柱木 30x50@450  
 風管φ17 @600

柱保護カバー  
 本体: 外装 緊結式足場組  
 プレス・振れ止め等適宜設置し強度を確保すること



仮設トイレ仕様  
 水洗式、殺菌スリット付き  
 LED照明、扉・パネル・化粧板、便座除菌剤ナ  
 コット付、化粧鏡、他付属品一式  
 ※快適トイレ適合品

仮設トイレ参考図 S=1/100



作業員用昇降階段  
 荷下し用ステージ  
 3600x5400

渡り廊下

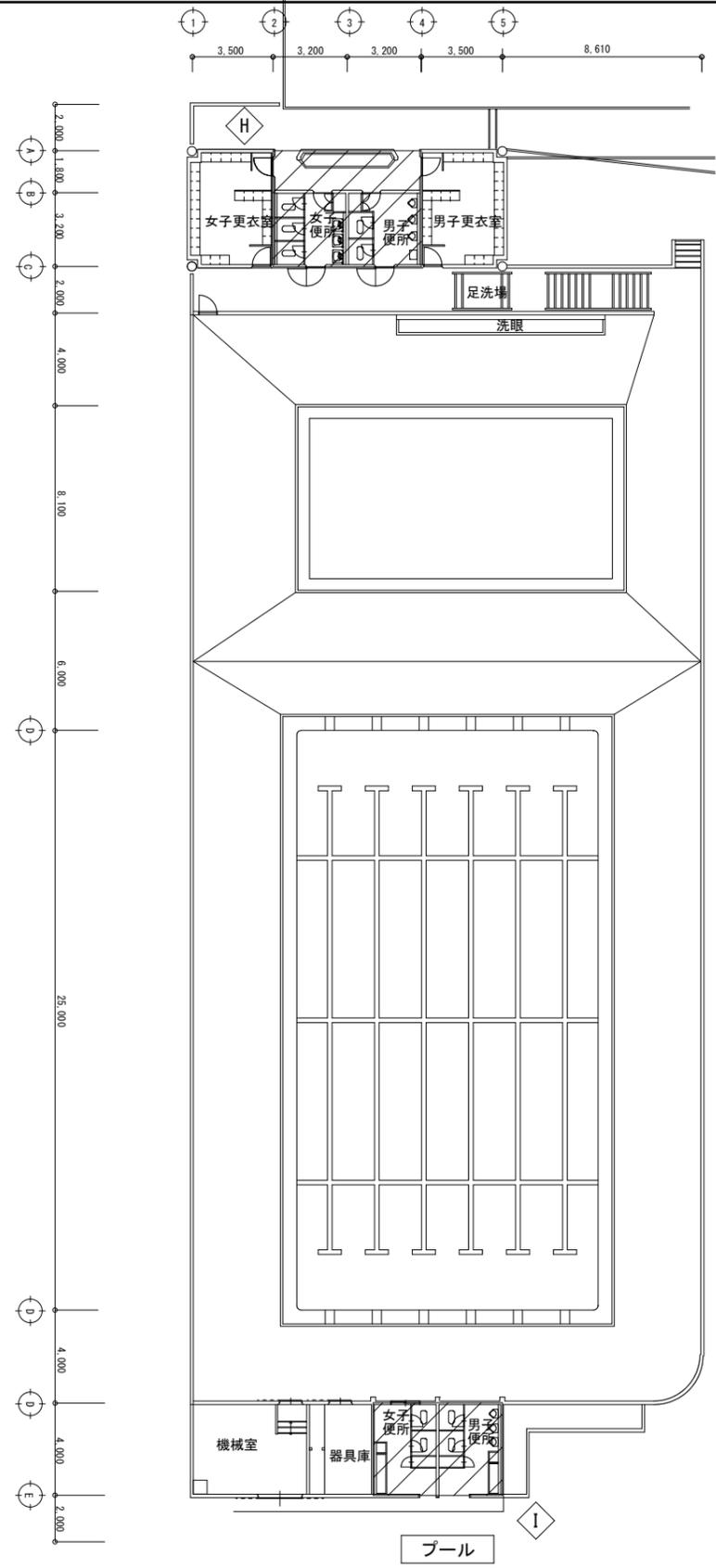
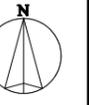
廊下

南舎

校舎

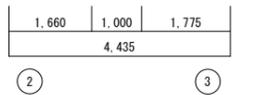
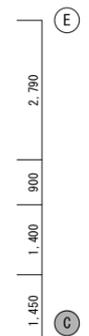
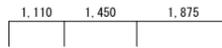
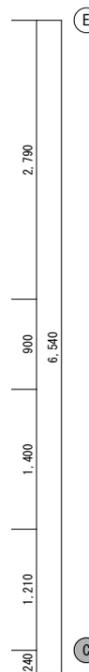
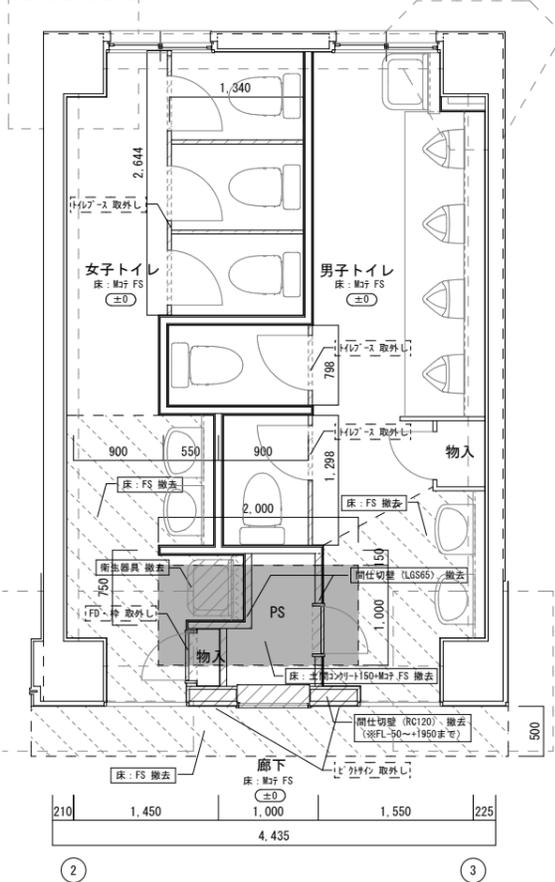
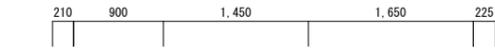
改修前 3階平面図 S=1/200

凡例		工事名	
	工事番号を示す	可児市立東明小学校トイレ大規模改修工事(1期)	
	工事範囲を示す	種別	改修前 3階平面図・仮設計画図
		図面番号	A-14
		縮尺	1/200
		作成年月	令和6年10月
		設計者	株式会社 廣建築設備設計
		氏名印	一級建築士 第311227号 野内理仁



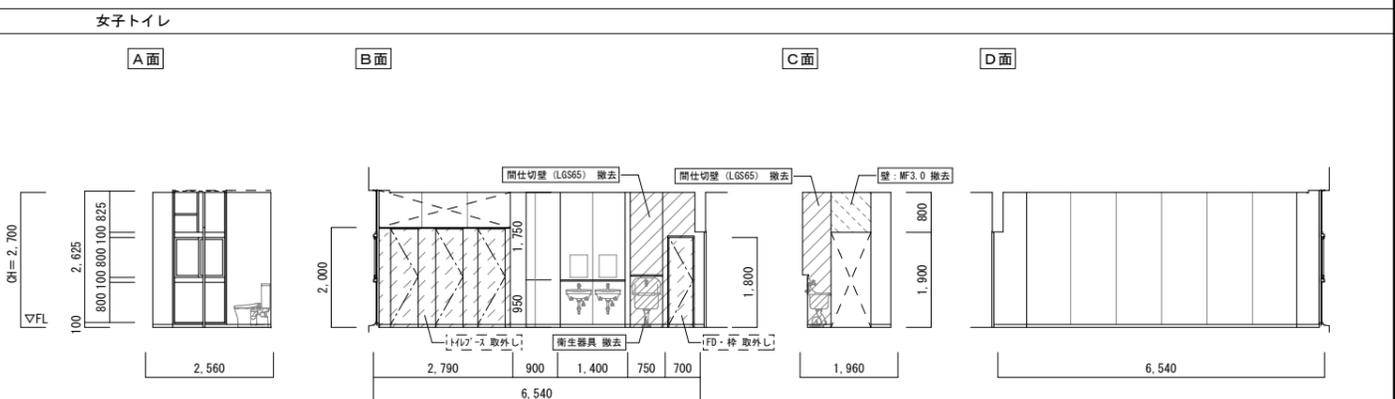
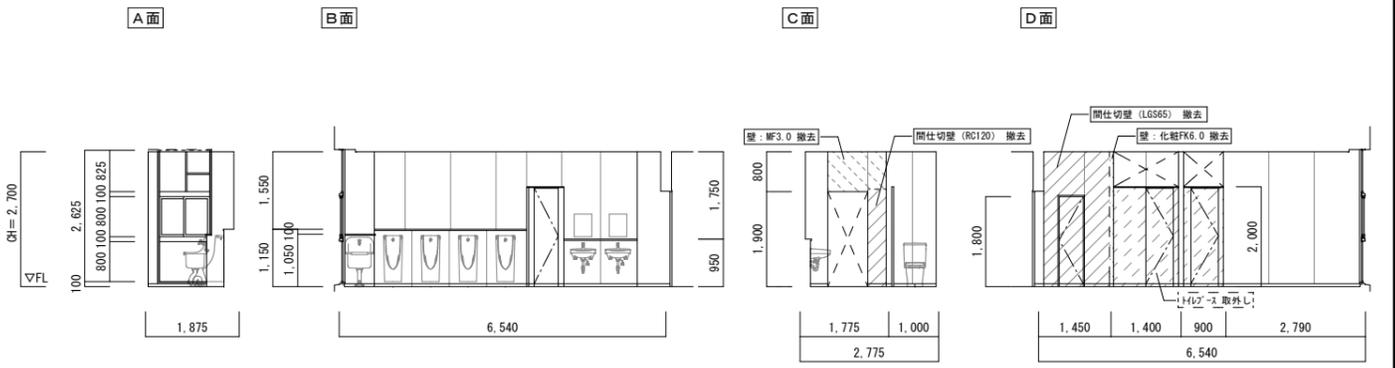
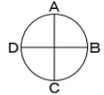
凡例											
	工事番号を示す		工事用通路養生								
	工事範囲を示す		ベニアシート程度								
			仮間仕切・壁養生								
			ビニルシート張り程度								
			サッシ養生								
			ベニア張り程度								

工事名	可児市立東明小学校トイレ大規模改造工事(1期)		
種別	改修前 プール 平面図・仮設計画図	図面番号	A-15
縮尺	1/200	作成年月	令和 6 年 10 月
設計者	株式会社 廣建築設備設計		
氏名印	一級建築士 第311227号 野内雅仁		



天井伏図 S=1/100

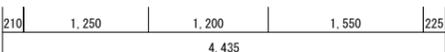
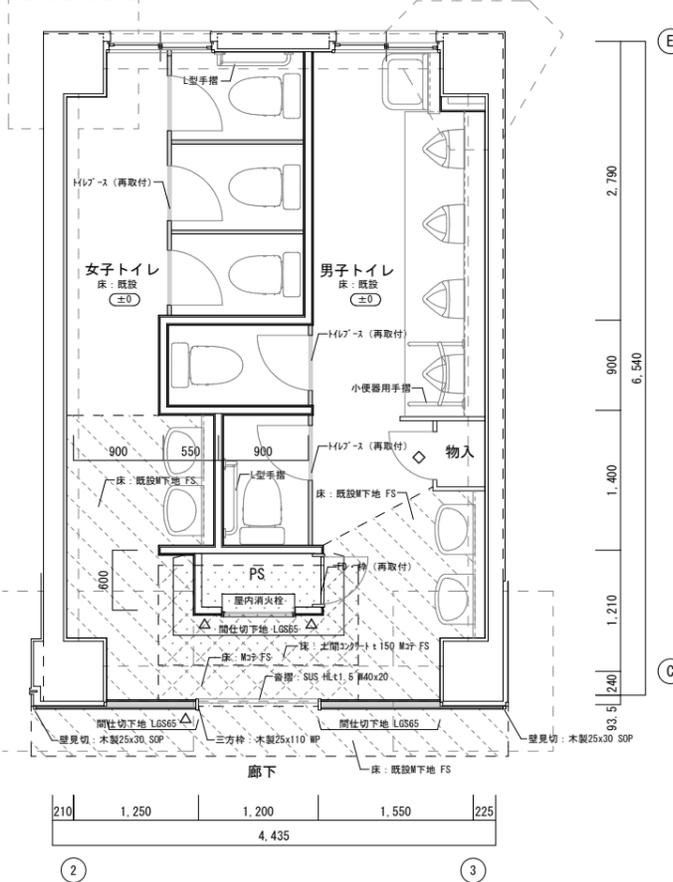
平面詳細図 S=1/50



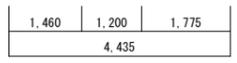
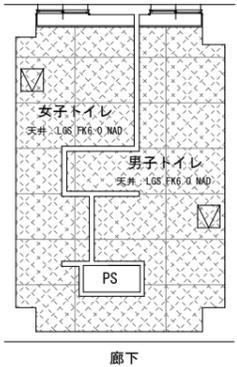
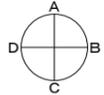
凡例			
	(現況) 取壊し・撤去概要を示す		(現況) 撤去範囲を示す: 間仕切壁、建具、衛生器具等
	(現況) 取壊し・撤去概要を示す ※再使用品		(現況) 取壊し・撤去範囲を示す: 建具、衛生器具等 ※再使用品
	(現況) 撤去範囲を示す: 床スラブ・土間コンクリート		(現況) 部分撤去範囲を示す: 仕上・下地共
			(現況) 部分撤去範囲を示す: 仕上のみ

工事名	可児市立東明小学校トイレ大規模改修工事(1期)		
種別	改修前 平面詳細図・展開図 南舎 1階 西側-男女トイレ	図面番号	A-16
縮尺	1/50, 100	作成年月	令和 6 年 10 月
設計者	株式会社 廣建築設備設計		
氏名印	一級建築士 第311227号 野内理仁		

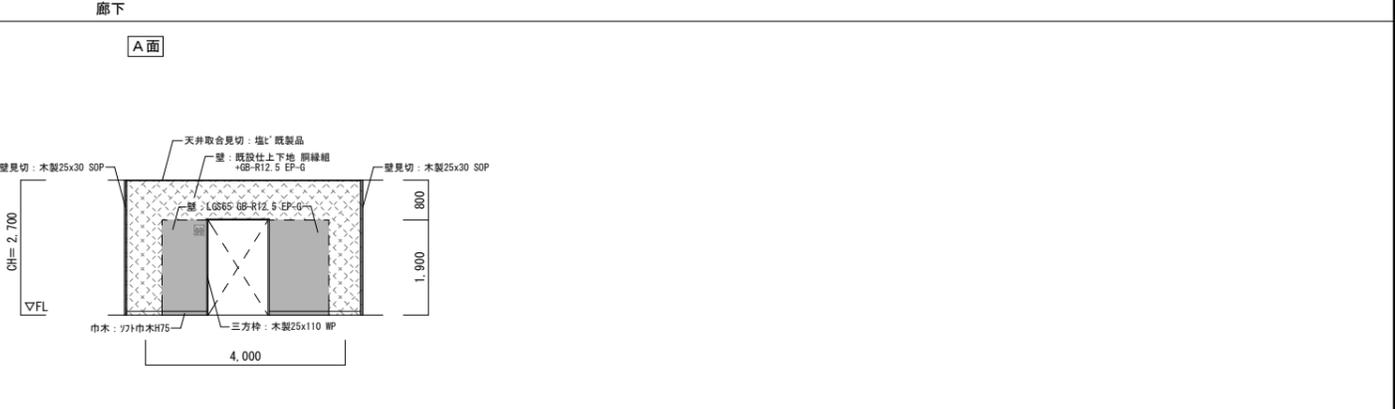
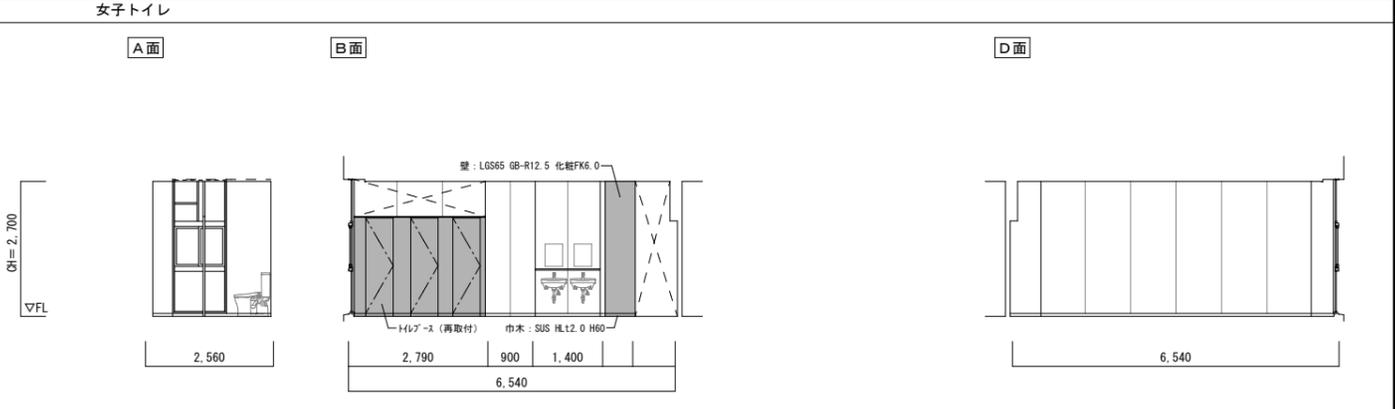
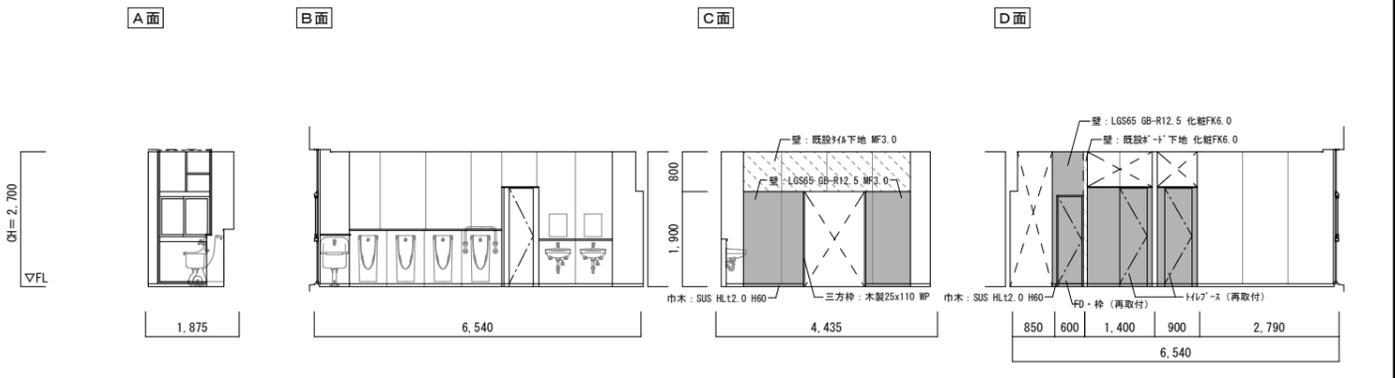
±0 床高を示す(基準:各階F.L.)  
※特記なき床高はF.L.±0



平面詳細図 S=1/50

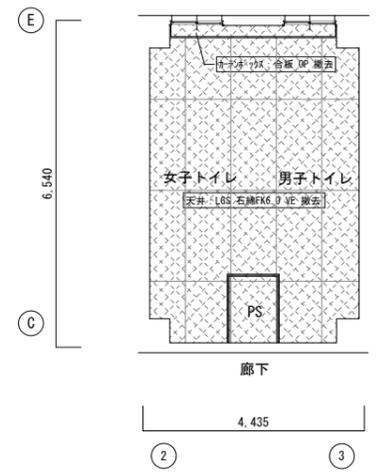
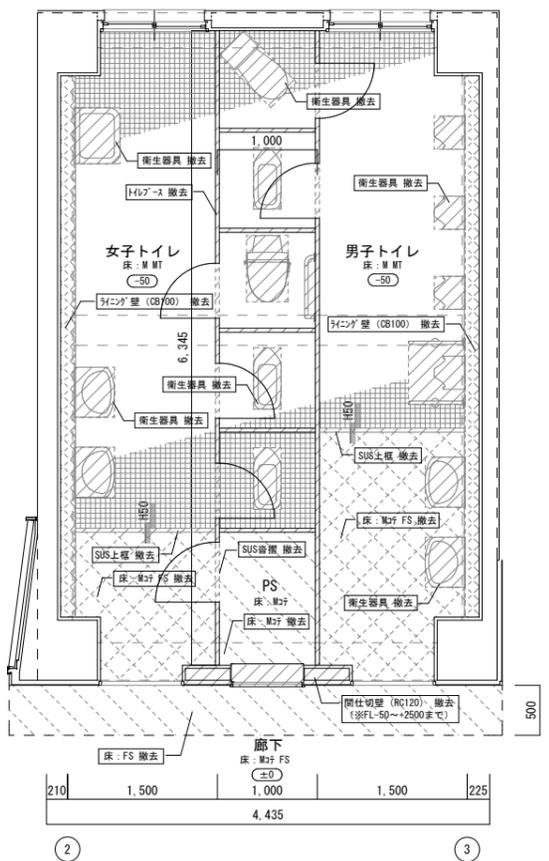
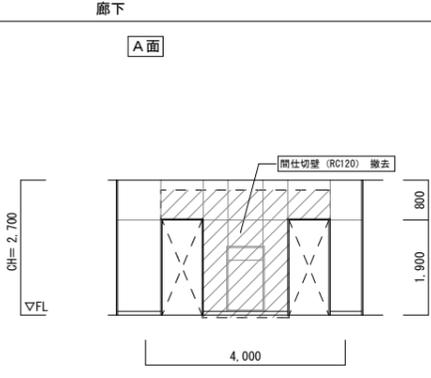
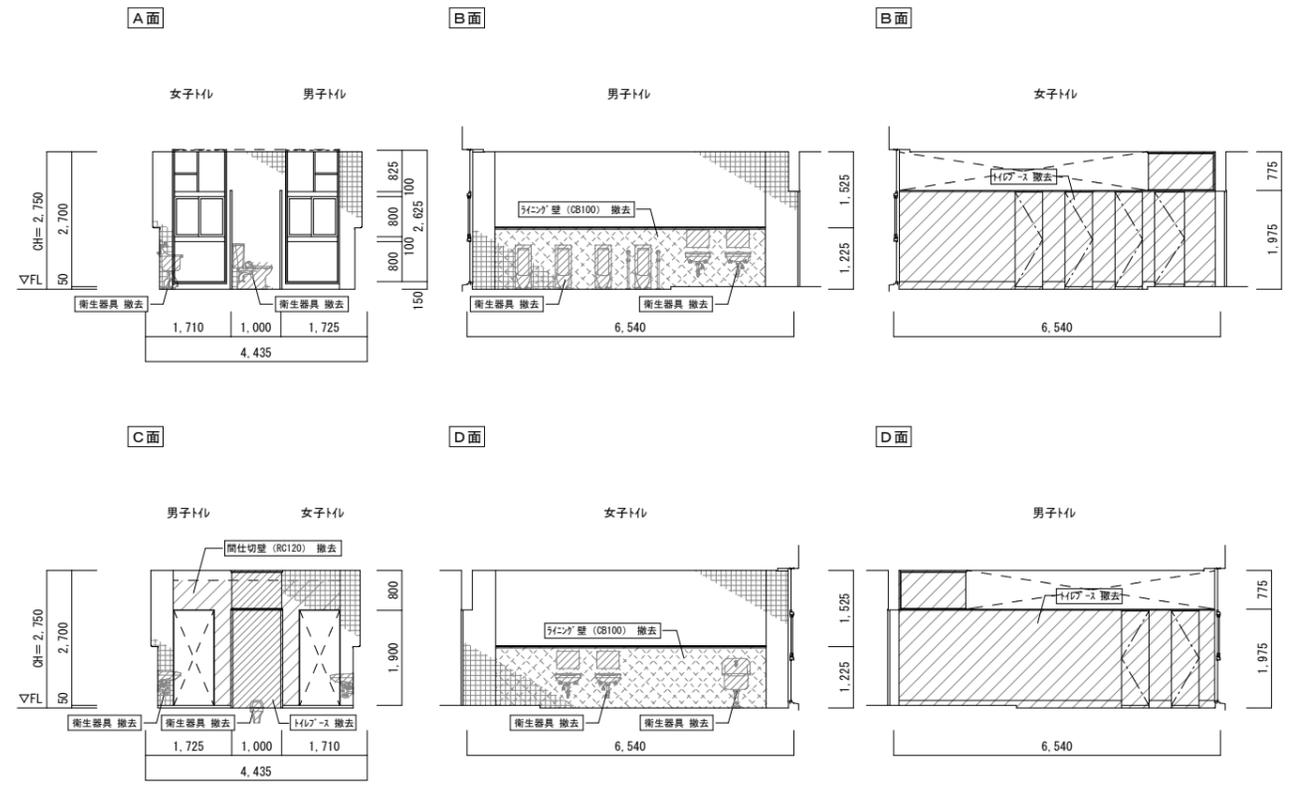


天井伏図 S=1/100



<p>凡例</p> <p>(改修) 改修範囲を示す: 新設間仕切壁・建具設置等</p> <p>(改修) 改修範囲を示す: 床スラブ・土間コンクリート復旧</p> <p>(改修) 改修範囲を示す: 仕上・下地共</p> <p>(改修) 改修範囲を示す: 仕上のみ</p>		<p>▼</p> <p>▼</p> <p>◇</p>	<p>室名札 亚克力製 250 x 250 平付タイプ</p> <p>室名札 亚克力製 200 x 200 平付タイプ</p> <p>室名表示 カッティングシート貼 50角/文字程度</p>	<p>天井点検口 450角 アルミ製 網線枠 (内外) ※設置位置は監督員と協議の上決定</p> <p>天井点検口 600角 アルミ製 網線枠 (内外) ※設置位置は監督員と協議の上決定</p>	<p>工事名 可児市立東明小学校トイレ大規模改修工事(1期)</p> <p>種別 改修後 平面詳細図・展開図 南舎 1階 西側-男女トイレ</p> <p>縮尺 1/50, 100 作成年月 令和 6 年 10 月</p> <p>設計者 株式会社 廣建築設備設計 氏名印 一級建築士 第311227号 野内理仁</p>
--	--	----------------------------	---	---	--

展開図 男子トイレ・女子トイレ

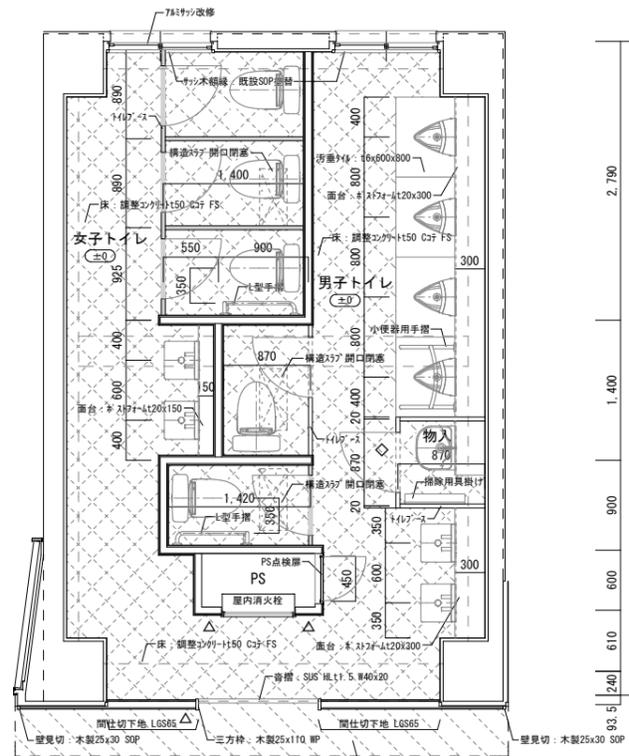


天井伏図 S=1/100

平面詳細図 S=1/50

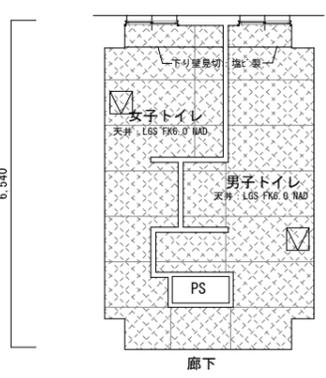
凡例				工事名		可児市立東明小学校トイレ大規模改修工事(1期)	
	(現況) 取壊し・撤去概要を示す		(現況) 撤去範囲を示す: 間仕切壁、建具、衛生器具等	種別	改修前 平面詳細図・展開図	図面番号	A-18
	(現況) 取外し・撤去概要を示す ※再使用品		(現況) 取外し・撤去範囲を示す: 建具、衛生器具等 ※再使用品	縮尺	1/50, 100	作成年月	令和 6 年 10 月
	(現況) 撤去範囲を示す: 床スラブ・土間コンクリート		(現況) 部分撤去範囲を示す: 仕上・下地共	設計者	株式会社 廣建築設備設計		
			(現況) 部分撤去範囲を示す: 仕上のみ	氏名印	一級建築士 第311227号 野内理仁		
					±0	床高を示す(基準:各階FL) ※特記なき床高はFL±0	

210 2,350 1,650 225



E  
2,790  
6,540  
1,400  
900  
610  
240  
93.5  
C

2,560 1,875



E  
2,790  
6,540  
C  
850  
600  
900  
1,400  
1,110  
850  
1,200  
1,775  
4,435

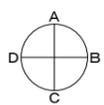
1,110 850 1,200 1,775  
4,435

天井伏図 S=1/100

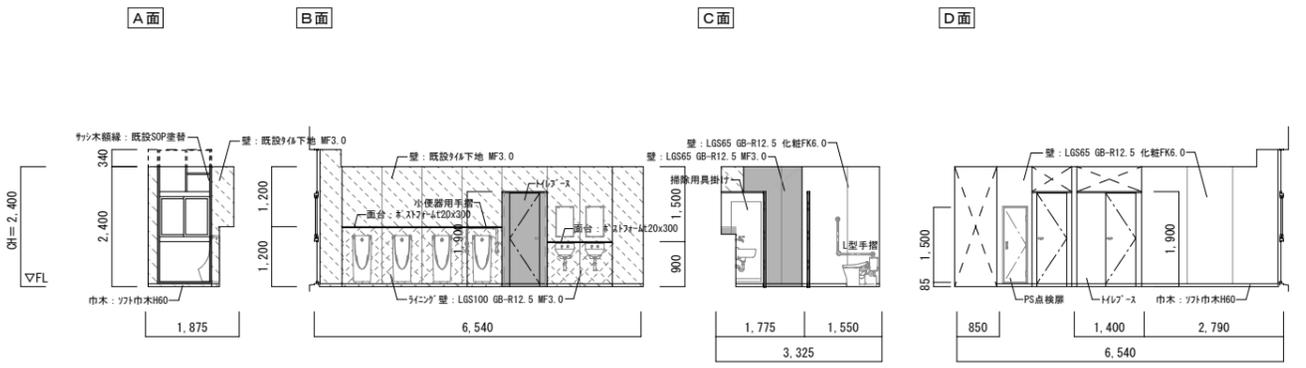
210 900 350 1,200 1,550 225  
4,435

※特記なき新設間仕切壁下地はLGS65型とする

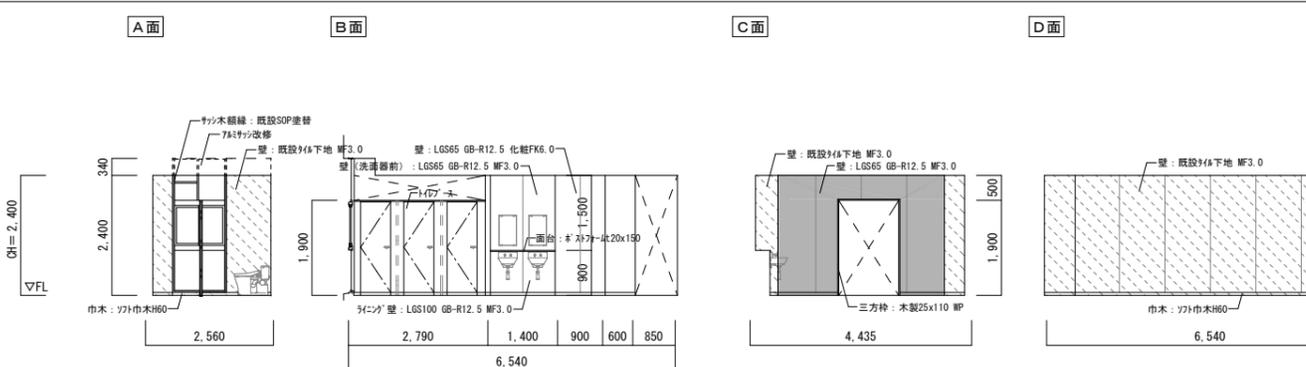
平面詳細図 S=1/50



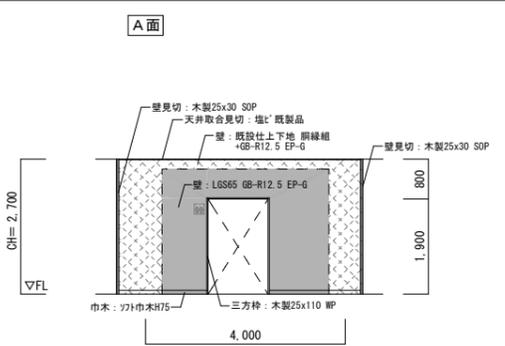
展開図 男子トイレ



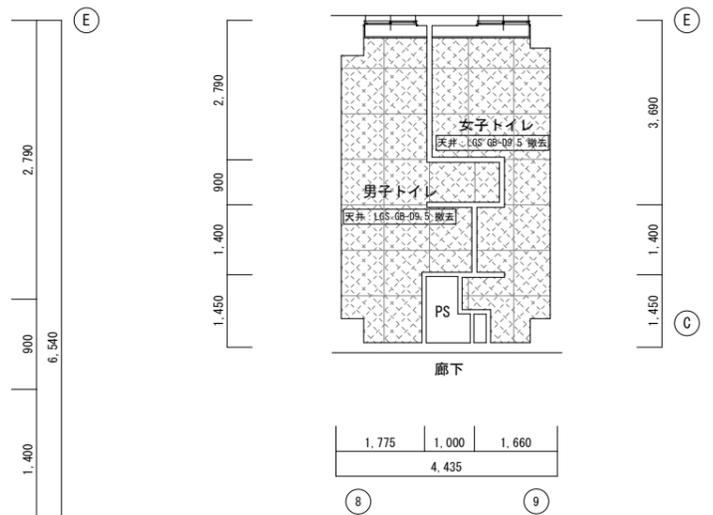
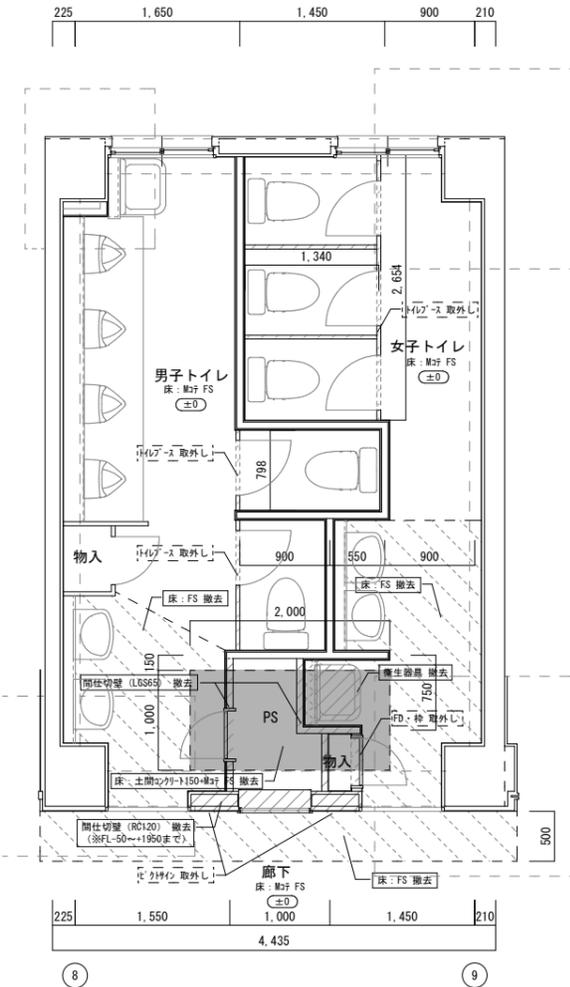
女子トイレ



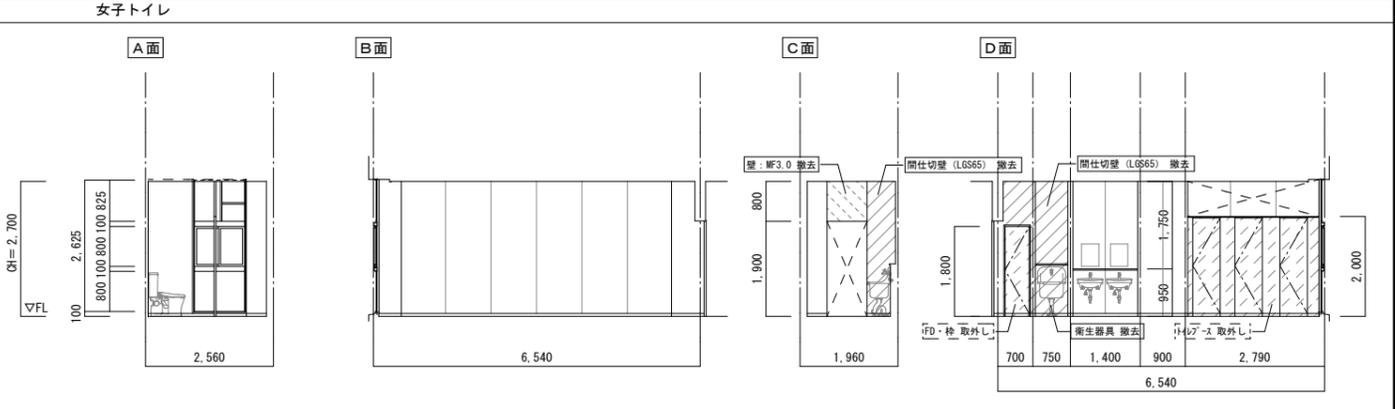
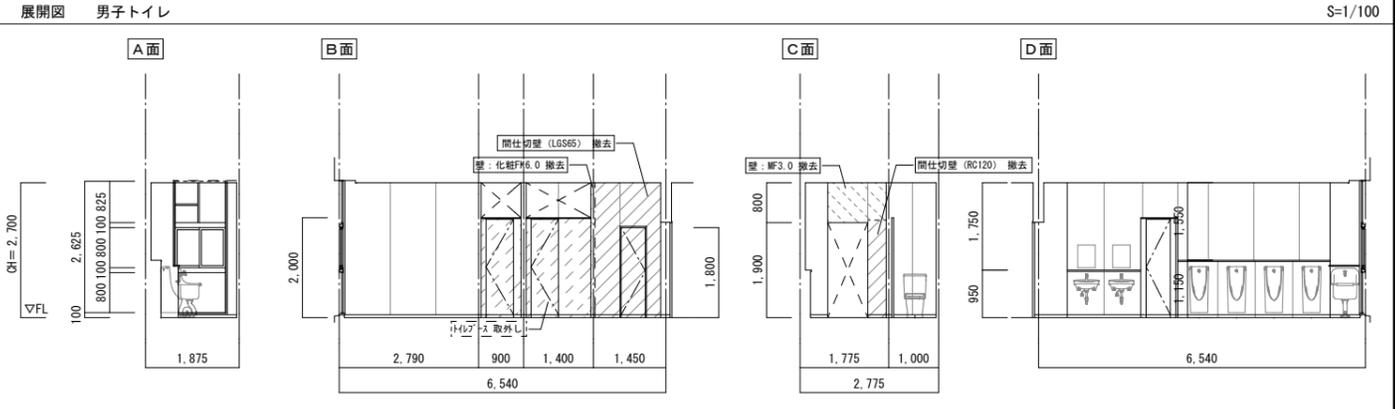
廊下



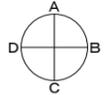
凡例						工事名		可児市立東明小学校トイレ大規模改修工事(1期)	
	(改修) 改修範囲を示す: 新設間仕切壁・建具設置等	▼	室名札 亚克力製250x250 平付タイプ		天井点検口 450角 アルミ製 縦線枠(内外) ※設置位置は監督員と協議の上決定		種別	改修後 平面詳細図・展開図 南舎 2,3階 西側-男女トイレ	図面番号 A-19
	(改修) 改修範囲を示す: 床スラブ・土間コンクリート復旧	▽	室名札 亚克力製200x200 平付タイプ		天井点検口 600角 アルミ製 縦線枠(内外) ※設置位置は監督員と協議の上決定		縮尺	1/50,100	作成年月 令和6年10月
	(改修) 改修範囲を示す: 仕上・下地共	◇	室名表示 カッティングシート貼 50角/文字程度				設計者	株式会社 廣建築設備設計	
	(改修) 改修範囲を示す: 仕上のみ						氏名印	一級建築士 第311227号 野内理仁	
								±0	床高を示す(基準:各階FL) ※特記なき床高はFL±0



天井伏図 S=1/100

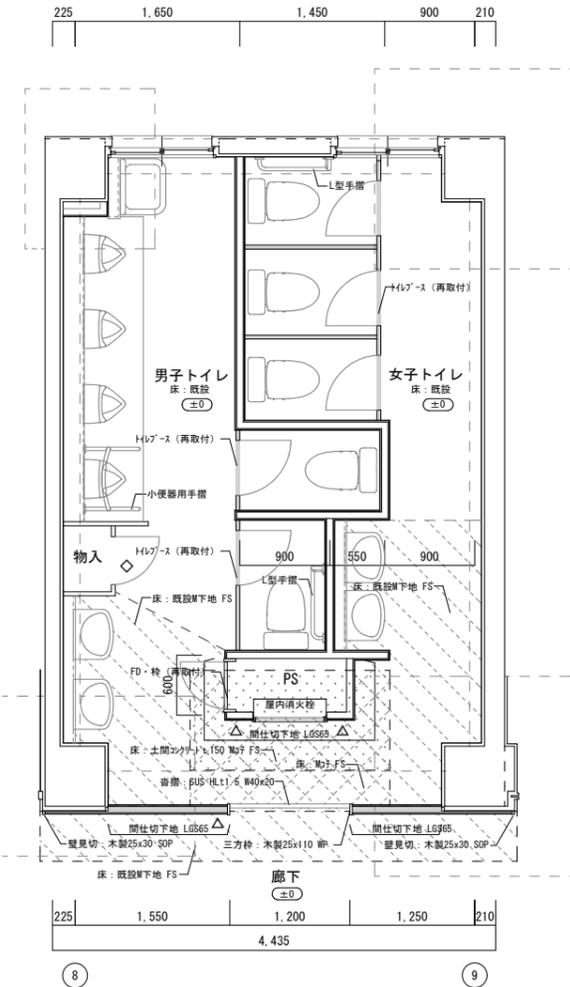


平面詳細図 S=1/50

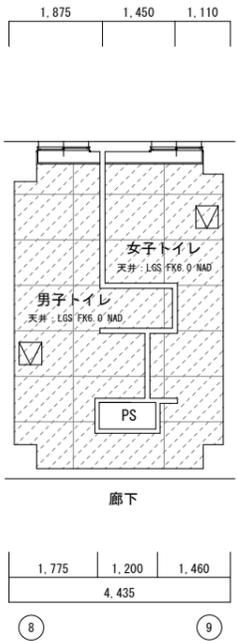
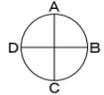


凡例		撤去範囲		撤去範囲		撤去範囲		撤去範囲		撤去範囲	
	(現況) 取壊し・撤去概要を示す		(現況) 撤去範囲を示す: 間仕切壁、建具、衛生器具等		(現況) 取外し・撤去範囲を示す: 建具、衛生器具等 ※再使用品		(現況) 部分撤去範囲を示す: 仕上・下地共		(現況) 部分撤去範囲を示す: 仕上のみ		床高を示す (基準: 各階FL) ※特記なき床高はFL±0
	(現況) 取外し・撤去概要を示す ※再使用品		(現況) 撤去範囲を示す: 間仕切壁、建具、衛生器具等		(現況) 取外し・撤去範囲を示す: 建具、衛生器具等 ※再使用品		(現況) 部分撤去範囲を示す: 仕上・下地共		(現況) 部分撤去範囲を示す: 仕上のみ		床高を示す (基準: 各階FL) ※特記なき床高はFL±0
	(現況) 撤去範囲を示す: 床スラブ・土間コンクリート		(現況) 撤去範囲を示す: 間仕切壁、建具、衛生器具等		(現況) 取外し・撤去範囲を示す: 建具、衛生器具等 ※再使用品		(現況) 部分撤去範囲を示す: 仕上・下地共		(現況) 部分撤去範囲を示す: 仕上のみ		床高を示す (基準: 各階FL) ※特記なき床高はFL±0

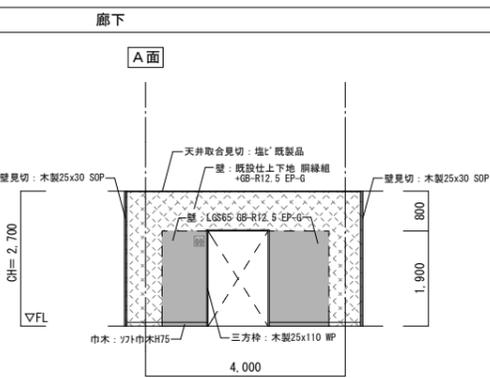
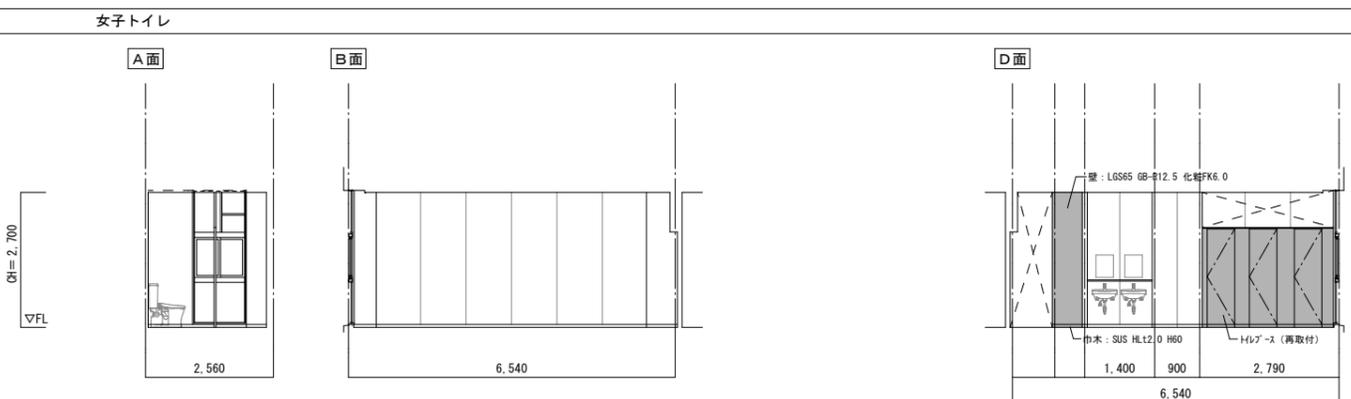
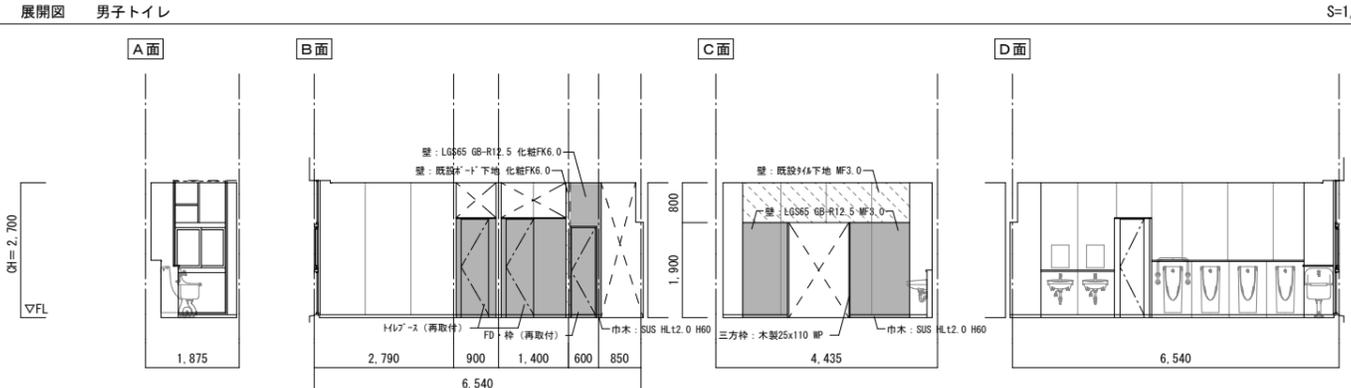
工事名	可児市立東明小学校トイレ大規模改修工事(1期)		
種別	改修前 平面詳細図・展開図 南舎 1階 東側-男女トイレ	図面番号	A-20
縮尺	1/50, 100	作成年月	令和 6 年 10 月
設計者	株式会社 廣建築設備設計		
氏名印	一級建築士 第311227号 野内理仁		



平面詳細図 S=1/50



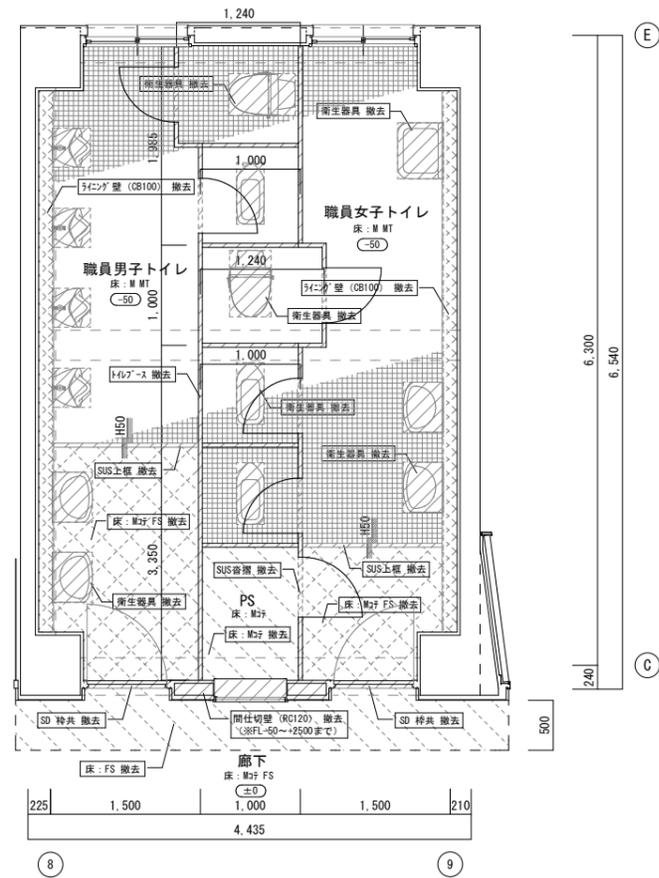
天井伏図 S=1/100



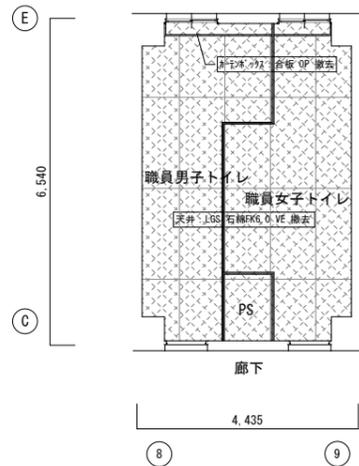
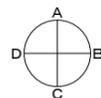
凡例		室名札		天井点検口	
	(改修) 改修範囲を示す: 新設間仕切壁・建具設置等	▼	室名札 亚克力製 250×250 平付タイプ	☑	天井点検口 450角 アルミ製 網縁枠 (内外) ※設置位置は監督員と協議の上決定
	(改修) 改修範囲を示す: 床スラブ・土間コンクリート復旧	▽	室名札 亚克力製 200×200 平付タイプ	☑	天井点検口 600角 アルミ製 網縁枠 (内外) ※設置位置は監督員と協議の上決定
	(改修) 改修範囲を示す: 仕上・下地共	◇	室名表示 カッティングシート貼 50角/文字程度		
	(改修) 改修範囲を示す: 仕上のみ				

工事名	可児市立東明小学校トイレ大規模改修工事(1期)		
種別	改修後 平面詳細図・展開図 南舎 1階 東側-男女トイレ	図面番号	A-21
縮尺	1/50, 100	作成年月	令和 6 年 10 月
設計者	株式会社 廣建築設備設計		
氏名印	一級建築士 第311227号 野内理仁		

±0 床高を示す(基準:各階FL)  
※特記なき床高はFL±0

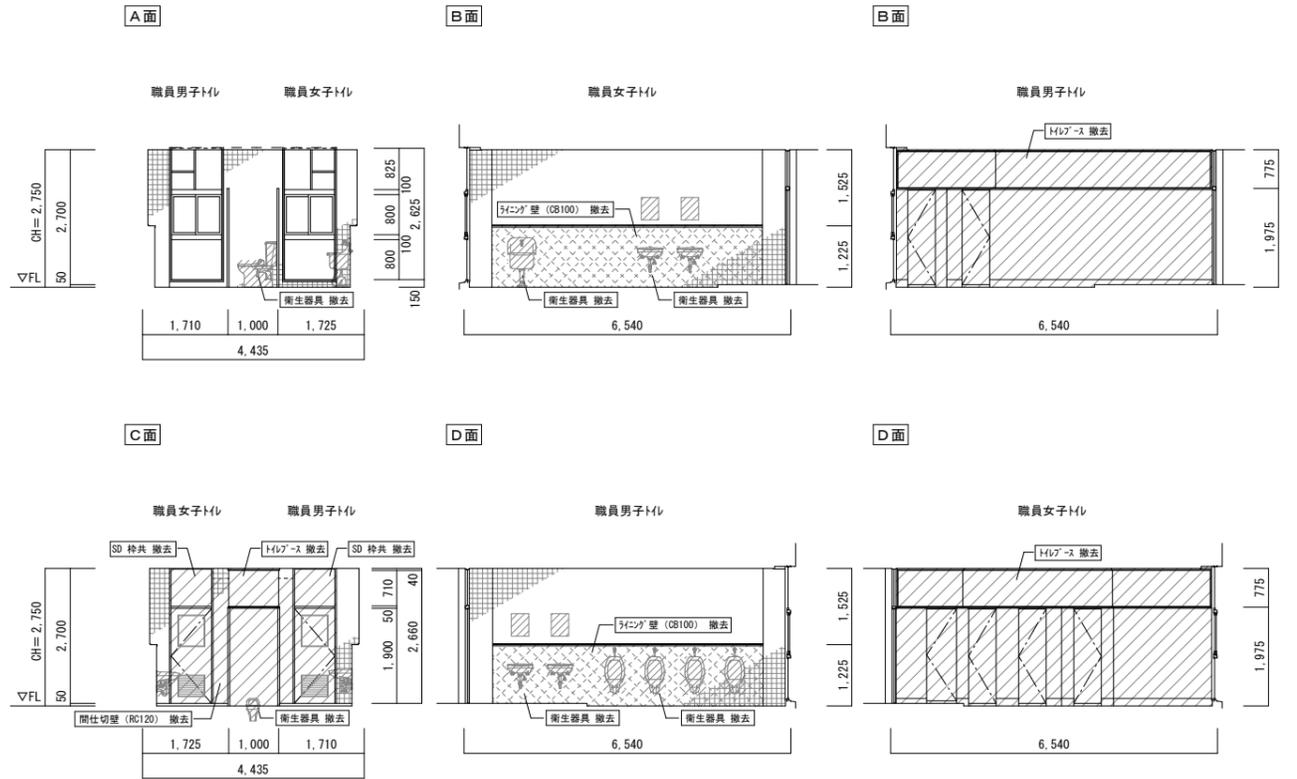


平面詳細図 S=1/50

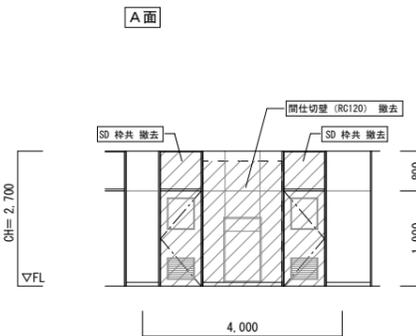


天井伏図 S=1/100

展開図 職員男子トイレ・職員女子トイレ



廊下

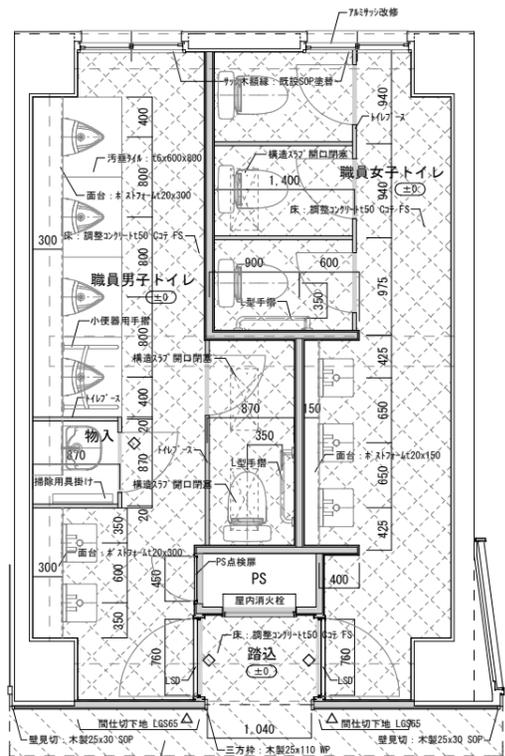


凡例			
	(現況) 取壊し・撤去概要を示す		(現況) 撤去範囲を示す： 間仕切壁、建具、衛生器具等
	(現況) 取外し・撤去概要を示す ※再使用品		(現況) 取外し・撤去範囲を示す： 建具、衛生器具等 ※再使用品
	(現況) 撤去範囲を示す： 床スラブ・土間コンクリート		(現況) 部分撤去範囲を示す：仕上・下地共
			(現況) 部分撤去範囲を示す：仕上のみ

工事名	可児市立東明小学校トイレ大規模改修工事(1期)		
種別	改修前 平面詳細図・展開図 南舎 2階 東側-男女トイレ	図面番号	A-22
縮尺	1/50, 100	作成年月	令和 6 年 10 月
設計者	株式会社 廣建築設備設計		
氏名印	一級建築士 第311227号 野内理仁		

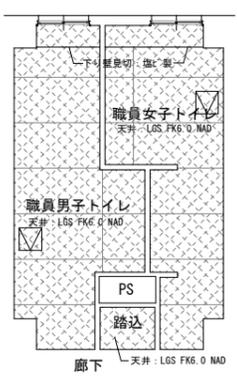
±0 床高を示す(基準:各階F.L.)  
※特記なき床高はF.L.±0

225 1,650 2,350 210



E  
2,940  
6,540  
2,150  
600  
610  
240  
C

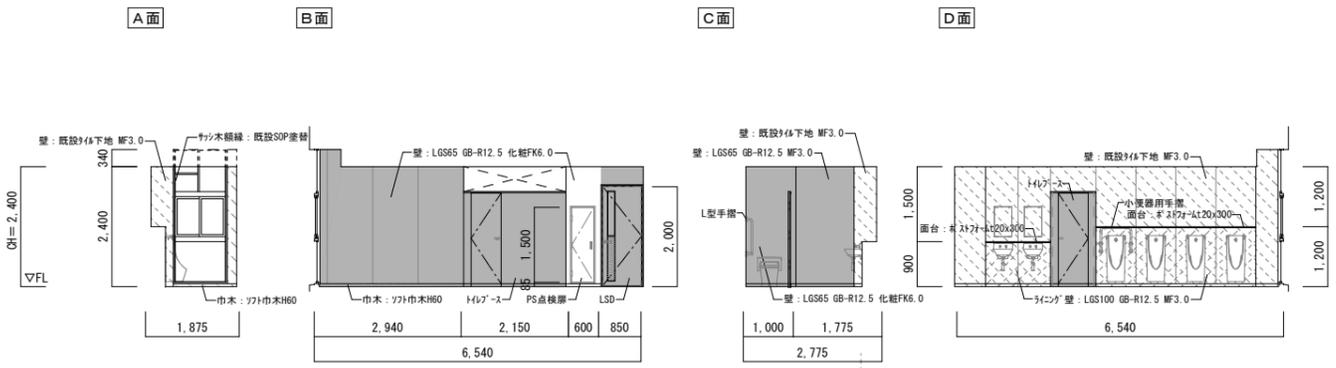
1,875 2,560



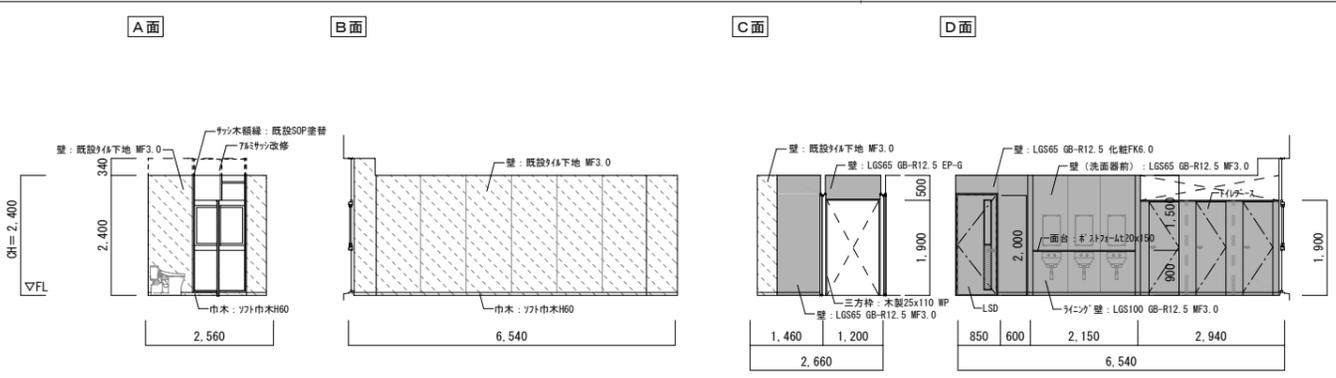
E  
2,940  
2,150  
600  
C

天井伏図 S=1/100

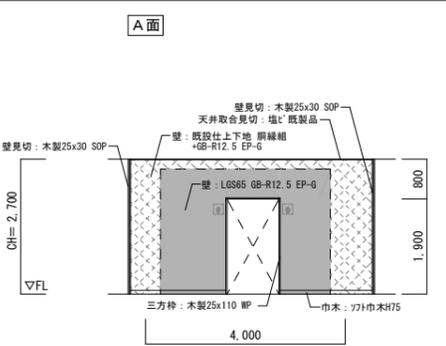
展開図 職員男子トイレ



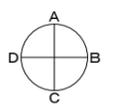
職員女子トイレ



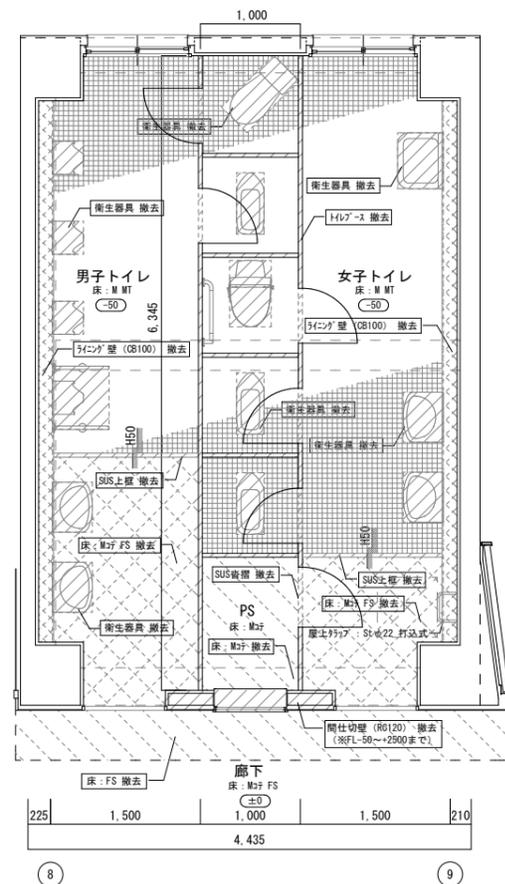
廊下



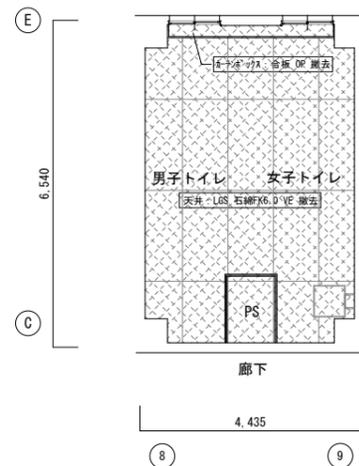
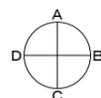
平面詳細図 S=1/50



凡例						工事名		可児市立東明小学校トイレ大規模改修工事(1期)	
	(改修) 改修範囲を示す： 新設間仕切壁・建具設置等	▼	室名札 亚克力製250×250 平付タイプ		天井点検口 450角 アルミ製 鋼線枠(内外) ※設置位置は監督員と協議の上決定		種別	改修後 平面詳細図・展開図 南舎 2階 東側-男女トイレ	図面番号 A-23
	(改修) 改修範囲を示す： 床スラブ・土間コンクリート復旧	▽	室名札 亚克力製200×200 平付タイプ		天井点検口 600角 アルミ製 鋼線枠(内外) ※設置位置は監督員と協議の上決定		縮尺	1/50,100	作成年月 令和6年10月
	(改修) 改修範囲を示す：仕上・下地共	◇	室名表示 カットングシート貼 50角/文字程度				設計者	株式会社 廣建築設備設計	
	(改修) 改修範囲を示す：仕上のみ						氏名印	一級建築士 第311227号 野内理仁	
						±0		床高を示す(基準：各階FL) ※特記なき床高はFL±0	

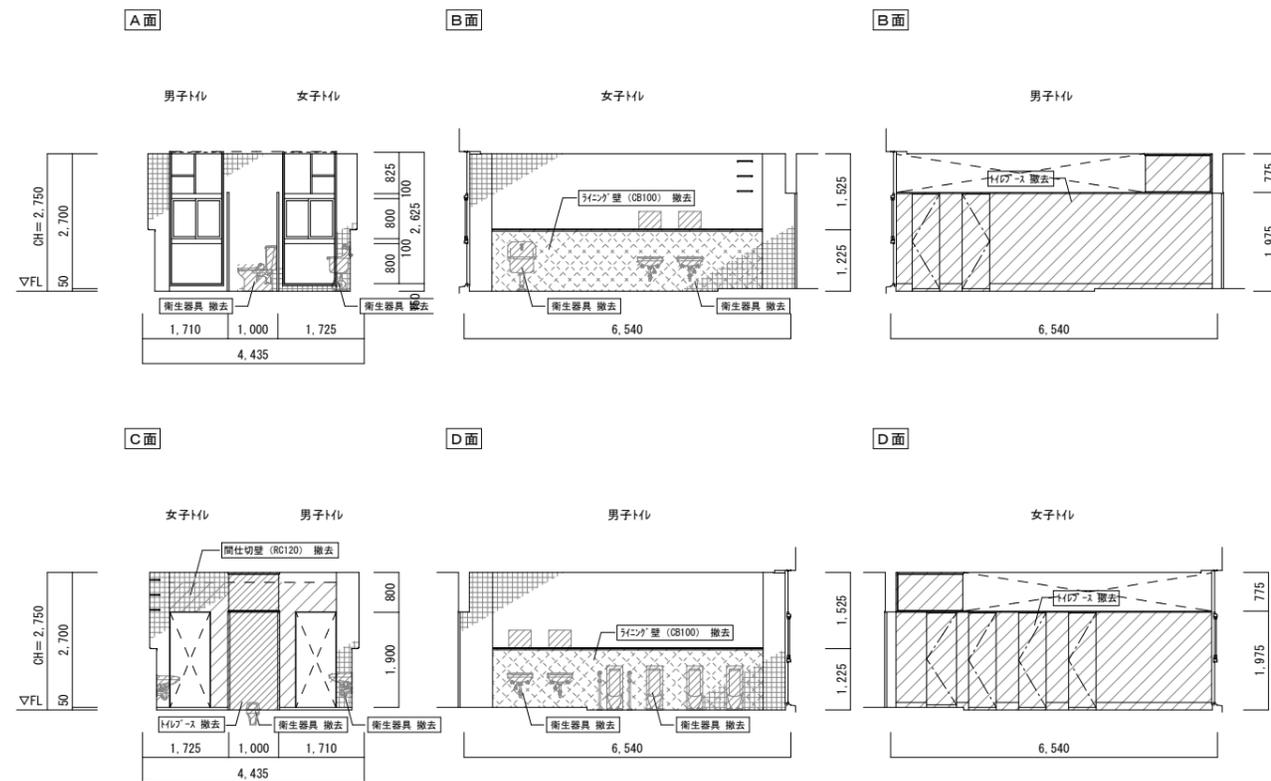


平面詳細図 S=1/50

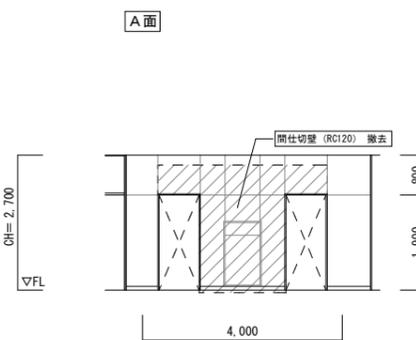


天井伏図 S=1/100

展開図 男子トイレ・女子トイレ

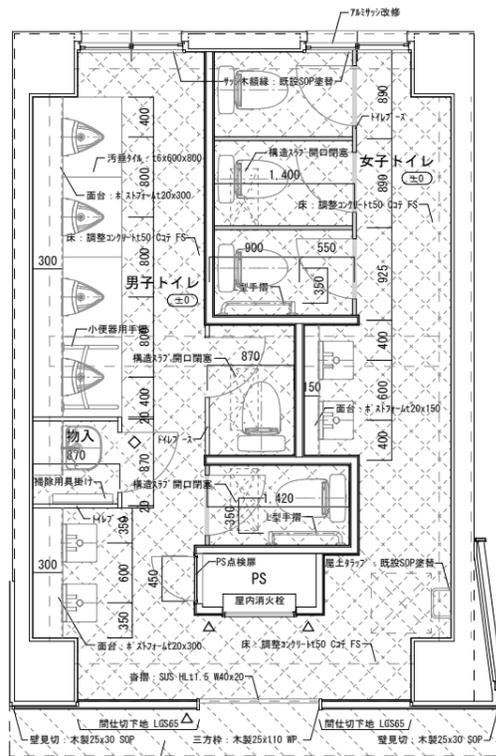


廊下



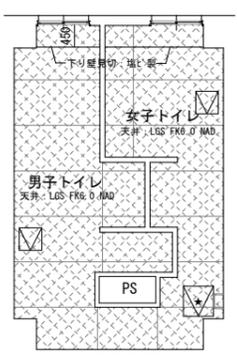
凡例				工事名		可児市立東明小学校トイレ大規模改修工事(1期)	
	(現況) 取壊し・撤去概要を示す		(現況) 撤去範囲を示す: 間仕切壁、建具、衛生器具等	種別	改修前 平面詳細図・展開図 南舎 3階 東側-男女トイレ	図面番号	A-24
	(現況) 取外し・撤去概要を示す ※再使用品		(現況) 取外し・撤去範囲を示す: 建具、衛生器具等 ※再使用品	縮尺	1/50, 100	作成年月	令和 6 年 10 月
	(現況) 撤去範囲を示す: 床スラブ・土間コンクリート		(現況) 部分撤去範囲を示す: 仕上・下地共	設計者	株式会社 廣建築設備設計		
			(現況) 部分撤去範囲を示す: 仕上のみ	氏名印	一級建築士 第311227号 野内理仁		
					±0	床高を示す(基準:各階FL) ※特記なき床高はFL±0	

225 1,650 2,350 210



2,790  
1,400  
900  
610  
240  
93.5

1,875 2,560



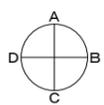
1,775 1,200 350 1,110  
4,435

天井伏図 S=1/100

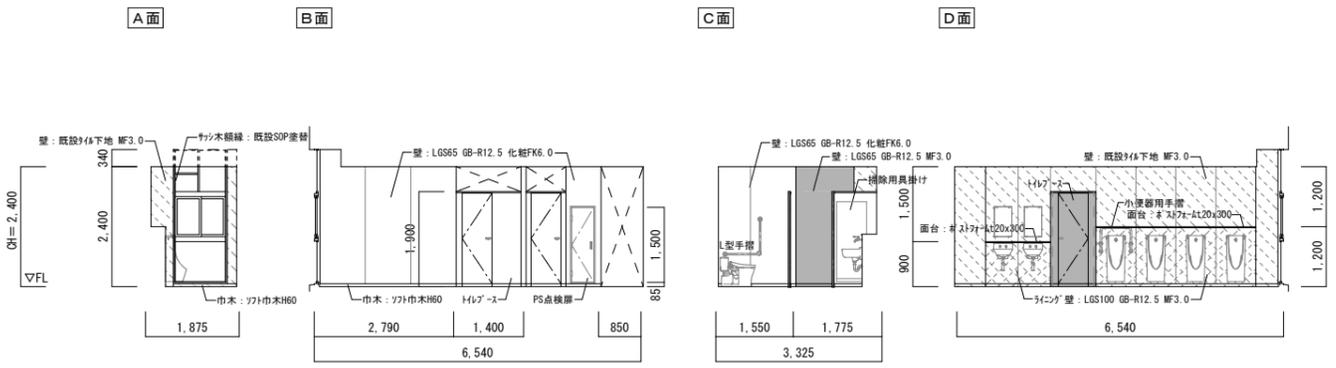
225 1,550 1,200 350 900 210  
4,435

※特記なき新設間仕切壁下地はLGS65型とする

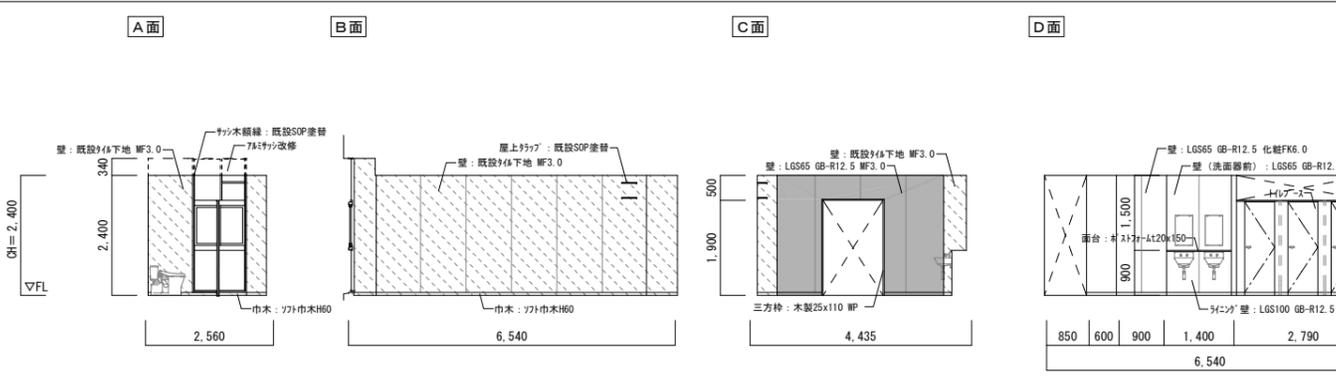
平面詳細図 S=1/50



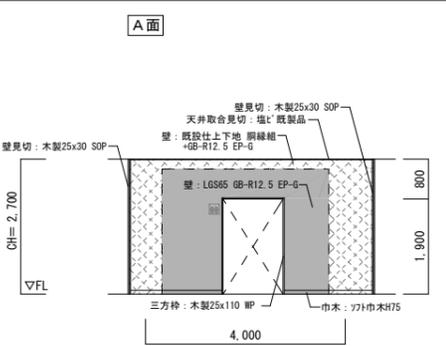
展開図 男子トイレ



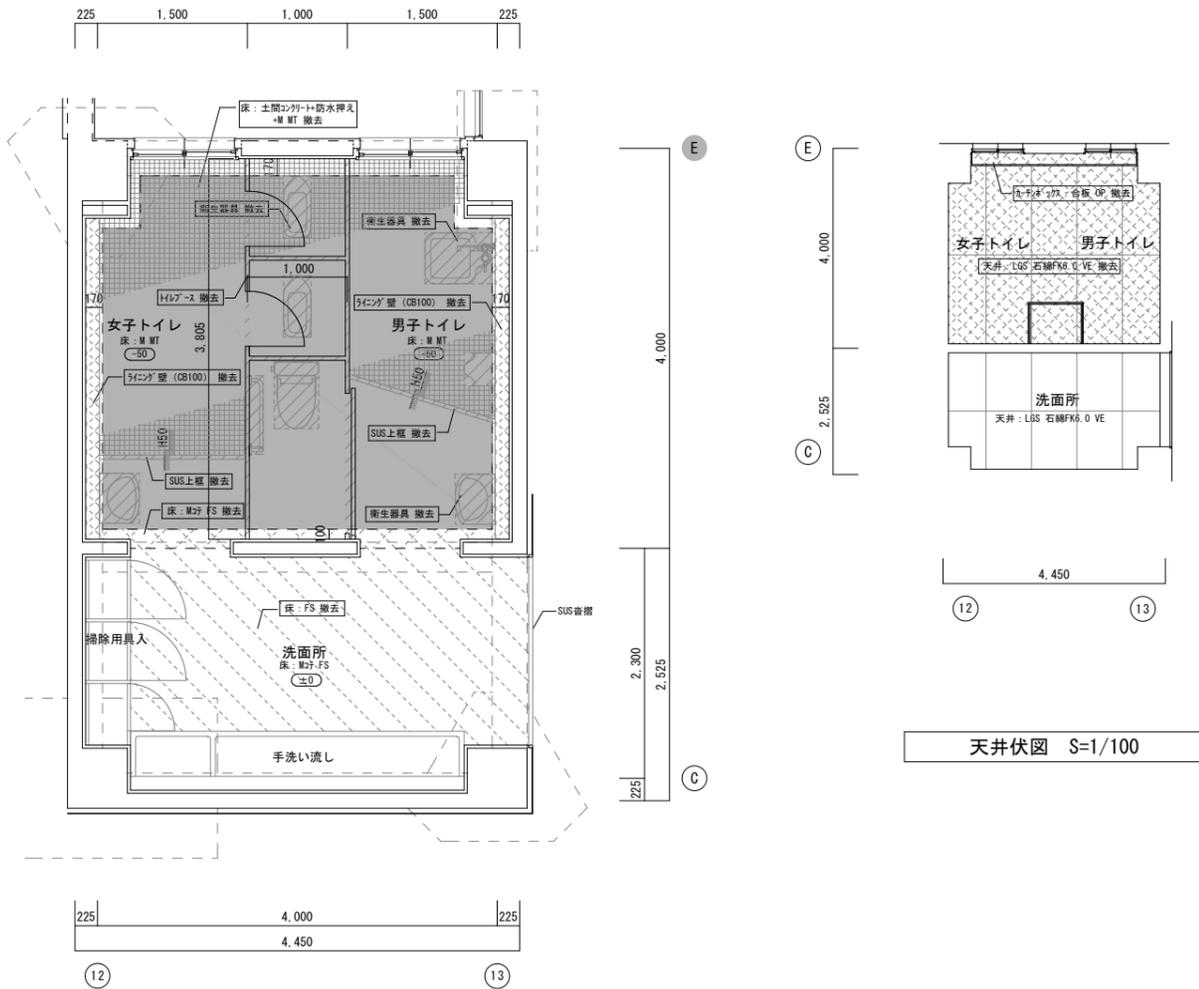
女子トイレ



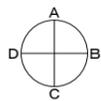
廊下



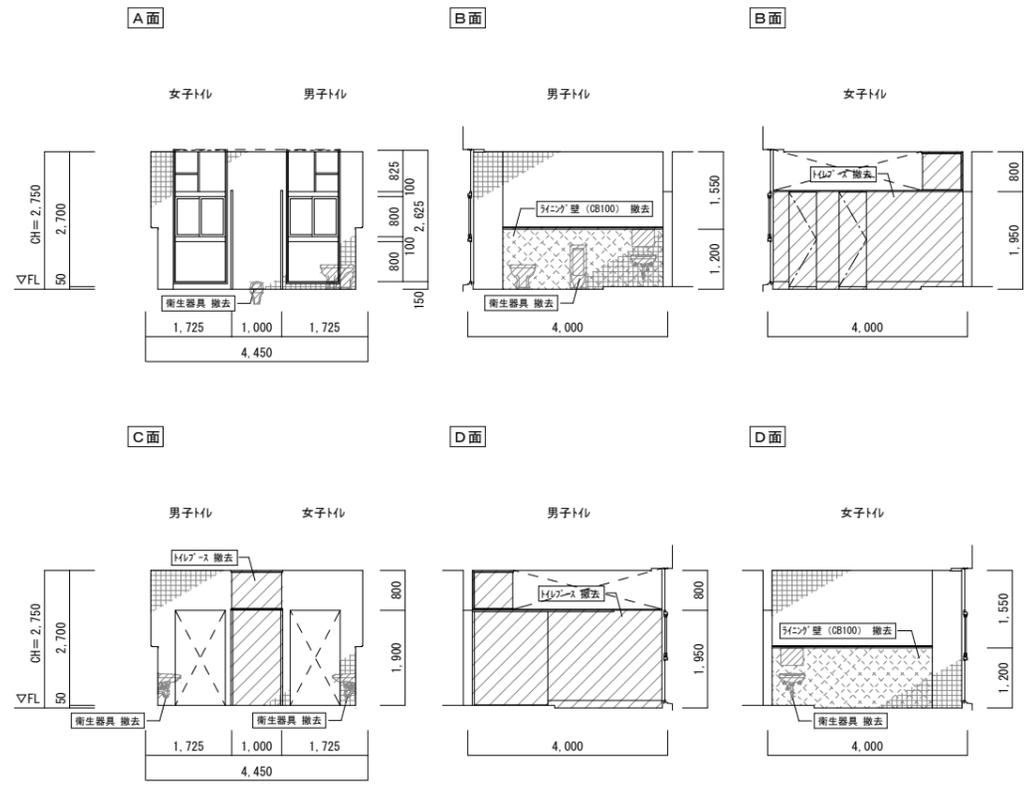
凡例				工事名		可児市立東明小学校トイレ大規模改修工事(1期)	
	(改修) 改修範囲を示す: 新設間仕切壁・建具設置等	▼	室名札 亚克力製250×250 平付タイプ		天井点検口 450角 アルミ製 縦線枠(内外) ※設置位置は監督員と協議の上決定	種別	改修後 平面詳細図・展開図 南舎 3階 東側-男女トイレ
	(改修) 改修範囲を示す: 床スラブ・土間コンクリート復旧	▽	室名札 亚克力製200×200 平付タイプ		天井点検口 600角 アルミ製 縦線枠(内外) ※設置位置は監督員と協議の上決定	図面番号	A-25
	(改修) 改修範囲を示す: 仕上・下地共	◇	室名表示 カッティングシート貼 50角/文字程度			縮尺	1/50, 100 作成年月 令和6年10月
	(改修) 改修範囲を示す: 仕上のみ					設計者	株式会社 廣建築設備設計 一級建築士 第311227号 野内理仁
						氏名印	
					±0	床高を示す(基準:各階F.L.) ※特記なき床高はF.L.±0	



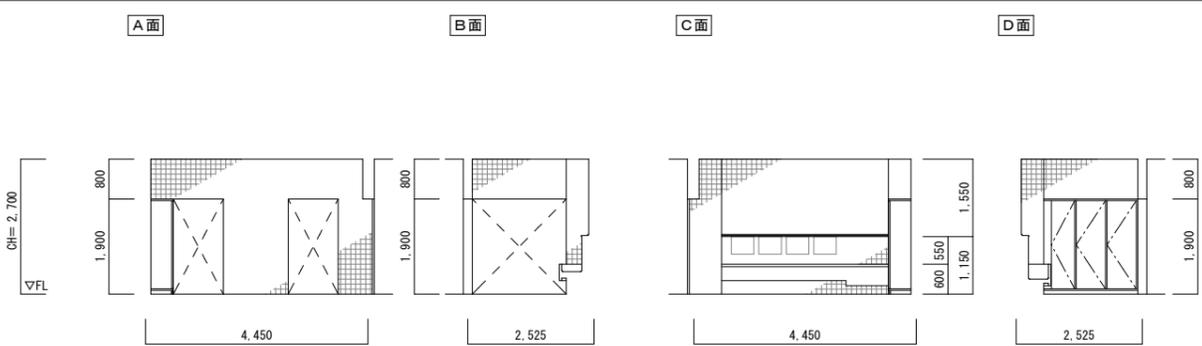
平面詳細図 S=1/50



展開図 男子トイレ・女子トイレ



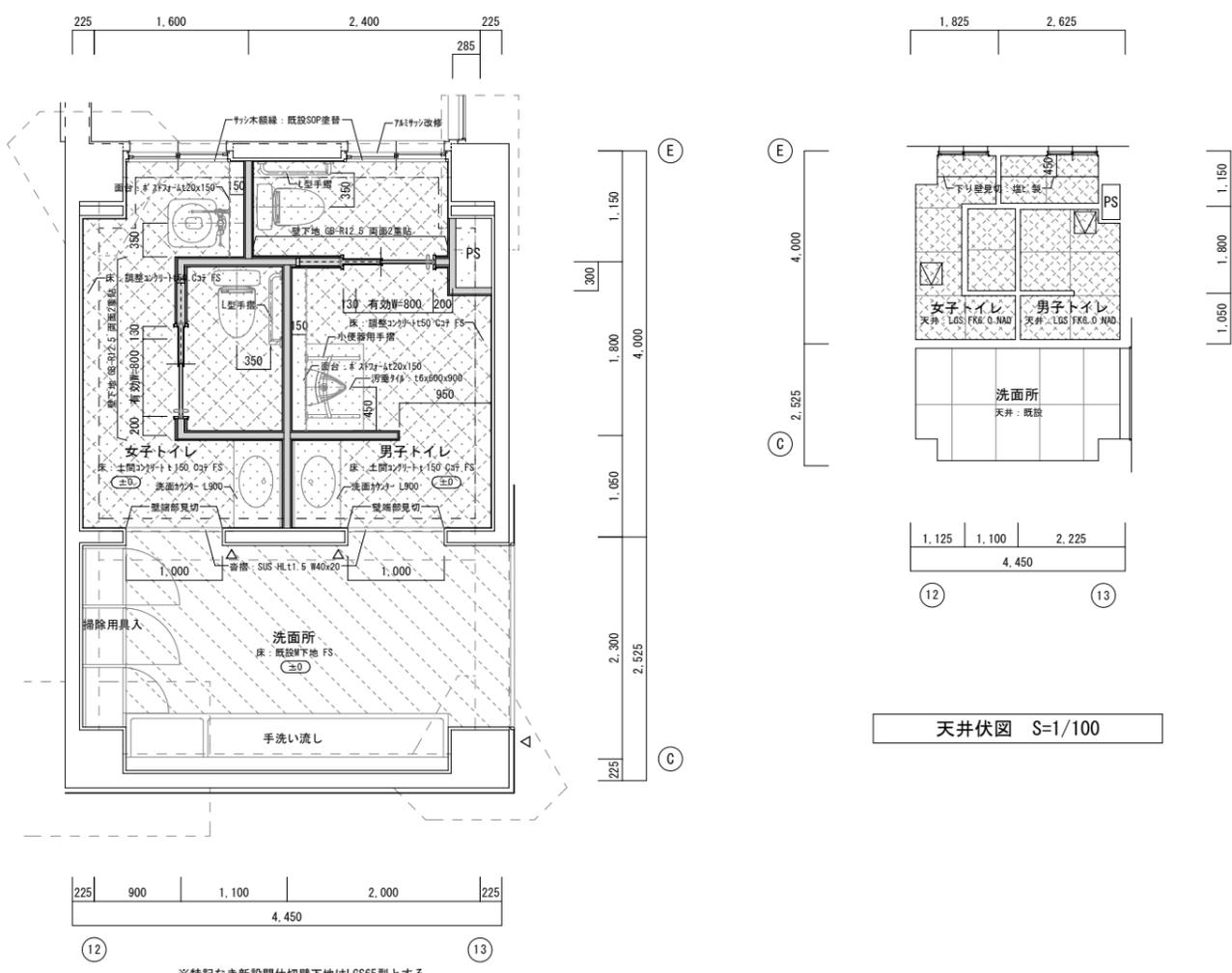
洗面所



天井伏図 S=1/100

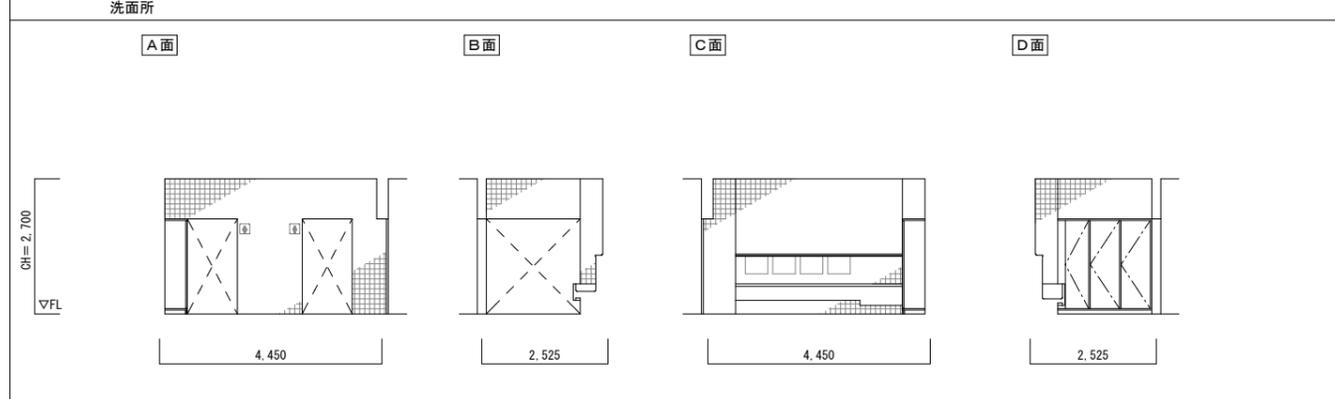
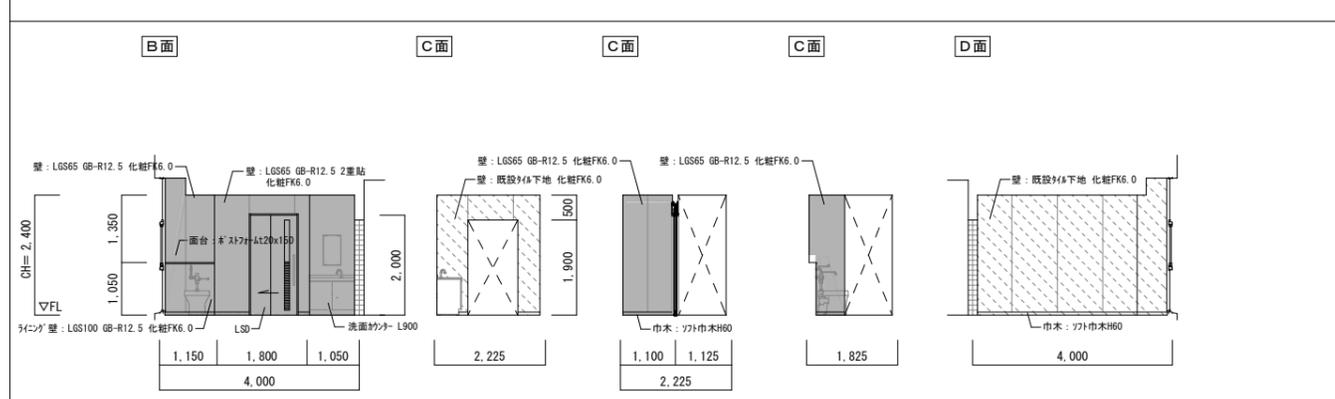
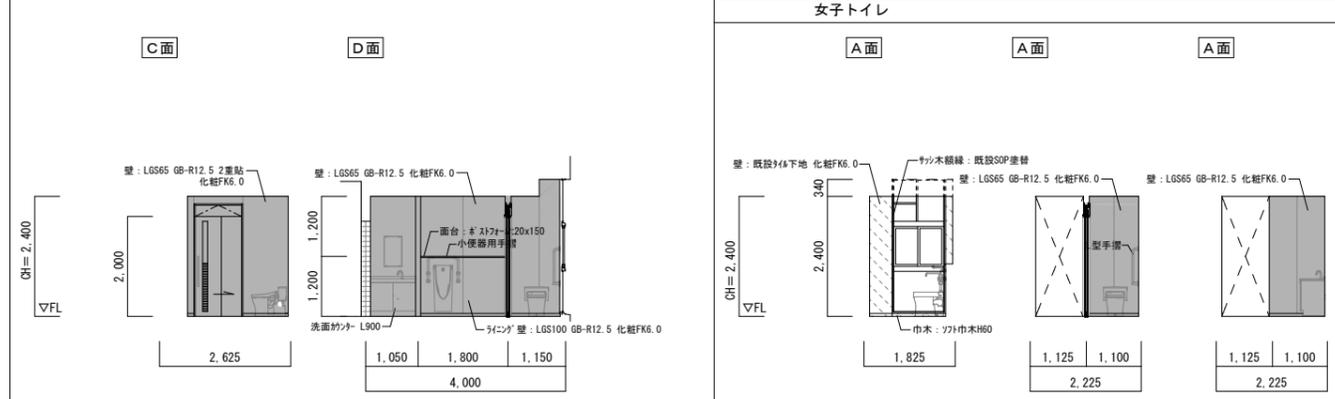
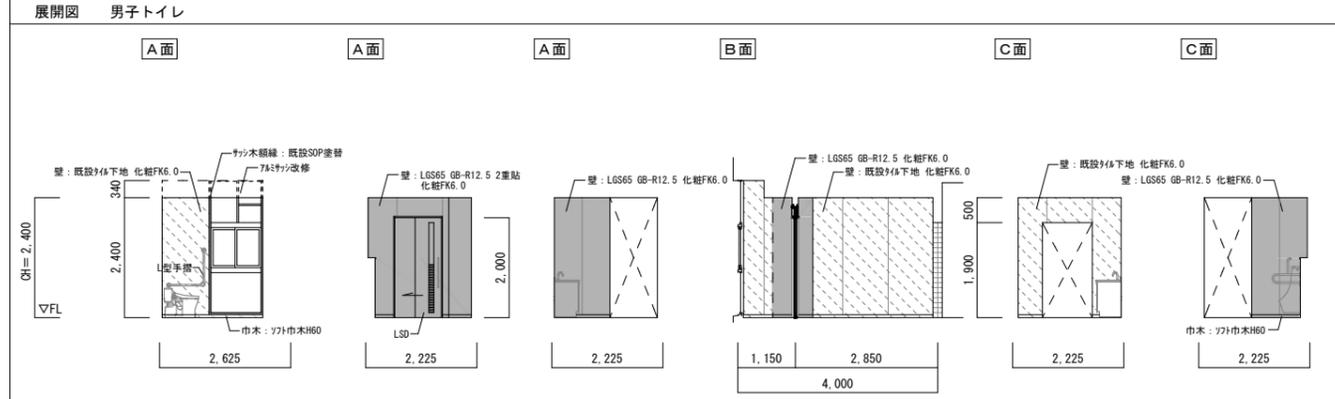
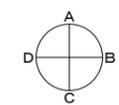
凡例				工事名	
	(現況) 取壊し・撤去概要を示す		(現況) 撤去範囲を示す: 間仕切壁、建具、衛生器具等	可児市立東明小学校トイレ大規模改修工事(1期)	
	(現況) 取外し・撤去概要を示す ※再使用品		(現況) 取外し・撤去範囲を示す: 建具、衛生器具等 ※再使用品	種別	改修前 平面詳細図・展開図 南舎 1階 通級男女トイレ
	(現況) 撤去範囲を示す: 床スラブ・土間コンクリート		(現況) 部分撤去範囲を示す: 仕上・下地共	縮尺	1/50, 100
			(現況) 部分撤去範囲を示す: 仕上のみ	作成年月	令和 6 年 10 月
				設計者	株式会社 廣建築設備設計 一級建築士 第311227号 野内理仁
				氏名印	

±0 床高を示す(基準:各階FL)  
※特記なき床高はFL±0

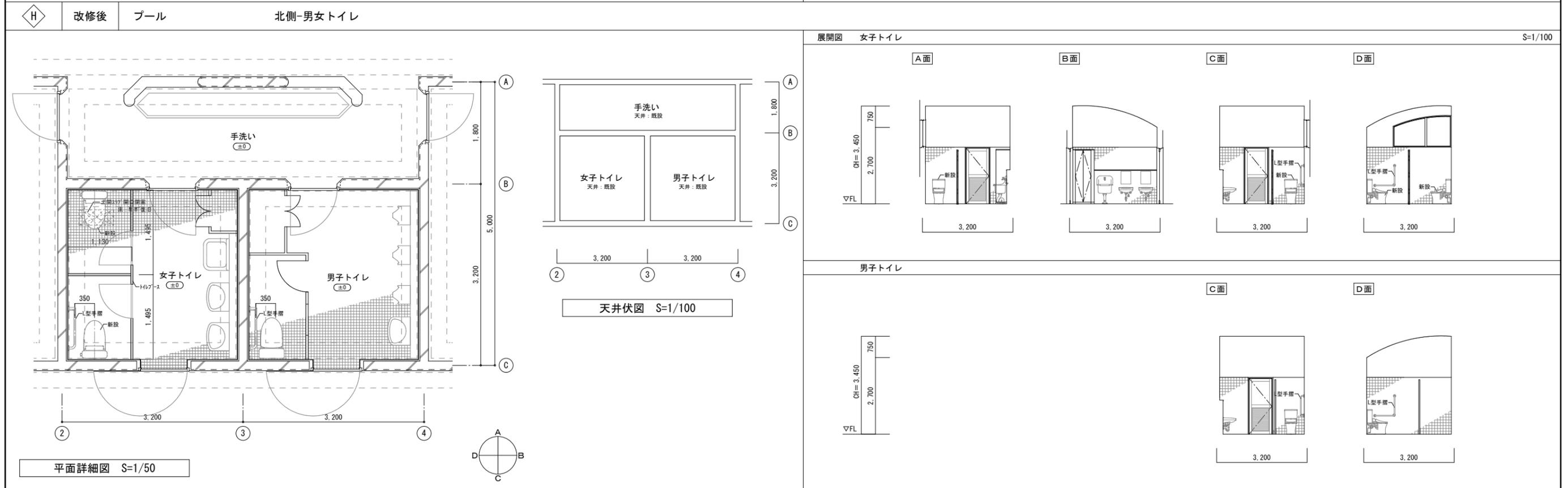
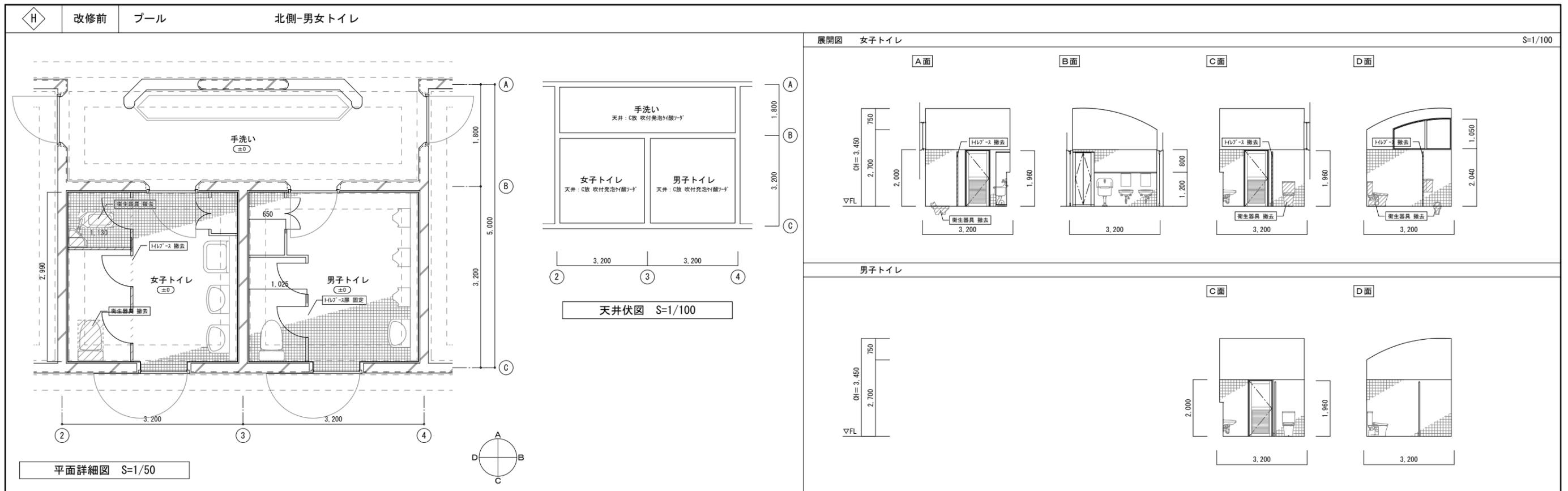


天井伏図 S=1/100

平面詳細図 S=1/50



<p>凡例</p> <p>(改修) 改修範囲を示す: 新設間仕切壁・建具設置等</p> <p>(改修) 改修範囲を示す: 床スラブ・土間コンクリート復旧</p> <p>(改修) 改修範囲を示す: 仕上・下地共</p> <p>(改修) 改修範囲を示す: 仕上のみ</p>		<p>▼</p> <p>▽</p> <p>◇</p>	<p>室名札</p> <p>亚克力製 250×250 平付タイプ</p> <p>室名札</p> <p>亚克力製 200×200 平付タイプ</p> <p>室名表示</p> <p>カッティングシート貼 50角/文字程度</p>	<p>☑</p> <p>☒</p>	<p>天井点検口 450角</p> <p>アルミ製 縦線枠 (内外) ※設置位置は監督員と協議の上決定</p> <p>天井点検口 600角</p> <p>アルミ製 縦線枠 (内外) ※設置位置は監督員と協議の上決定</p>	<p>工事名</p> <p>可児市立東明小学校トイレ大規模改修工事(1期)</p> <p>種別</p> <p>改修後 平面詳細図・展開図 南舎 1階 通級男女トイレ</p> <p>図面番号</p> <p>A-27</p> <p>縮尺</p> <p>1/50, 100 作成年月 令和 6 年 10 月</p> <p>設計者</p> <p>株式会社 廣建築設備設計</p> <p>氏名印</p> <p>一級建築士 第311227号 野内理仁</p>
--	--	----------------------------	--	-------------------	---	---



凡例				工事項	
	(現況) 取壊し・撤去概要を示す		(現況) 撤去範囲を示す: 間仕切壁・建具・衛生器具等		(改修) 改修範囲を示す: 新設間仕切壁・建具設置等
	(現況) 取外し・撤去概要を示す ※再使用品		(現況) 取外し・撤去範囲を示す: 建具・衛生器具等 ※再使用品		(改修) 改修範囲を示す: 床スラブ・土間コンクリート復旧
	(現況) 撤去範囲を示す: 床スラブ・土間コンクリート		(現況) 部分撤去範囲を示す: 仕上・下地共		(改修) 改修範囲を示す: 仕上・下地共
			(現況) 部分撤去範囲を示す: 仕上のみ		(改修) 改修範囲を示す: 仕上のみ
					室名札 亚克力製250×250 平付タイプ
					室名札 亚克力製200×200 平付タイプ
					室名表示 カッティングシート貼 50角/文字程度
					床高を示す(基準:各階F.L.) ※特記なき床高はF.L.±0
				工事項	可児市立東明小学校トイレ大規模改造工事(1期)
				種別	改修前・後 平面詳細図・展開図 プール 北側-男女トイレ
				縮尺	1/50, 100
				作成年月	令和6年10月
				設計者	株式会社 廣建築設備設計
				氏名印	一級建築士 第311227号 野内雅仁